本資料のうち、枠囲みの内容 は商業機密の観点から公開で きません。

女川原子力発電所	第2号機 工事計画審査資料
資料番号	02-補-E-01-0210-1_改 8
提出年月日	2021年11月11日

補足-210-1【発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料】

2021年11月

東北電力株式会社

補足説明資料目次

- 1. 基本事項に係るもの
 - 1-1 原子炉の安全停止に必要な機能を達成するための系統
 - 1-2 火災区域の配置を明示した図面
 - 1-3 内部火災に関する工事計画変更認可後の変更申請対象項目の抽出について
- 2. 火災の発生防止に係るもの
 - 2-1 潤滑油及び燃料油の引火点,室内温度及び機器運転時の温度について
 - 2-2 保温材の使用状況について
 - 2-3 建屋内装材の使用状況について
 - 2-4 難燃ケーブルの使用について
 - 2-5 水素の蓄積防止対策について
- 3. 火災の感知及び消火に係るもの
 - 3-1 ガス消火設備について
 - 3-2 消火用の照明器具の配置図
 - 3-3 電動機駆動消火ポンプ,屋外消火系電動機駆動消火ポンプ及び屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプの構造図
 - 3-4 電動機駆動消火ポンプ,屋外消火系電動機駆動消火ポンプ及び屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプのQHカーブ
 - 3-5 屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプの内燃機関の発電用火力設備に関する技術基準を 定める省令への適合性について
 - 3-6 消火栓及びガス消火設備の必要容量について
 - 3-7 可燃物管理により火災荷重を低く管理することで、煙の発生を抑える火災区域又は火災 区画についての管理基準
 - 3-8 新燃料貯蔵庫の未臨界性評価について
 - 3-9 火災感知器の種類及び配置を明示した図面
 - 3-10 重大事故等対処施設及び設計基準事故対処設備の消火設備の位置的分散に応じた独立性を備えた設計について
 - 3-11 火災感知設備の電源確保について
 - 3-12 トーラス室の換気風量について

- 4. 火災の影響軽減に係るもの
 - 4-1 火災の影響軽減のための系統分離対策について
 - 4-2 ケーブルトレイに適用する1時間耐火隔壁の火災耐久試験の条件について
 - 4-3 中央制御室制御盤内の分離について
 - 4-4 中央制御室の火災の影響軽減対策について
 - 4-5 火災区画特性表について
 - 4-6 火災を起因とした「運転時の異常な過渡変化」及び「設計基準事故」発生時の単一故障 を考慮した原子炉停止について
 - 4-7 中央制御室制御盤の火災を想定した場合の対応について
 - 4-8 原子炉格納容器内火災時の想定事象と対応について
 - 4-9 影響軽減対策における火災耐久試験結果の詳細について
- 5. 火災防護計画に係るもの
 - 5-1 火災防護に関する説明書に記載する火災防護計画に定め管理する事項について

: 今回提出資料

補足説明資料 3-9

火災感知器の種類及び配置を明示した図面

1. 目的

本資料は、VI-1-1-7発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書 5.1.2(1)b.項に示す火 災感知器の種類及び配置を示すために、補足資料として添付するものである。

2. 内容

火災感知器の選定においては、設置場所に対応する適切な火災感知器の種類を、VI-1-1-7 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書 5.1.2(1)b.項に示すとおり、消防法に準じて選定する設計とする。また、火災感知器の取付方法、火災感知器の設置個数の考え方等の技術的な部分については、消防法施行規則第 23 条第 4 項等に基づき設置する設計とする。

火災感知器の種類や設置に関する技術的な部分については、消防法施行規則等に則り設置する設計とする。

また,火災感知器の設置にあたっては,消防設備士によって確認を行う。

なお、施工にあたっては、消防法施行規則に則り設置する。

また、消防法認定品でない火災感知器を採用する場合、消防法(火災報知設備の感知器 及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号))に 定められる火災感知器の感知性能を有していることを確認している。

以下 3. 項においては、火災感知器のうち、基本的な組み合わせとなるアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器以外の火災感知器についての種類、仕様及び感知原理等を示す。

以下 4. 項においては、各火災感知器の具体的な設置条件及び消防法に準じて火災感知器 を設置した具合例を示す。

以下 5. 項においては、火災感知器の配置図を示す。

3. 基本的な組み合わせとなるアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器以外の火災感知器について

(1) 防爆型火災感知器

蓄電池室及び燃料タンクに設置する防爆型火災感知器は,煙感知器と熱感知器であり, これらの感知器の防爆性能について以下に示す。

a. 防爆型煙感知器の概要

防爆型煙感知器の原理を図3-1,外形を図3-2に示す。

動作原理は、感知器内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受光素子に光が当ることで煙を感知し、受信機へ火災信号を出力する。

防爆型煙感知器は、可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発が生じた場合に、当該感知器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない構造となっていることから、防爆性能(耐圧防爆構造*)を有する。

b. 消防法の認定について

防爆型煙感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条(光電式スポット型感知器の公称蓄積時間の区分及び濃度))に定められる感知性能を満足している。

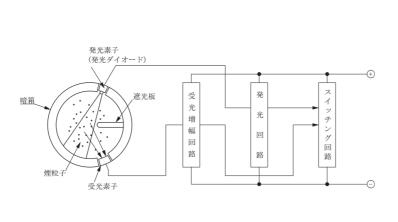


図 3-1 防爆型煙感知器の原理

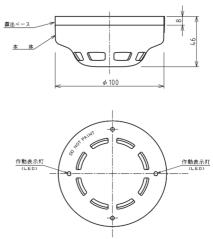


図 3-2 防爆型煙感知器の外形

c. 防爆型熱感知器の概要

防爆型熱感知器の原理を図3-3,外形を図3-4に示す。

動作原理は、感熱素子サーミスタを用いて熱を検出し、周囲温度が一定値以上になったときに受信機に火災信号を発する。サーミスタは温度変化により抵抗値が変化する素子で、一定周期で電流を流してサーミスタの両端にかかる電圧を測定し、温度検出回路にて変換した電圧値を内部制御回路に送り、制御回路にて一定時間内での温度上昇値を測定し、温度上昇率が設定値を超えた場合に火災と判断し、受信機に火災信号を発する。

防爆型熱感知器は、可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発が生じた場合に、当該感知器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない構造となっていることから、防爆性能(耐圧防爆構造*)を有する。

d. 消防法の認定について

防爆型熱感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第14条(定温式感知器の公称差動温度の区分及び感度))に定められる感知性能を満足している。

注記*:耐圧防爆構造(「電気機械器具防爆構造規格」労働省告示第16条)

全閉構造であって,可燃性ガス(以下「ガス」という。)又は引火性の蒸気 (以下「蒸気」という。)が容器内部に侵入し爆発を生じた場合に,当該容器 が爆発圧力に耐え,かつ,爆発による火災が当該容器の外部のガス又は蒸気に 点火しないようにしたものをいう。

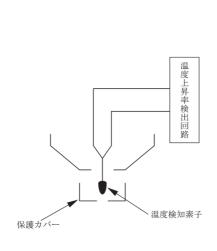


図 3-3 防爆型熱感知器の原理

図 3-4 防爆型熱感知器の外形

e. 地下軽油タンク室に設置する防爆型感知器について

防爆型感知器の設置箇所のうち非常用ディーゼル発電設備軽油タンク、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクは地下埋設構造となっていることから、火災感知器の環境条件のうち、結露に対する設計上の考慮について以下に示す。なお、地下埋設構造及び火災感知器の環境条件は同様であることから、地下軽油タンク室を代表に説明する。

地下軽油タンク室に設置する防爆型煙感知器の外形を図 3-5, 防爆型熱感知器の外形を図 3-4 に示す。また、地下軽油タンク室の構造(断面)を図 3-6 に示す。

地下軽油タンク室は出入口としてマンホールが設けられているが、それ以外に外気と接する箇所はなく、このマンホールは水密性を有していることから、通常は外気から遮断されており、急激な温度変化は生じない構造となっている。また、軽油タンク本体は地下軽油タンク室内に設置され、タンク室内天井部に設置した火災感知器によって火災を感知する設計とする。

防爆型煙感知器については煙の流入を感知する感知部と防爆容器で覆われた内部基盤で構成されており、この内部基盤において結露が発生した場合に誤作動する可能性がある。しかし、周囲温度の急激な変化が生じないことから、防爆容器で密閉された感知器内部と周囲温度で急激な温度差が生じることはほぼなく、防爆容器内が結露する可能性は低い。

また、防爆型熱感知器はサーミスタを利用した方式の感知器であり、温度上昇を感知する感知部とその温度上昇によって電流が流れる内部回路で構成される。

防爆型熱感知器では感知部以外は露出しておらず、内部回路において結露が生じた場合、誤作動する可能性があるが、周囲温度の急激な温度変化が生じないことから、 感知器内部と周辺温度で急激な温度差が生じることはほぼなく、内部回路が結露する 可能性は低い。

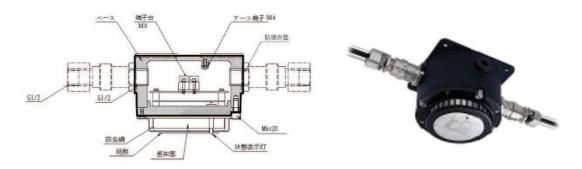


図 3-5 防爆型煙感知器(地下軽油タンク室)の外形

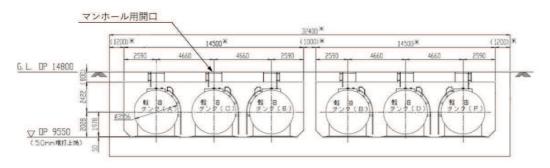


図 3-6 地下軽油タンク室 (断面)

防爆型煙感知器の取付方法を図 3-7, 防爆型熱感知器の取付方法を図 3-8 に示す。 万が一, 地下軽油タンク室内で結露が発生した場合においても, 各感知器は直接天井 部等と接することなく設置されており, 感知器の構造を考慮すると天井部等からの水 滴が防爆容器等で仕切られた内部まで浸入する可能性は低い。

よってそれぞれの感知器は結露を考慮しても地下軽油タンク室における運用に問題ないといえる。

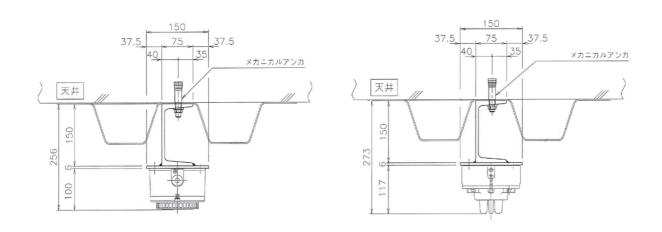


図 3-7 防爆型煙感知器の取付方法

図 3-8 防爆型熱感知器の取付方法

なお,防爆型火災感知器は消防法施行規則に準じ,外観点検及び自動試験機能又は煙 等の火災を模擬した機能試験を実施できる設計とする。

(2) 防湿型煙感知器

a. 防湿型煙感知器の概要

防湿型煙感知器の原理を図3-9,外形を図3-10に示す。

動作原理は、感知器に煙が取り込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受 光素子に光が当ることで火災を感知し、受信機へ火災信号を出力する。また、感知器 の取付用ボックス内にヒーターを内蔵したことにより、非火災の発報の原因となる結 露の発生する場所にも有効な構造となっている。

b. 消防法の認定について

防湿型煙感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条(光電式スポット型感知器の公称蓄積時間の区分及び濃度))に定められる感知性能を満足している。

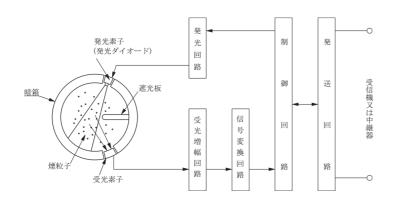




図 3-9 防湿型煙感知器の原理

図 3-10 防湿型煙感知器の外形

(3) 防水型熱感知器

a. 防水型熱感知器の概要

防水型熱感知器の原理を図 3-11,外形を図 3-12 に示す。

動作原理は、温度検知素子を用いて熱を検出し、周囲の温度が一定の範囲内の温度 になったときに受信機へ火災信号を出力する。また、防水構造となっており、結露の 発生する場所にも有効な仕様となっている。

b. 消防法の認定について

防水型熱感知器は、消防法認定品であり、消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和 56 年 6 月 20 日自治省令第 17 号)第 14 条(定温式感知器の公称差動温度の区分及び感度))に定められる感知性能を満足している。

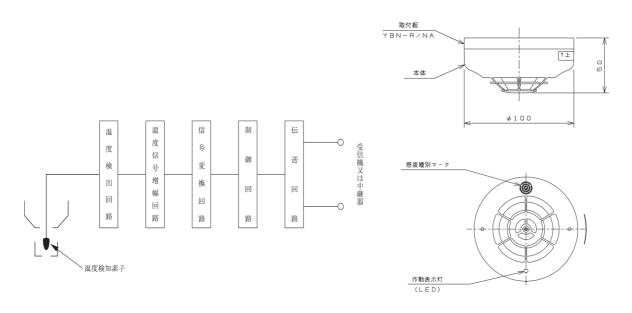


図 3-11 防水型熱感知器の原理

図 3-12 防水型熱感知器の外形

(4) 熱感知器 (金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)

a. 熱感知器 (金属の膨張係数の係数の差を利用したもの) の概要

熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)の原理を図 3-13,外形を図 3-14 に示す。

動作原理は、膨張係数の大きい金属の外筒と膨張係数の小さいストラットを組合せ、 その膨張係数の差によって接点を閉じて火災を感知し、受信機へ火災信号を出力する。 また、炎が生じ、温度上昇した場合にも火災として感知し、受信機へ火災信号を出力 する。

b. 消防法の認定について

熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)は、消防法認定品であり、消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和 56年 6月 20日自治省令第 17号)第 14条(定温式感知器の公称差動温度の区分及び感度))に定められる感知性能を満足している。

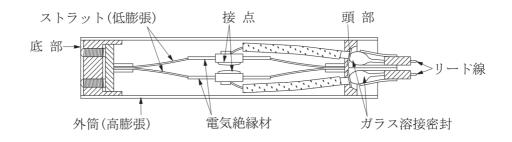


図 3-13 熱感知器 (金属の膨張係数の係数の差を利用したもの) の原理

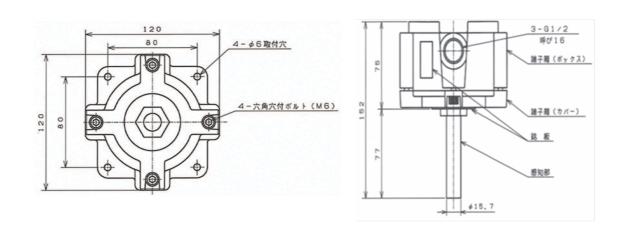


図 3-14 熱感知器 (金属の膨張係数の係数の差を利用したもの) の外形

(5) 炎感知器

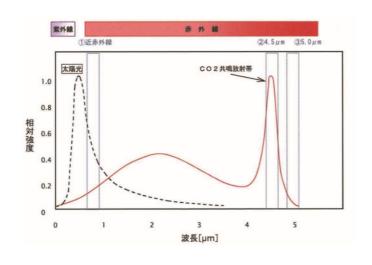
a. 炎感知器の概要

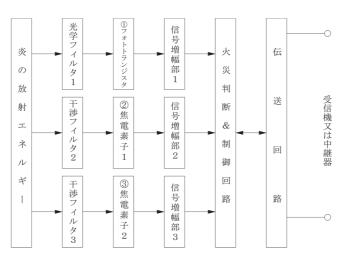
炎感知器の原理を図 3-15, 外形を図 3-16 に示す。

動作原理は、偏光フィルタ及び受光素子により炎特有の波長の赤外線及びちらつきを検知し、受信機へ火災信号を出力する。また、感知原理に「赤外線3波長式」(物質の燃焼時に発生する特有のエネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する)が採用されており誤作動を防止できる。

b. 消防法の認定について

炎感知器は、消防法認定品であり、消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条の8(炎感知器の公称監視距離の区分、感度及び視野角))に定められる感知性能を満足している。







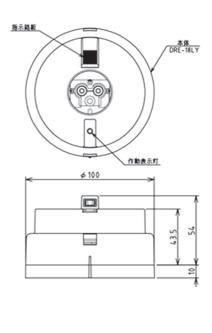


図 3-16 炎感知器の外形

(6) 屋外仕様炎感知器

a. 屋外仕様炎感知器の概要

屋外仕様炎感知器の概要を図 3-17 に示す。

動作原理は、偏光フィルタ及び受光素子により炎特有の波長の赤外線及びちらつきを検知し、受信機へ火災信号を出力する。また、感知原理に「赤外線 3 波長式」(物質の燃焼時に発生する特有のエネルギーの波長帯を 3 つ検知した場合にのみ発報する)が採用されており誤作動を防止できる。

また、平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象(急激な環境変化)を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。

b. 消防法の認定について

炎感知器は、消防法認定品ではないが、消防法(火災報知設備の感知器及び発信器 に係る技術上の規格を定める省令(昭和 56 年 6 月 20 日自治省令第 17 号)第 17 条の 8 (炎感知器の公称監視距離の区分、感度及び視野角)に定められる炎感知器の感度及 び視野角の感知性能が同等以上を有していることを確認している。





図 3-17 屋外仕様炎感知器の概要

(7) 熱感知カメラ

a. 熱感知カメラの概要

熱感知カメラの概要を図 3-18 に示す。

動作原理は、赤外線によって対象箇所が発する熱エネルギーを連続的にとらえ温度を監視し、設定温度を超えると受信機へ火災信号を出力する。

b. 消防法の認定について

熱感知カメラは、消防法認定の感知器ではないが、赤外線感知機能により死角となる場所がないように適切に設置する。



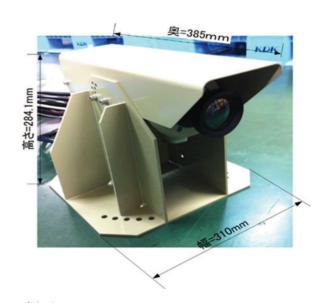


図 3-18 熱感知カメラの概要

4. 各火災感知器の設置条件及び具体例

- 4.1 各火災感知器の設置条件
- 4.1.1 火災感知器の種類と設置個数の考え方

各火災感知器の設置条件を表 4-1-1 に示す。

表 4-1-1 火災感知器の種類と設置個数の考え方

			火災感知器の設置個数の考え方			
火災感知器の種類			取付面高さ	設置個数 当たりの 床面積	消防法 施行規則	
	No. 20 12 13 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	1種及び	4m 未満	$150\mathrm{m}^2$		
煙	光電アナログ式スポット型 (防湿型含む)	2種	4m 以上 20m 未満	75m^2		
感		3 種	4m 未満	$50 \mathrm{m}^2$	第 23 条	
知	No. 20 2 201	1種及び	4m 未満	$150\mathrm{m}^2$	第 4 項 第 7 号	
器	光電式スポット型 (防爆型含む)	2種	4m 以上 20m 未満	$75\mathrm{m}^2$		
	(177)	3 種	4m 未満	$50 \mathrm{m}^2$		
	熱アナログ式スポット型		4m 未満	$70 \mathrm{m}^2$ *	第 23 条 · 第 4 項 · 第 3 号	
	(防水型含む)		4m 以上 8m 未満	$35 \mathrm{m}^2$ *		
熱		特殊	4m 未満	$70 \mathrm{m}^2$ *		
感	定温式スポット型 (防爆型含む)		4m 以上 8m 未満	$35 \mathrm{m}^2$ *		
知		1種	4m 未満	60m ² *		
器			4m 以上 8m 未満	$30 \mathrm{m}^2$ *		
		2種	4m 未満	20m ² *		
			4m 以上 8m 未満			
炎感	赤外線3波長式	公式監視 距離最大 40m 以内	床面から 1.2m の監視空間		第23条 第4項 第7の4 号	
知器	赤外線3波長式 (屋外仕様)	最大 60m 以内 (試験に て確認)	監視範囲に死角がないように設置		消防法に 適用され ない	
熱感知カメラ	赤外線式	最大 60m 以内 (試験に て確認)			消防法に 適用され ない	

注:上記に記載のない事項については、消防法施行規則等に基づく、火災感知器の設置方 法に従う。

注記*:主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分における設置個数当たりの 床面積を示す。

4.1.2 煙感知器の設置条件

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により,はり等が天井より0.6m以上突出している場合は個別の区画とし、それぞれの床面積から煙感知器の必要個数を求める。(図4-1-2-1参照)

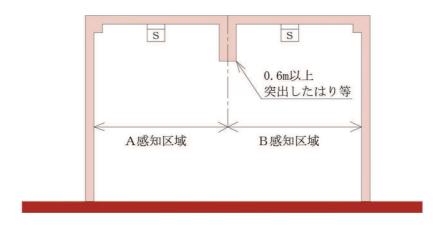


図 4-1-2-1 はり等が天井より 0.6m 以上突出している場合の区域の解説図

消防法施行規則第23条第4項第7号ホの規定により、天井高さから、それぞれの床面積に必要な煙感知器の設置個数を算出し設置する設計とする。(表 4-1-2-1 参照)

XIIII VONINCE VALAMENTE RELIACIONE DE LA COMPANIONE DE LA				
感知器の種別	取付面の高さ	4m 未満	4m 以上 15m 未満	15m 以上 20m 未満
	1種	$150\mathrm{m}^2$	$75 \mathrm{m}^2$	$75\mathrm{m}^2$
煙感知器	2 種	$150\mathrm{m}^2$	$75 \mathrm{m}^2$	_
	3 種	$50 \mathrm{m}^2$	_	_

表 4-1-2-1 天井高さから必要な煙感知器の設置個数を算出する場合の床面積

消防法施行規則第23条第4項第7号への規定により、煙感知器を廊下及び通路に設ける場合は、歩行距離30mにつき1個以上の個数を、階段及び傾斜路にあっては垂直距離15mにつき1個以上の個数を設置する設計とする。

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、はり等の深さが 0.6m 以上1m 未満で火災区画が連続する場合、下記図及び表で定める範囲の隣接する感知区域の当該部分を含めて1つの感知区域と見なすことができる。(図 4-1-2-2,表 4-1-2-2 参照)

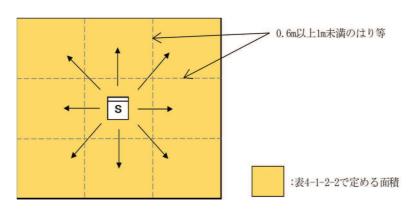


図 4-1-2-2 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(1)

取付け面の高さ	感知面積の合計			
	4m 未満	4m 以上 8m 未満	8m 以上 15m 未満	15m 以上 20m 未満
<u>感知器の種別</u> 1種	60m ²	60m ²	40m ²	40m ²
2 種	$60 \mathrm{m}^2$	$60 \mathrm{m}^2$	$40\mathrm{m}^2$	
3 種	$20 \mathrm{m}^2$			

表 4-1-2-2 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる面積

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、小区画が隣接している場合、はり等の深さが 0.6m以上 1m未満で区画された 10m²以下の小区画が 1つ隣接している場合は、当該部分を含めて 1 つの感知区域とすることができる。(図 4-1-2-3 参照)

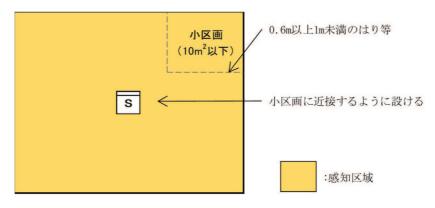


図 4-1-2-3 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(2)

4.1.3 熱感知器の設置条件

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により,はり等が天井より0.4m以上突出している場合は個別の区画とし、それぞれの床面積から熱感知器の必要個数を求める。(図4-1-3-1参照)

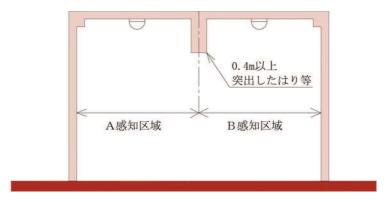


図 4-1-3-1 はり等が天井より 0.4m 以上突出している場合の区画の解説図

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により、天井高さから、それぞれの床面積に必要な熱感知器の設置個数を算出し設置する設計とする。(表 4-1-3-1 参照)

取付面の高さ		4m 未満		4m 以上 8m 未満	
感知器の種別	の構造	耐火	非耐火	耐火	非耐火
差動式スポット型	1種	90m^2	$50\mathrm{m}^2$	$45\mathrm{m}^2$	$30 \mathrm{m}^2$
補償式スポット型	2 種	70m^2	$40 \mathrm{m}^2$	35m^2	$25 \mathrm{m}^2$
	特種	70m^2	$40 \mathrm{m}^2$	35m^2	$25 \mathrm{m}^2$
定温式スポット型	1種	$60 \mathrm{m}^2$	$30 \mathrm{m}^2$	$30 \mathrm{m}^2$	$15\mathrm{m}^2$
	2 種	20m^2	$15\mathrm{m}^2$	_	_
熱アナログ式スポット型		$70\mathrm{m}^2$	$40\mathrm{m}^2$	$35 \mathrm{m}^2$	$25\mathrm{m}^2$

表 4-1-3-1 天井高さから必要な熱感知器の設置個数を算出する場合の床面積

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、定温式スポット型熱感知器(特殊)は、短辺が3m未満の細長い居室等に熱感知器を設置する場合は、歩行距離が13mにつき1個以上の個数を設置する設計とする。

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、はり等の深さが 0.4m 以上1m 未満で火災区画が連続する場合、下記図及び表で定める範囲の隣接する感知区域の当該部分を含めて1つの感知区域と見なすことができる。(図 4-1-3-2,表 4-1-3-2 参照)

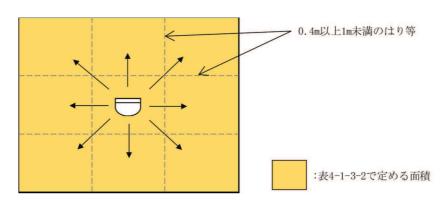


図 4-1-3-2 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(1)

感知区域		合計面積		
感知器の種別	物の構造	耐火	非耐火	
差動式スポット型	1種	$20\mathrm{m}^2$	$15\mathrm{m}^2$	
補償式スポット型	2種	$15\mathrm{m}^2$	$10\mathrm{m}^2$	
定温式スポット型	特種	$15\mathrm{m}^2$	$10\mathrm{m}^2$	
た価式へかット空	1種	$13\mathrm{m}^2$	$8 \mathrm{m}^2$	
熱アナログ式スポット型		$15\mathrm{m}^2$	$10 \mathrm{m}^2$	

表 4-1-3-2 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる面積

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、小区画が隣接している場合、はり等の深さが 0.4m以上 1m未満で区画された 10m²以下の小区画が 1つ隣接している場合は、当該部分を含めて 1 つの感知区域とすることができる。(図4-1-3-3参照)

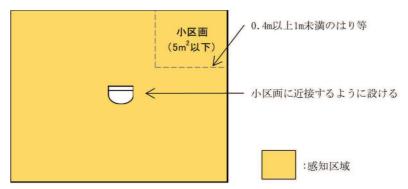


図 4-1-3-3 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(2)

4.2 火災感知器を設置した具体例

4.2.1 消防法施行規則等に基づき感知器を設置した具体例

消防法施行規則等に基づき,建屋等に設置する熱感知器,煙感知器及び炎感知器について,各建屋等の火災区域毎に整理した一覧表と配置図を別紙1に示す。

火災感知器の設置においては、消防法施行規則第23条第4項第8号の規定により、 火災感知器は換気口等の空気吹出し口から 1.5m 以上の離隔距離を満足する設計とす る。

なお,離隔距離の確保の考え方については、公益財団法人東京防災救急協会 予防 事務審査・検査基準を参考とする。 (図 4-2-1-1~図 4-2-1-5)

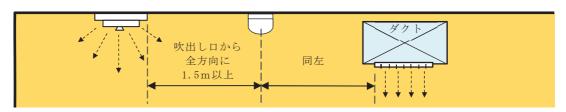


図 4-2-1-1 換気口等の空気吹出し口が天井面又はダクトの下面に設けられている場合の例

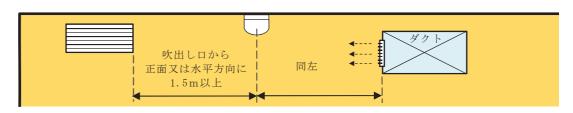


図 4-2-1-2 換気口等の空気吹出し口が壁体又はダクトの側面に設けられている場合の例

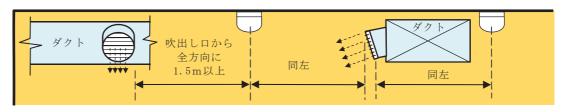


図 4-2-1-3 換気口等の空気吹出し口が傾斜をつけて設けられている場合の例

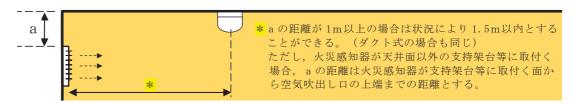


図 4-2-1-4 換気口等の空気吹出し口が天井面等から 1m以上離れた壁体に 設けられている場合の例

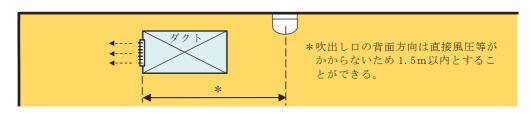


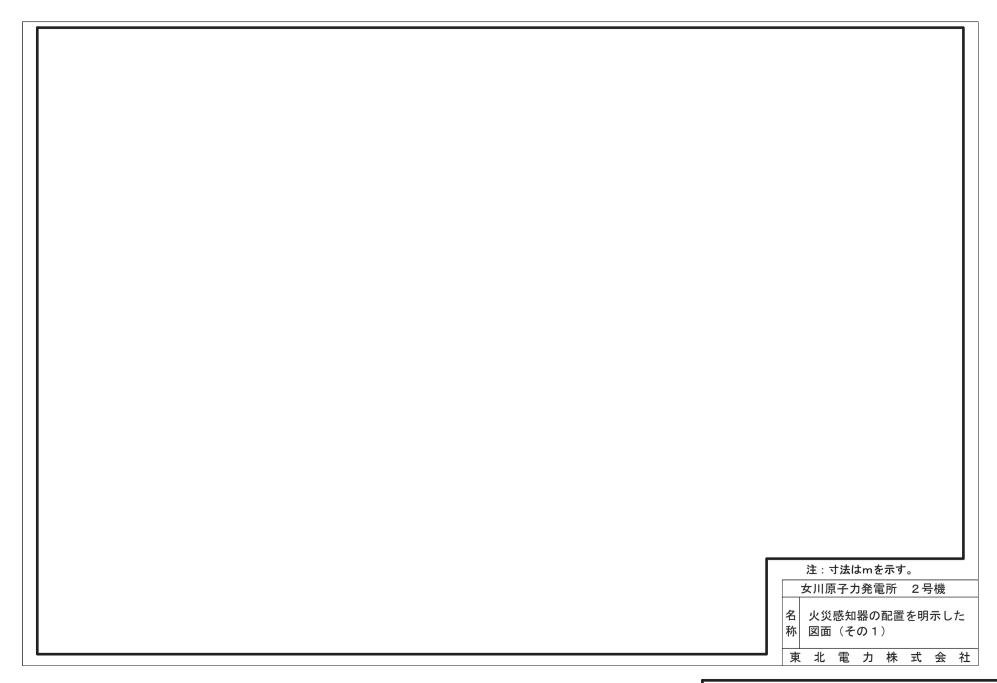
図 4-2-1-5 感知器に直接風圧等がかからない場合の例(吹出し口の背面方向に 感知器を設置する場合)

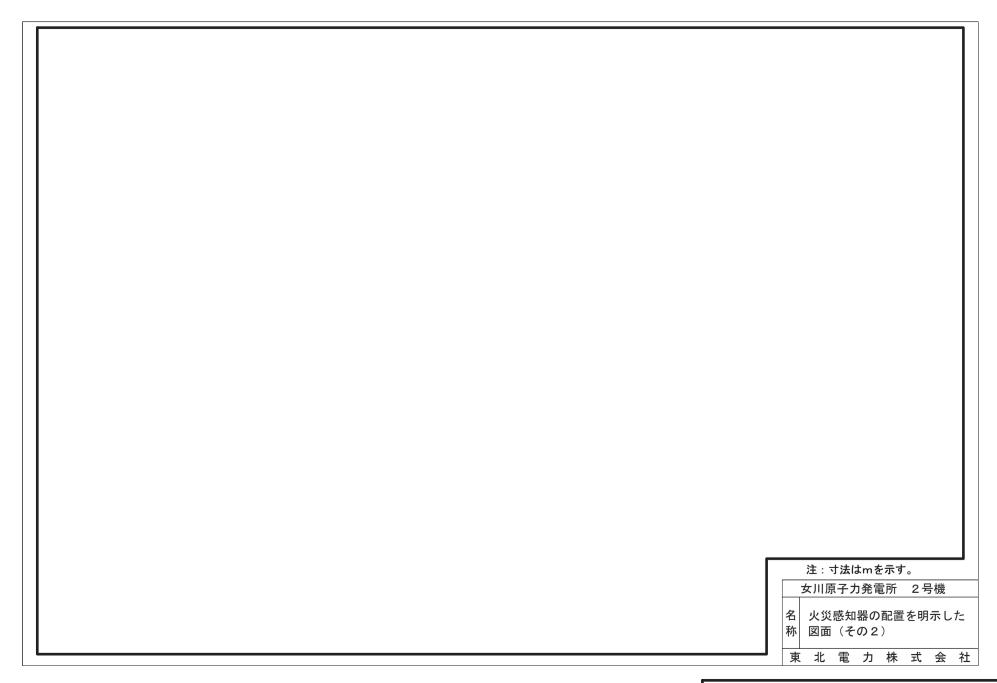
4.2.2 その他エリアの火災感知器を設置した具体例

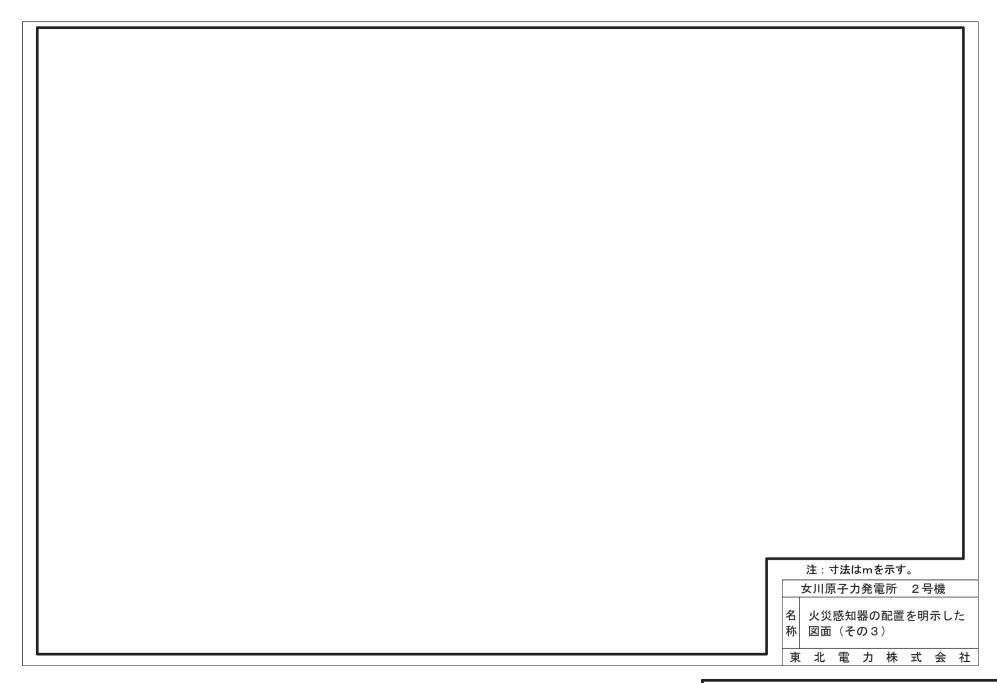
その他エリアとして、屋外に設置する屋外仕様炎感知器と熱感知カメラ、復水貯蔵 タンク/連絡トレンチ/バルブ室に設置する熱感知器と煙感知器について、配置図を 別紙2に示す。

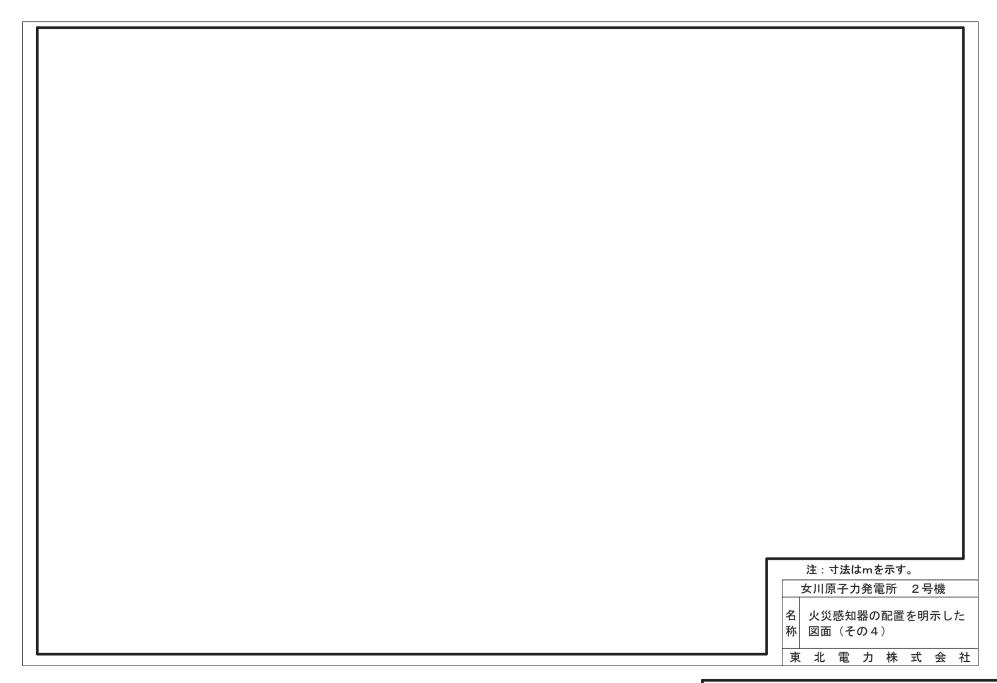
5. 各火災感知器の配置図

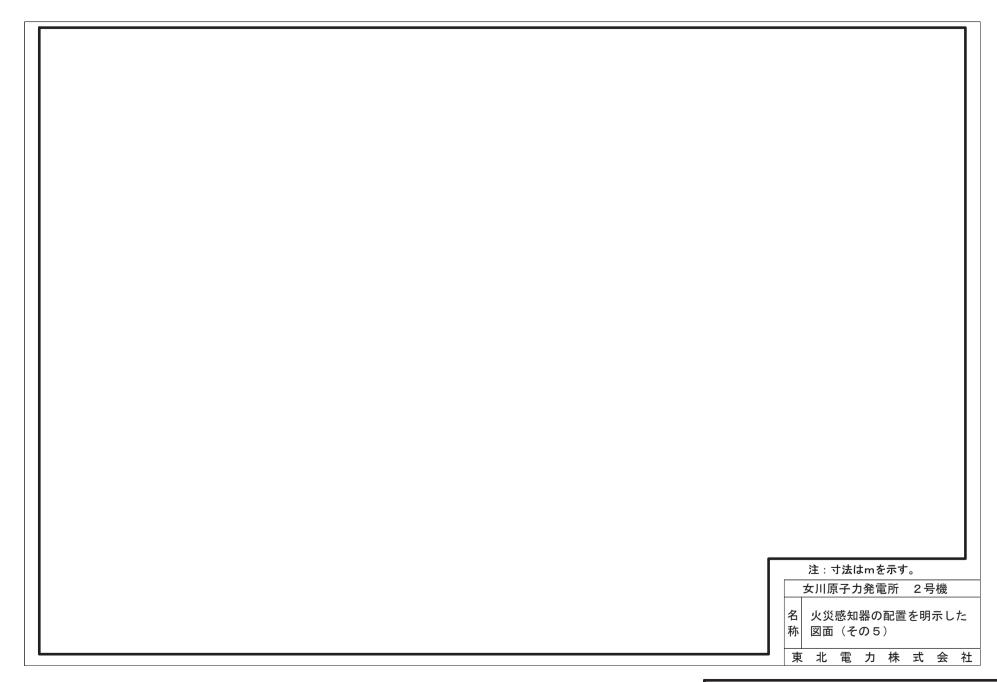
各火災感知器の配置図を以下に示す。

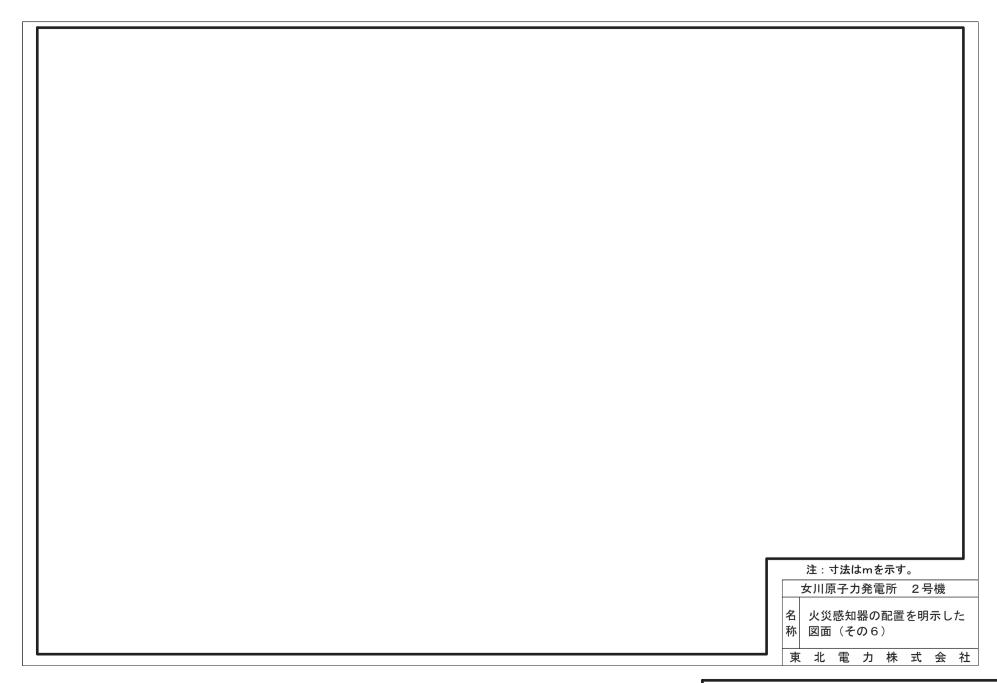


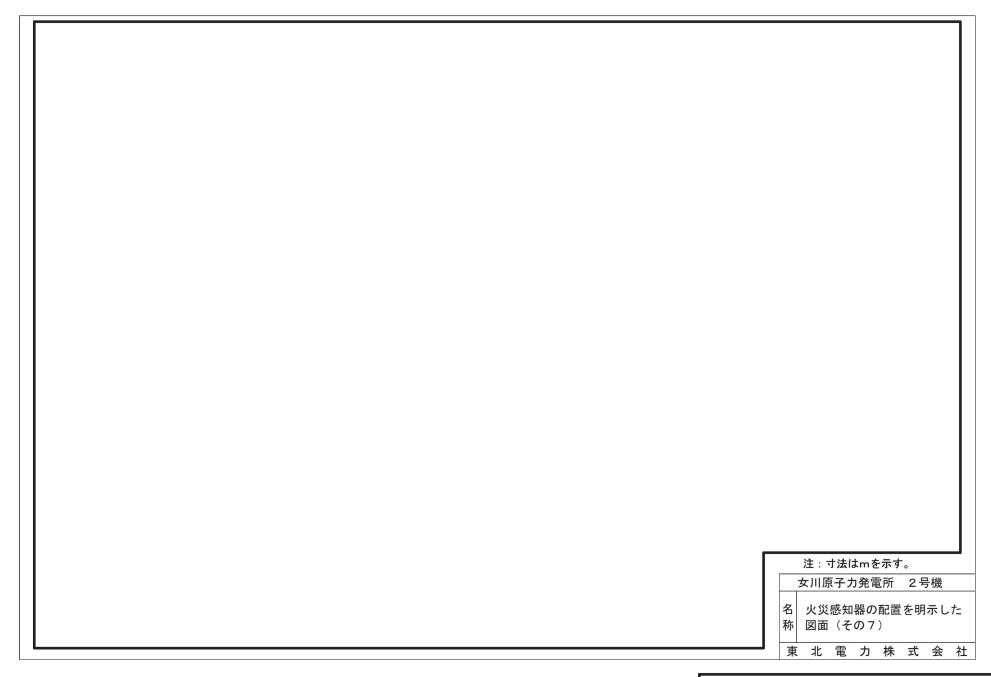


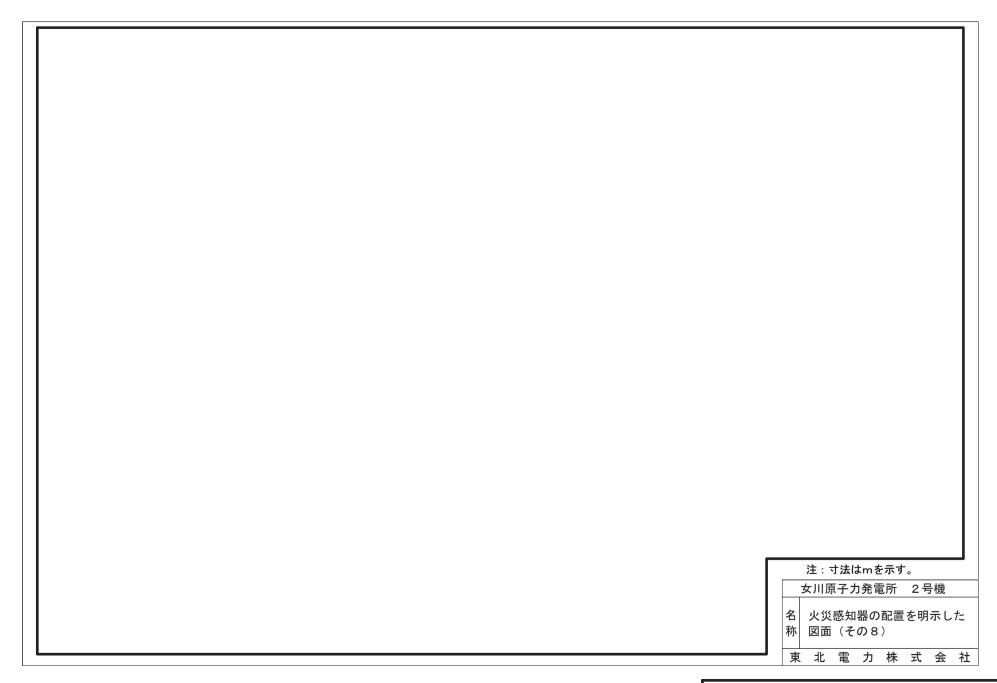


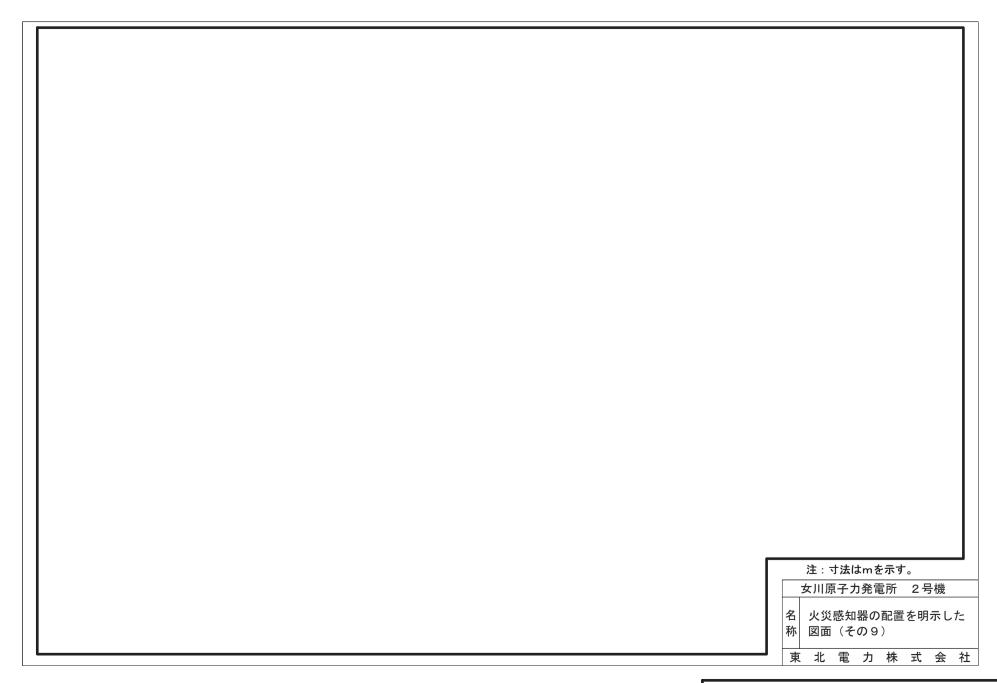


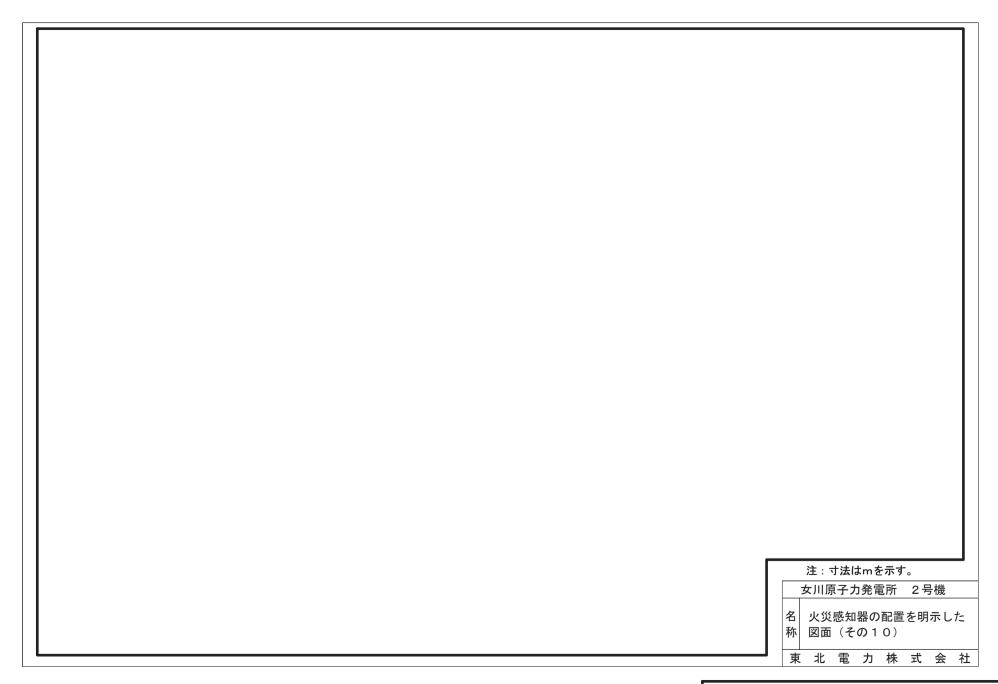


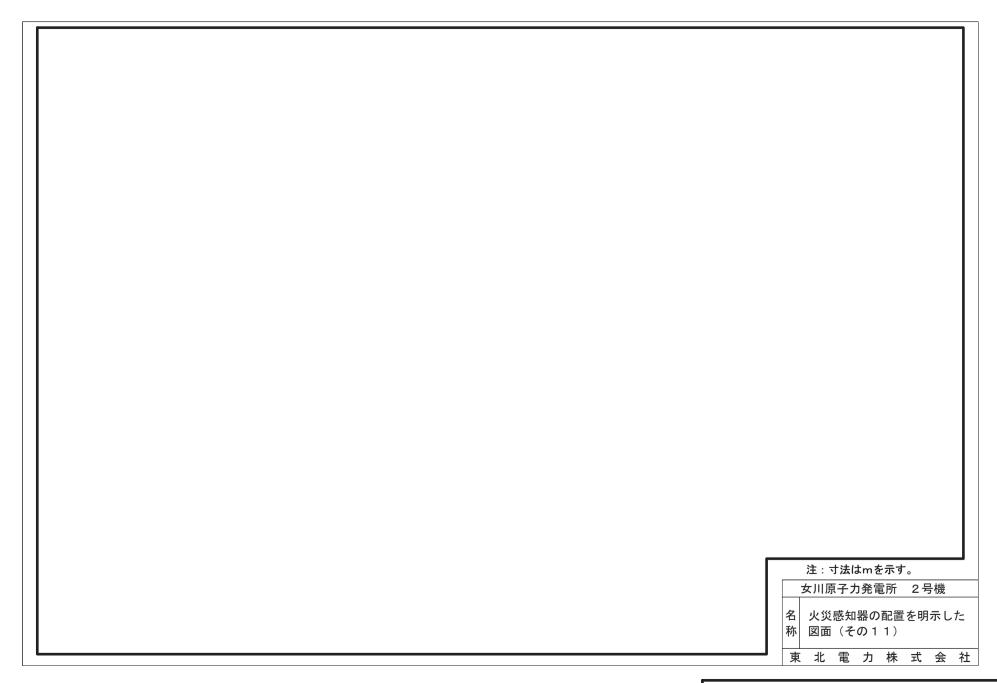


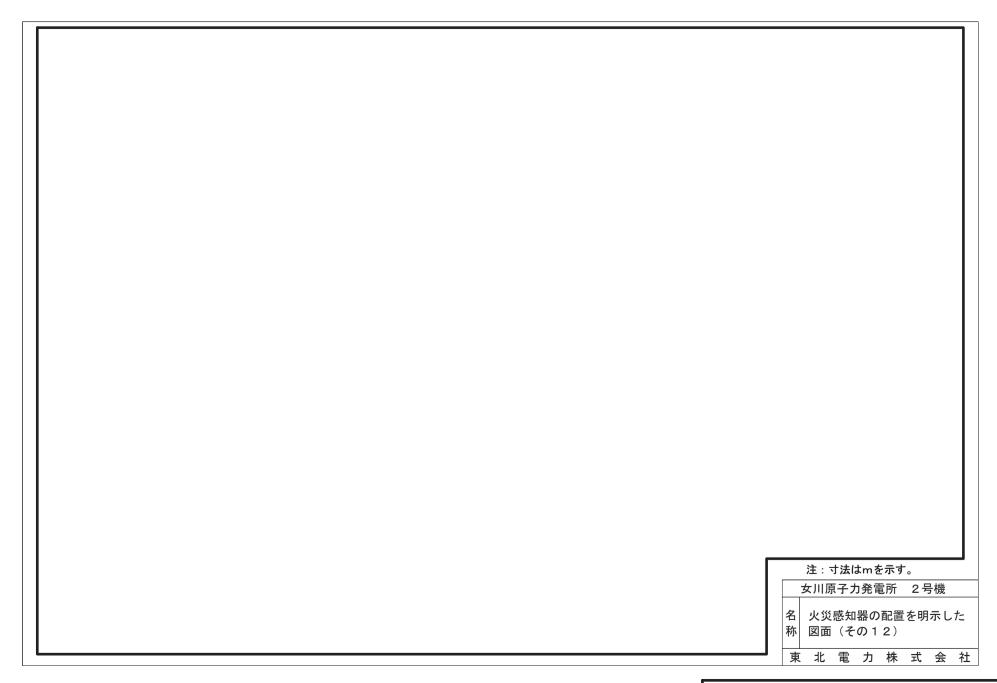


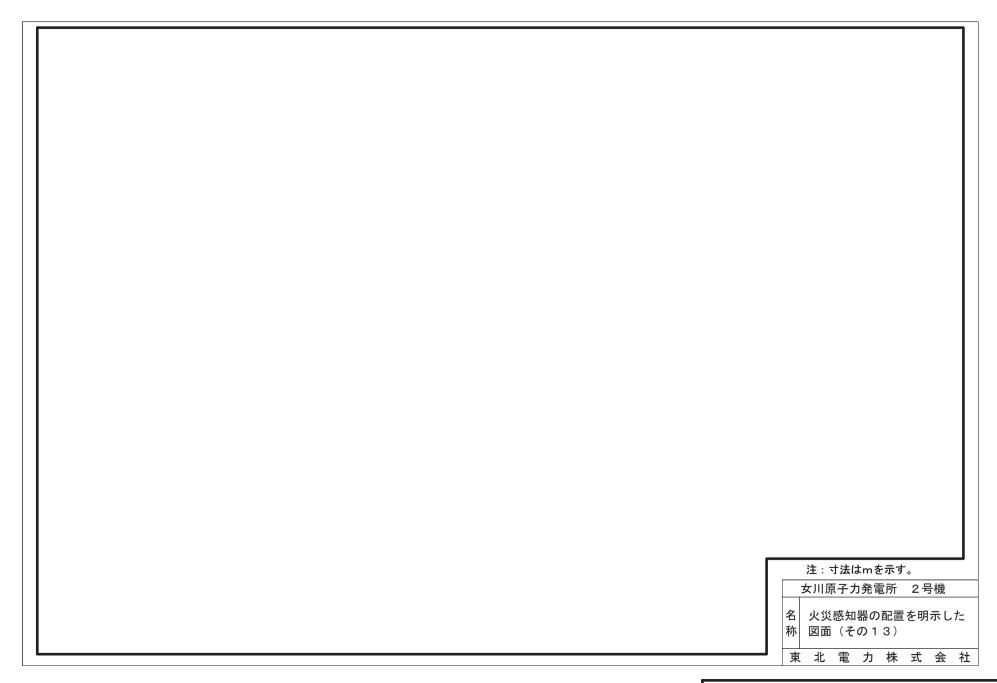


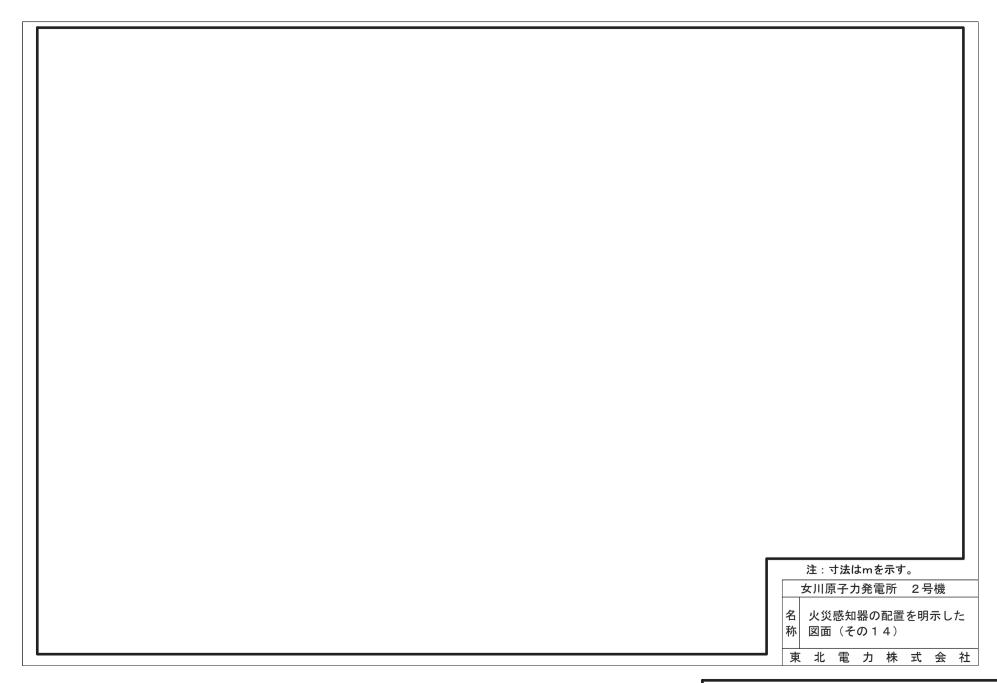


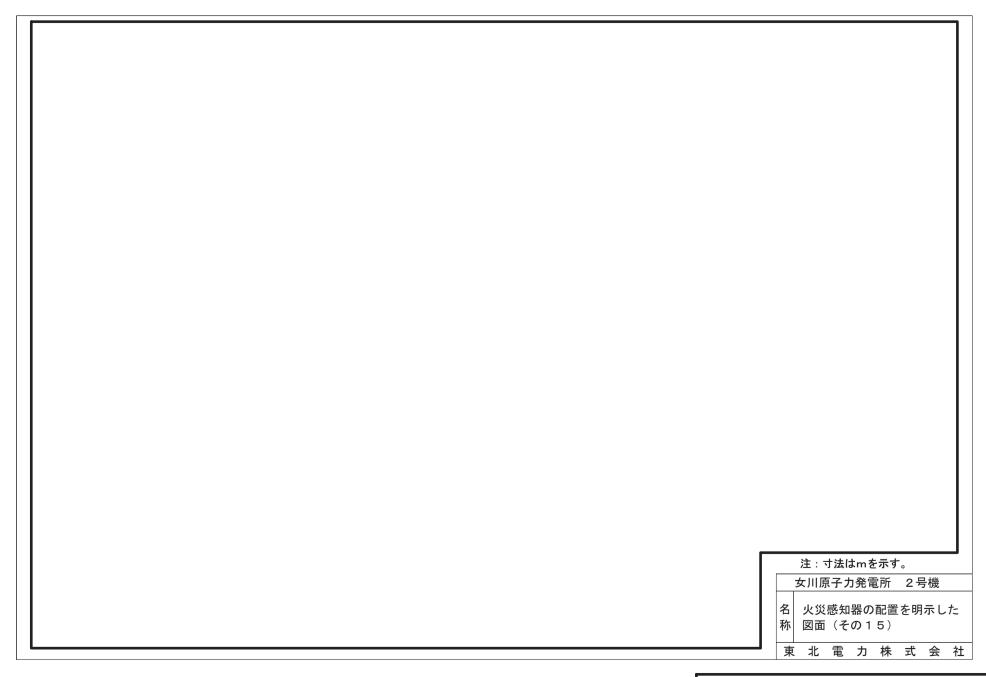


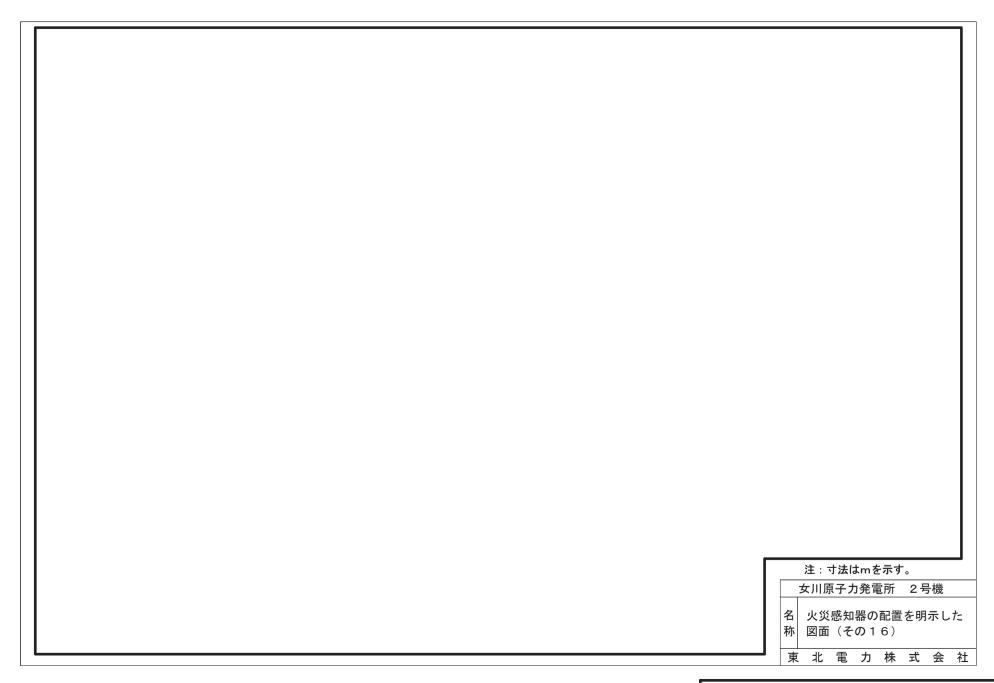


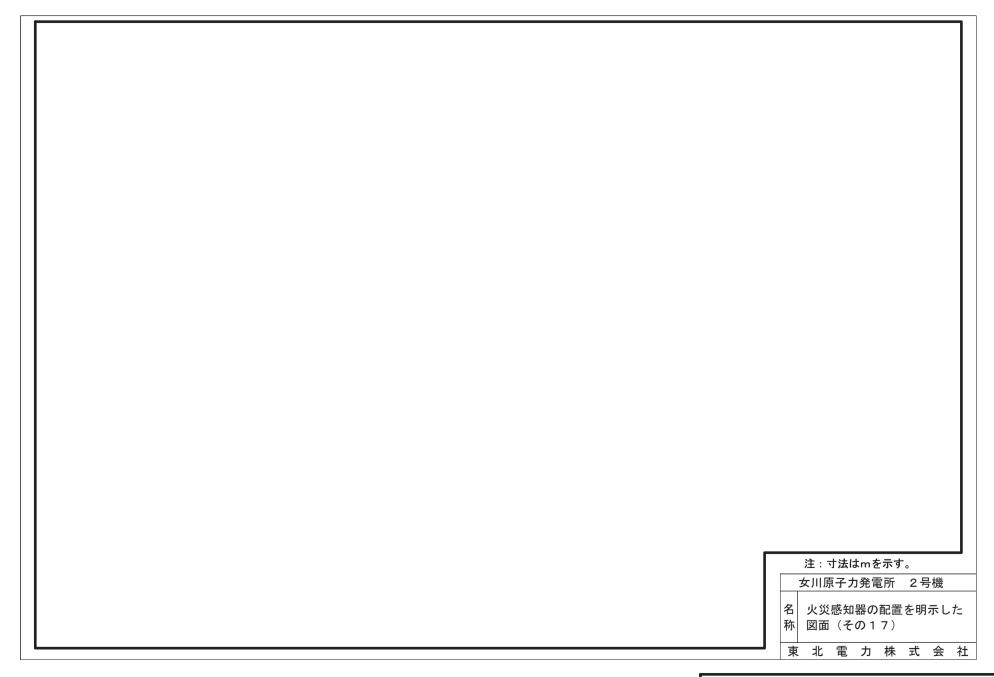


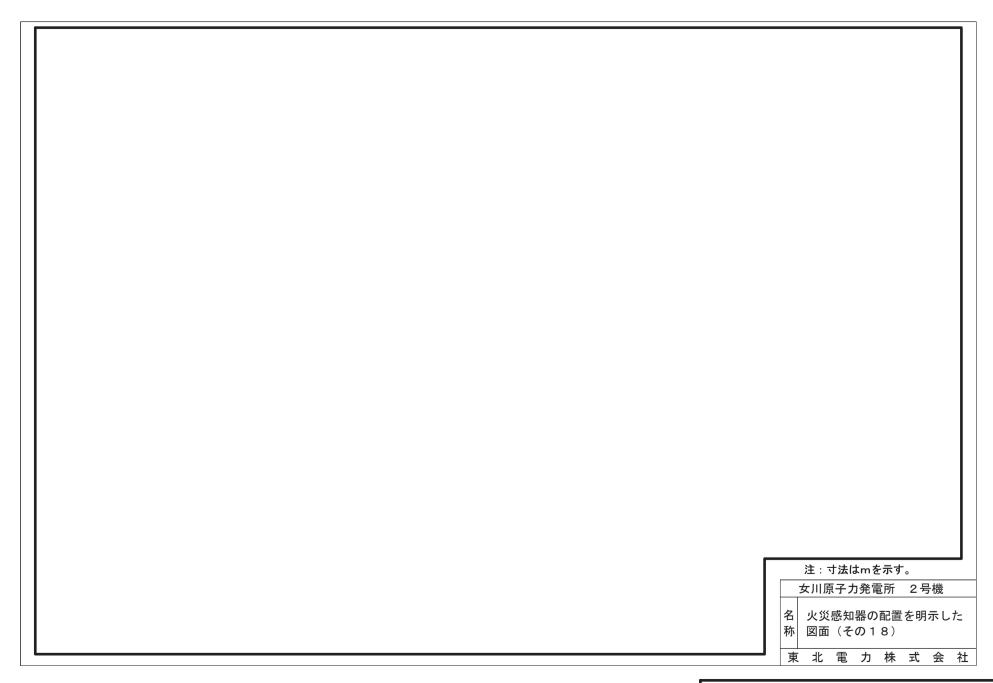


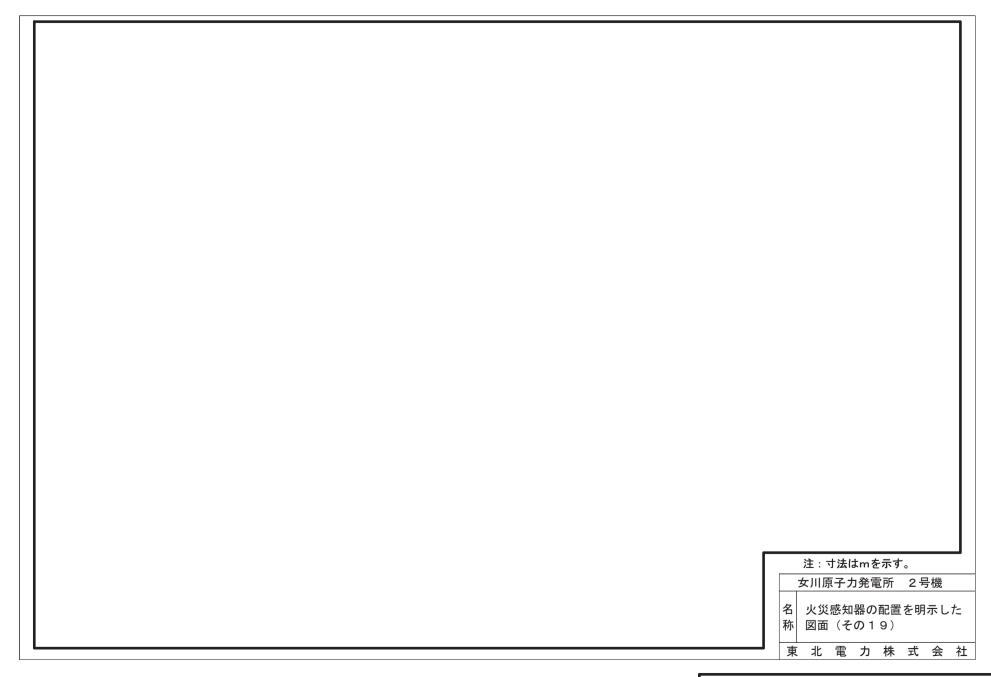


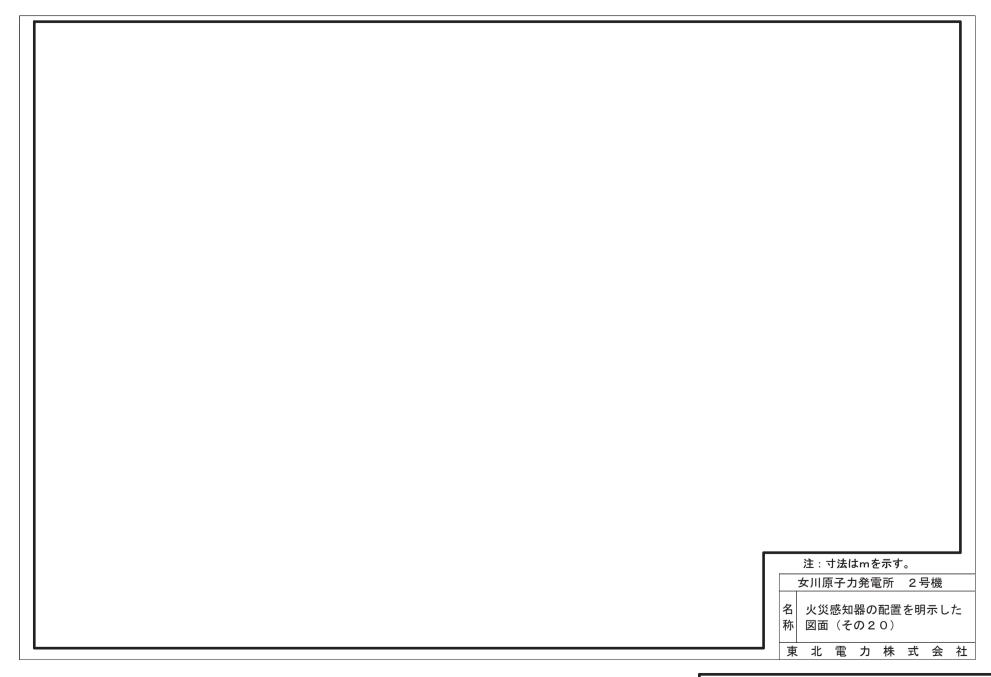


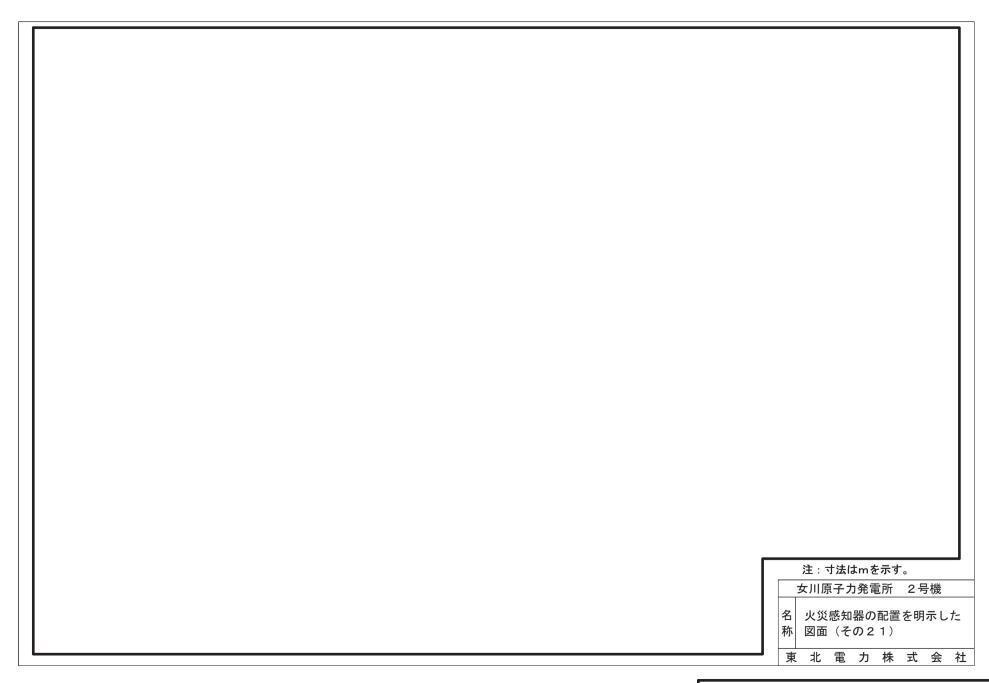


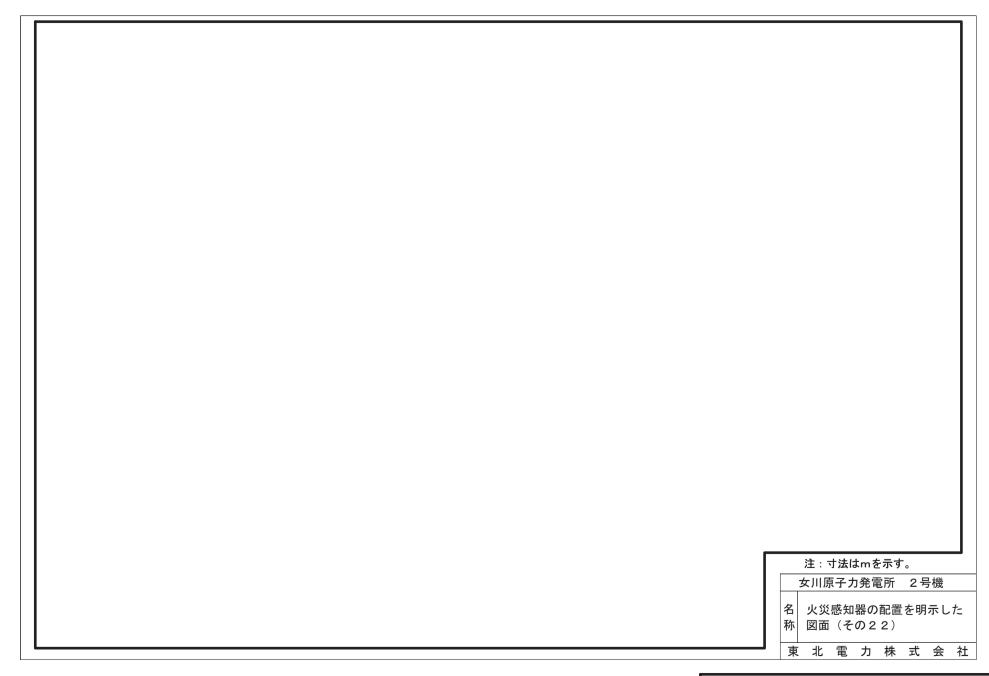


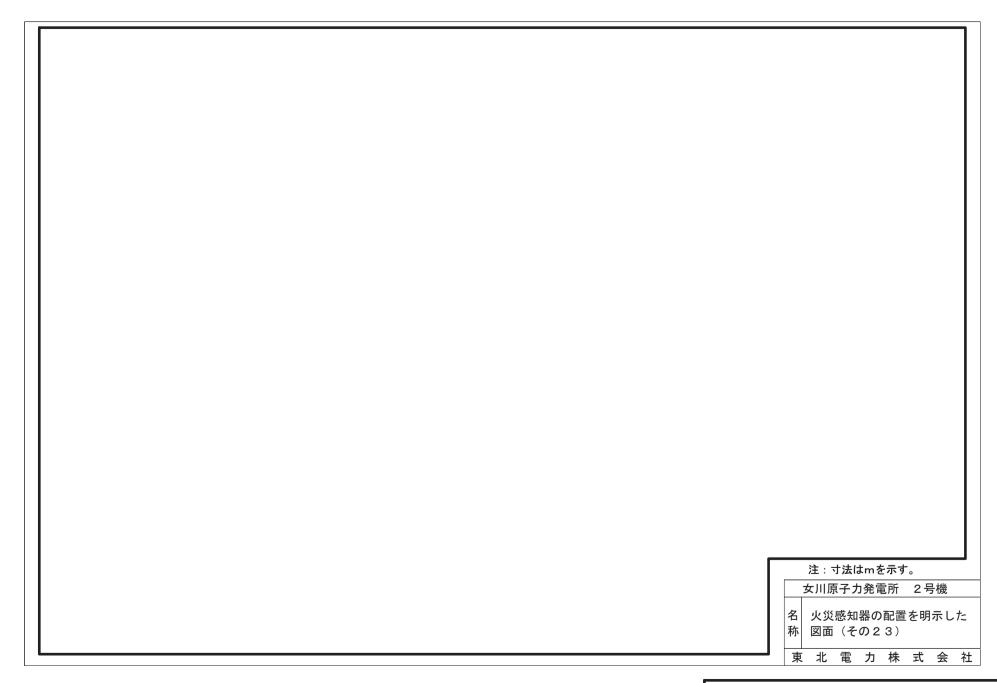


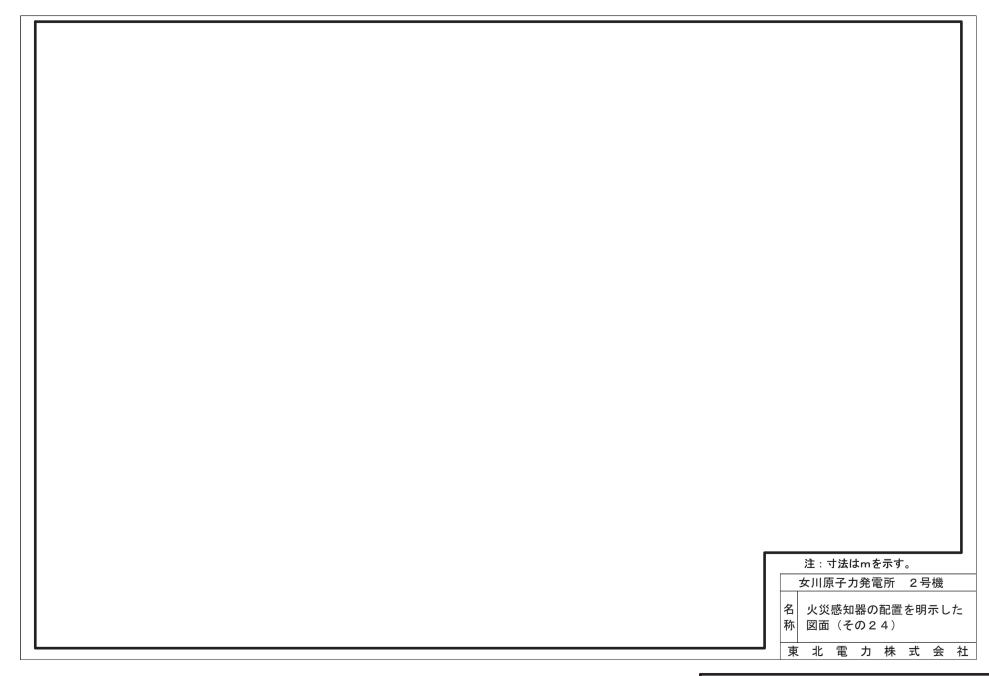


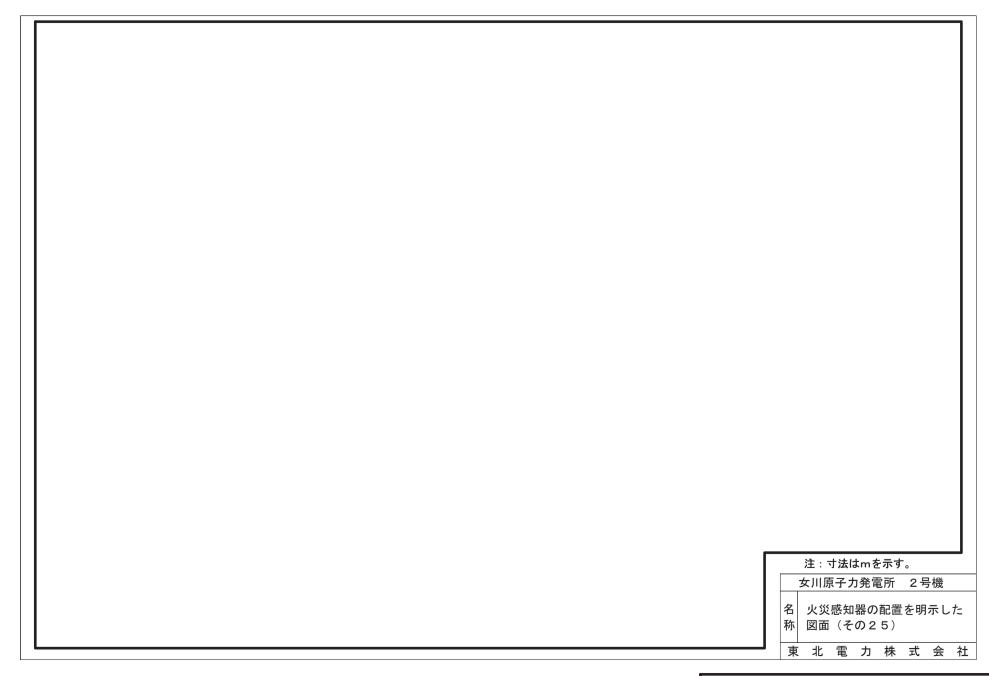


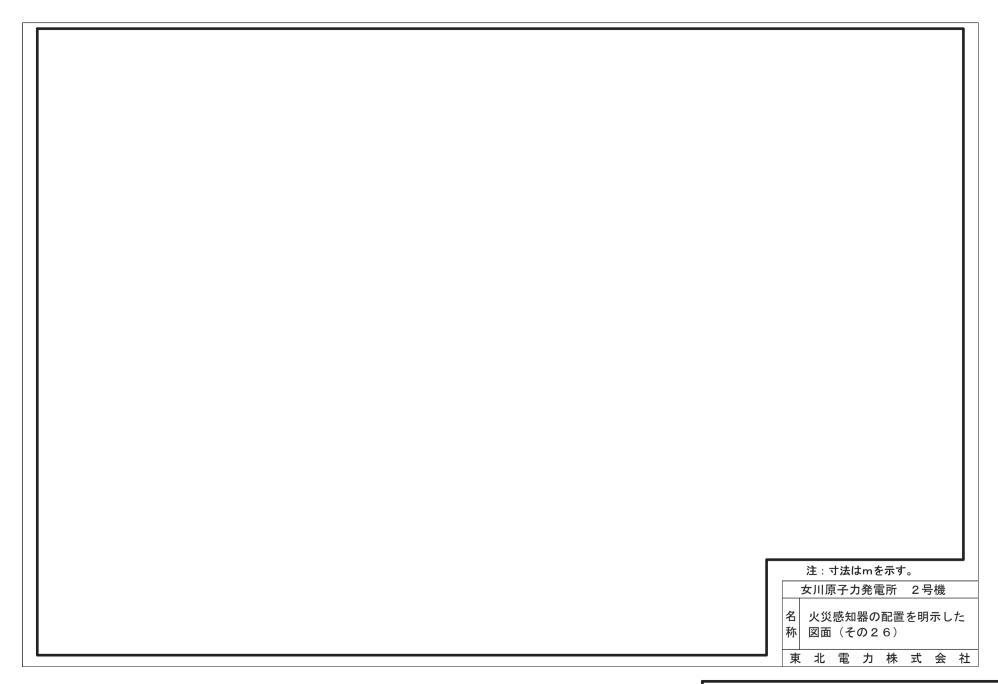


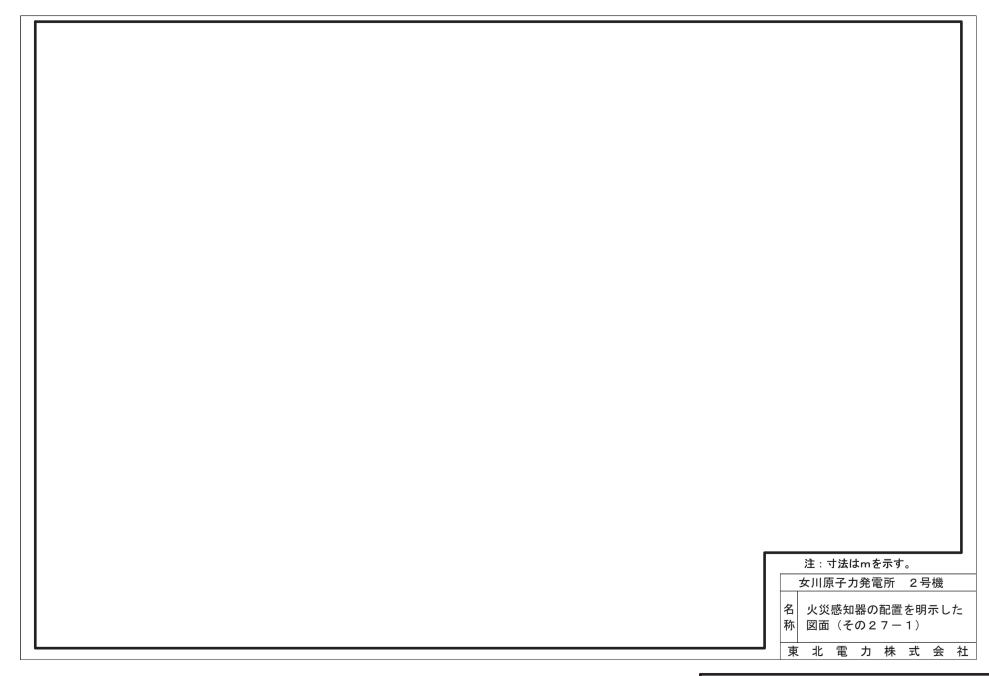


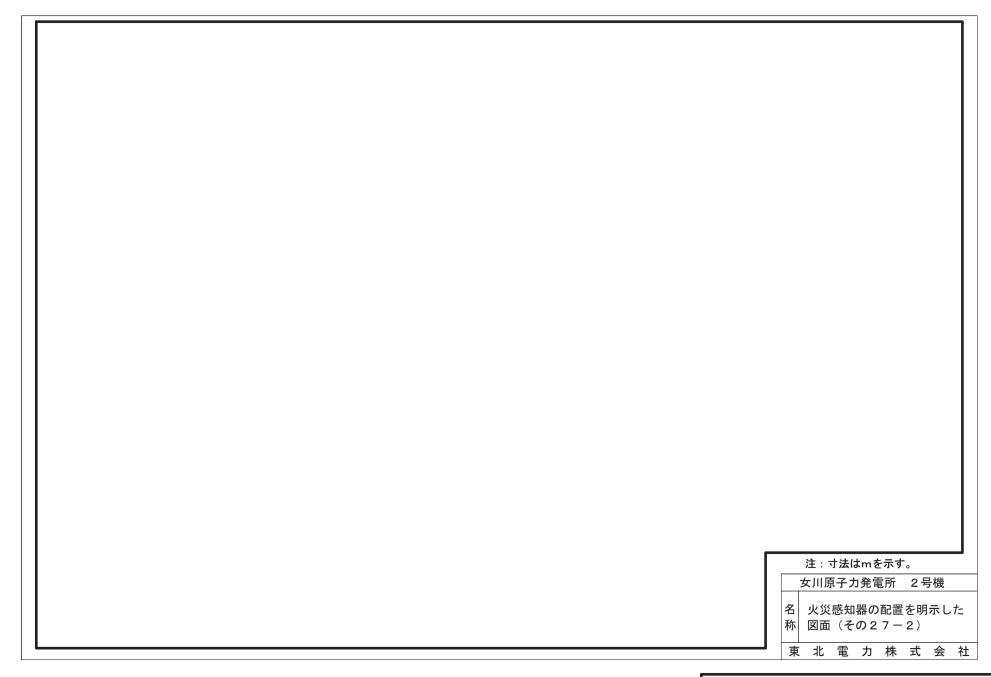


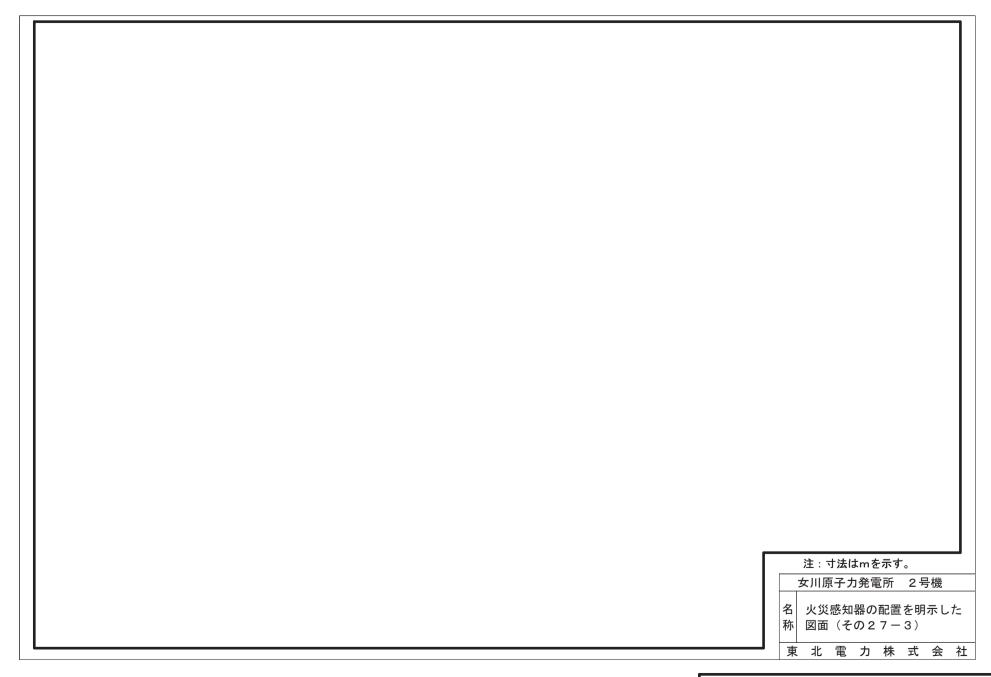


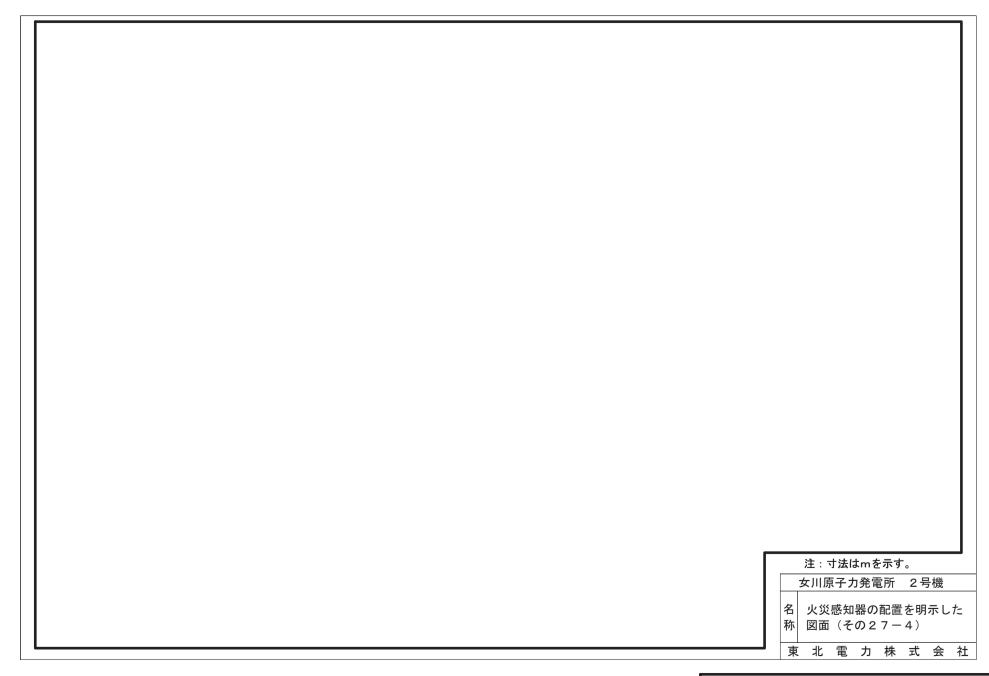


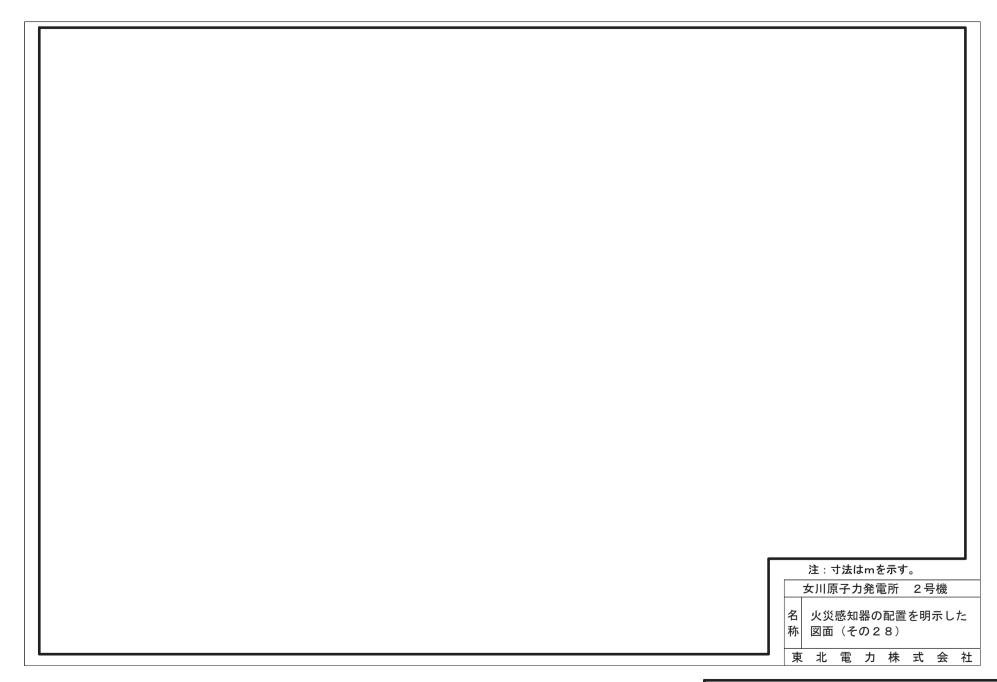


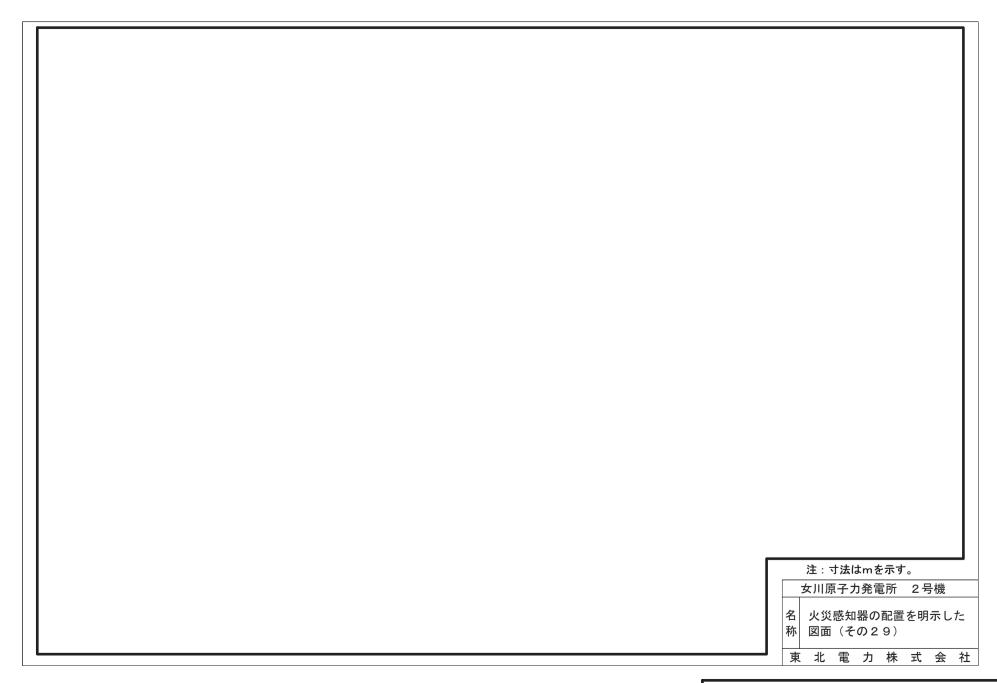


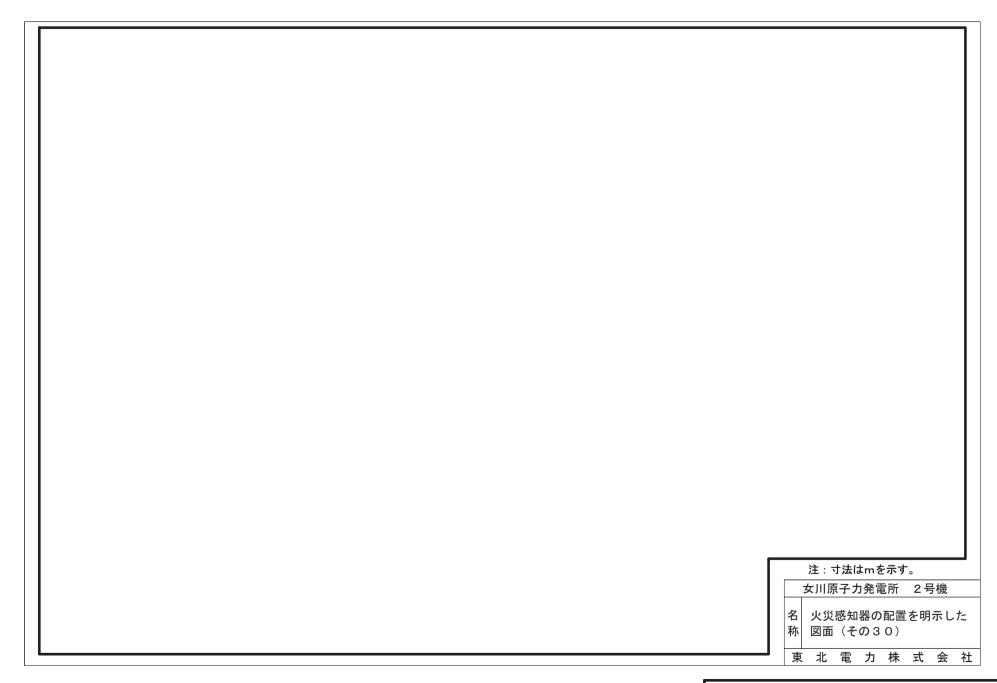


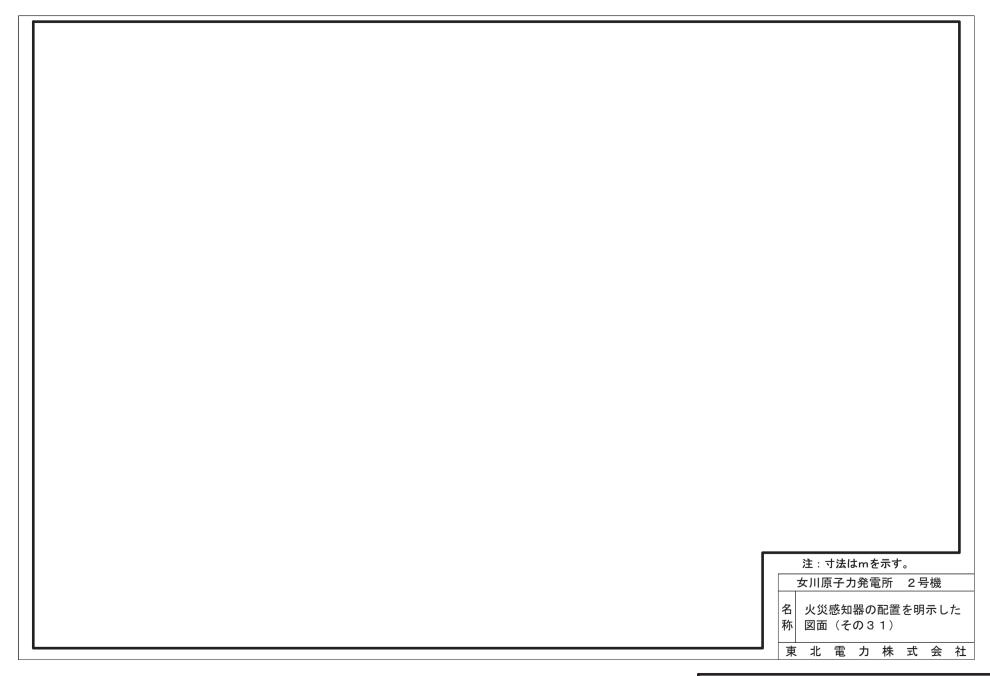


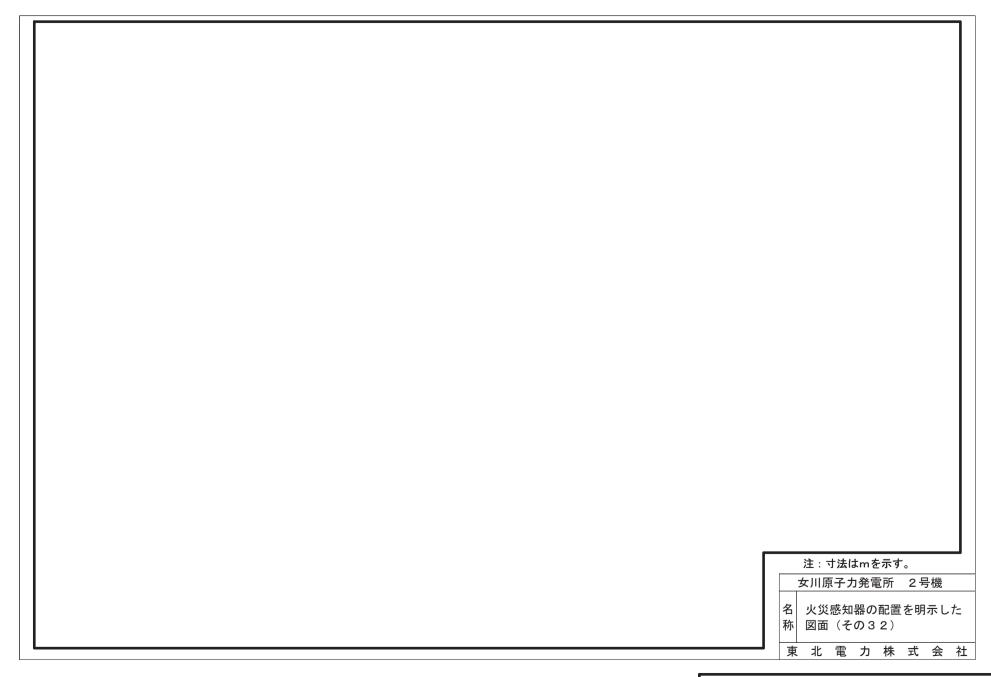


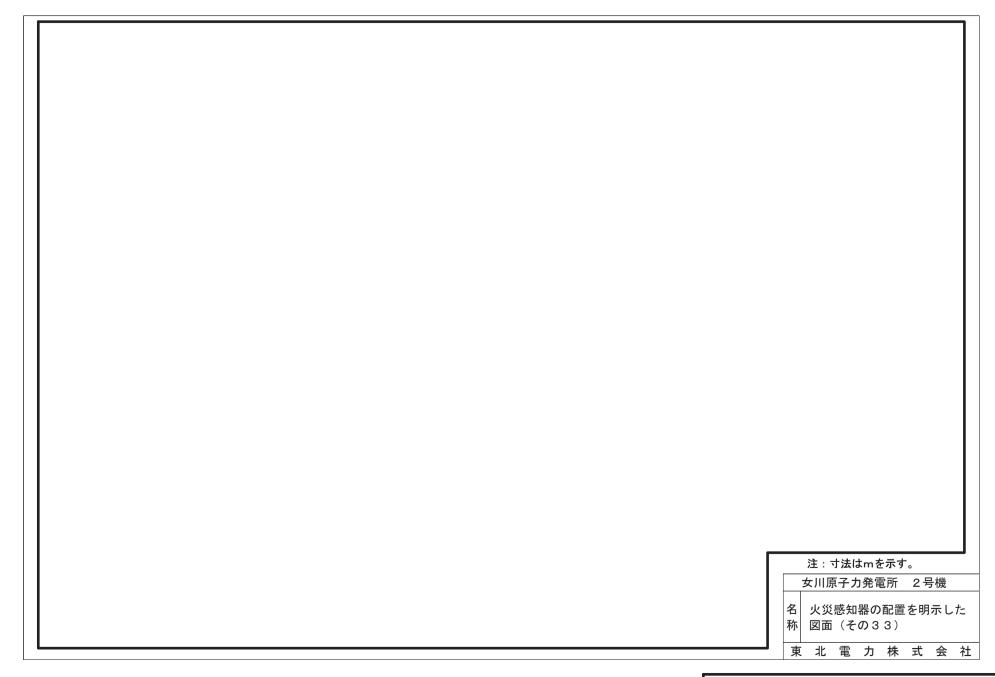


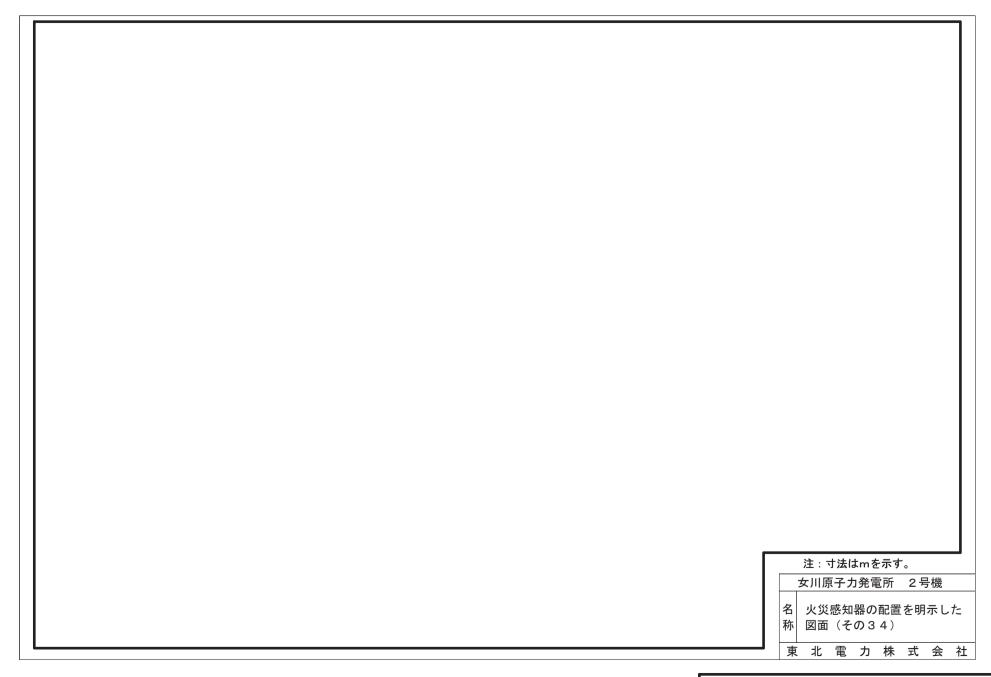






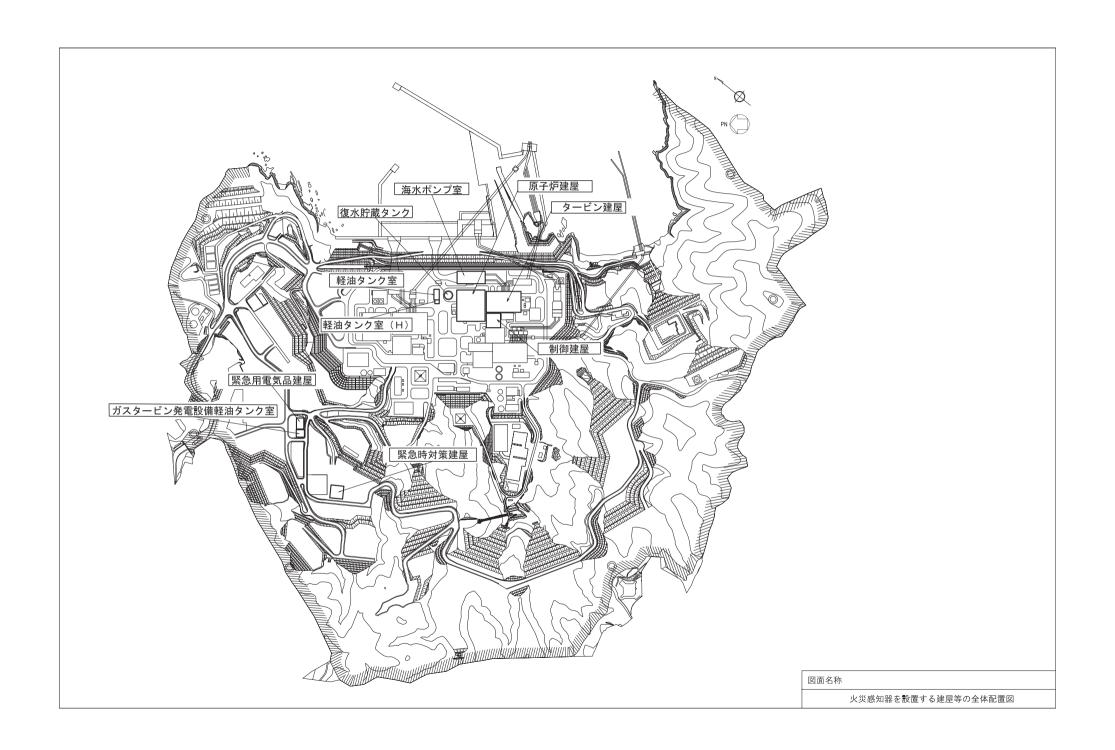






別紙1

消防法施行規則第23条第4項に従い設置された 火災感知器の設置状況について 原子炉建屋、タービン建屋、制御建屋、緊急用電気品建屋、緊急時対策建屋及び地下タンク室に設置する火災感知器について、建屋等毎に火災感知器の配置を示した一覧表と火災感知器の配置図について以下に示す。なお、建屋毎に代表1箇所の断面図を示す。また、各建屋などの配置を全体配置図に示す。



消	防法に	準拠し	た火災	感知器(の配置を	示した-	一覧表(对聚:消	奶缶施	仃規則	弗23	余弟	4項に認	《当づる	5火火	憨知者	引【炉	十炉建	座】															
								煙感	知 器														熱感	知 器								炎感知器	備	*
1\							消	防法	施行	規則												消几	方 法 施	10 行	則							消防法施行規則	уне	20
		壁の 第5 参数取4mm利 日 ・ 1見取4 の ・ 1見取4 の ・ 1の ・	圖 238火リー 238火リー 238火リー 238火リー 238火リー 238火リー 238火リー 238火リー 238火リー 238、第14、第14、第14、第14、第14、第14、第14、第14、第14、第14	から0.6mle から0.6mle に1.6mle に2.6mle に3.6mle に3.6mle に4.6mle に4.6mle に4.6mle に5.6mle に5.6mle に6.6mle に6.6mle に7.6mle	以上突出した。 は上突出するよう設は 段及び傾斜に 原及が傾斜に はように設け、 はいののないものい 自動火災減でが まったのい はり等の のない はり等の る。 路段及が傾斜に にはり等の る。 路段及が にはり等の る。 ある。 路段及が にはり等の る。 の。 はい にものる。 にもの。 にもの。 。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 にも。 にもの。 にもの。 にもの。 にもの。 にも。	ける。 絡を除く感気 青 は、はり高さ は、はの は、はの は、はの は、はの は、はの は、はの は、はの は、はの は、はの は、はの は、はの は、はの は、はの は、はな は、はな は、ない は 、ない は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、	印区域ごとに さ1m以上と 基準書 連続する場 m以上1mオ	こ、感知器のする。 合、取付面で	種別及び取 高さに応じた	な付け面の た範囲の隣 以下の小B	高さに応 接する恩 医画が1つ	じて次の S.知区域 D.隣接し	表で定める を当該部分 ている場合	床面積に を含めて は、当該額	:つき1個以 1つの感知 部分を含め	以上の個ロ区域と	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3条第4項かは は以面高端 は以面高端 と下でである。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 が関する。 がいが、記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 に記載のない。 にいが、こことが、こことが、こことが、こことが、こことが、こことが、こことが、ここ	No. 4m以にを を、火災 満満り高さに〇0 は、業以 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1	有効感知面では 水面でで、 35mので、 35mので、 35mo で 35mo で	5よう設ける 特種) 特種) は、はり高さ 1設備工事 を さが0.4m 1設備工事 は はがで、4m 1設備工事 は は 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はり高さ 1、はりる。 1 はりる。 1 はしる。 1 はりる。 1 はしる。 1 はりる。 1 はしる。 1 は も も も も も も も も も も も も も も も も も も	1m以上とで 基準書 読する場合: n以上1m未 基準書 型感知器(特	する。 、隣接する懸満で区画さ	感知区域を記れた5㎡以	亥当部分 下の小₽	を含め1:	5㎡以内で	きあればいる場合	1つの感知	口器区域と	≃見なす	湯防法能行規則 は準拠して感知 を設置する。 * 変数に設置を設置を設定を ・ 変数に対している。 ・ 変数が記述を記述を ・ 変数が思想を になに対しているとである。 になに対しているというである。 についているというである。 ・ である。なお、の部と組 をり、その場合が思せいるとは をり、その場合が思せいるというである。 ・ である。なお、の部と組 をり、その場合が思せいるというである。 ・ である。というである。 ・ である。というである。 ・ である。というである。 ・ である。というである。 ・ である。というである。 ・ である。というである。 ・ である。 ・ でも、 ・ で		
		上記	に記載のな	い消防法施	行規則につい	ハても準拠し	して感知器を	上設置する。																										
火:	災区画	感知			è			の高さ	小区画	総面積	総面積 (1+1)	総面積 (1+n)	消防法	減数設置	設置数	승 왕	感知		高	ė.		はり等	の高さ		総面積			肖防法	減数設置	20-000 Wh	合 計	숨計		
階	部屋番号	号 区域	(∼4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	<75㎡	+10m²	<60m²	設置数	適用	改邑敦	- at	区域	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	<35㎡		<15m²	设置数	適用	改巴奴	'A AT	DAT		
	I	1 1	_	_	0	_	0	0	1453.4		_	_	42	_	42	42		_	_	0	_	0	0	1453.4		_	_	106	_		106	_	+411200	
		3 ①	+=	0	=	_	+=-	0	75 75	75 75	=	=	3	=	3	3	1	_	0	_	_		0	75 75	75 75	_	-	4	=	4	4	-	大ばり3区画 大ばり3区画	
		4 ① 5 ①	=	0	_	=	=	0	61	61 61	=	Ξ	3	=	3	3	1	=	0	_	_	=	0	61 61	61 61	=	=	3	=	3	3	=	大ばり3区画 大ばり3区画	
	F	5 (I)	+=	0	_	=	0	0	107		+=	=	2	=	2	Ť	1	=	0	=	=	0	0	107		=	=+	6		6		=	中ばり6区画	
	l L	6 2	_	0	_	_	0	0	65	172	_		2	_	2	4	2	_	0	-	_	0	0	65	172	-	-	4	_	4	10	-	中ばり4区画	
		7 1	+=	0	=	=	0	0	65	304	=		2	Н	2	7	1		0	=	=	0	0	65	304	= +	=+	14	=	1.4	18		中ばり4区画 由ばり14区画	
	-	8 ①	+=	0			0	0	239 97	97	+=	+=	2	-	2	2	(1)		0	=	=	0	0	239 97	97	=	=+	4		14	4		十はり14区画 大ばり2区画	
	F	9 ①	-	0	_	_	-	Ö	77	77	<u> </u>	-	2	_	2	2	(1)	_	Ö	_	-	_	Ö	77	77	_	- 1	4	_	4	4		大ばり2区画	
		1	_	0	_	_	_	0	38		_	_	1	_	1		1	_	0	_	_	_	0	38		_	- [2	_	2		_		
		10 2		0	_	_		0	93 41	172		_	2		2	5	2	_	0	_			0	93	172	_		2		2	8		大ばり2区画	
	-	11 ①	+=	0			+=-	0	19	19	⊢≕	=	1	=	1	1	(1)		0	=	=		0	19	19	=	=+	1		1	1		人はりと区画	
	l F	①	_	ŏ	-	_	_	ŏ	54	113	—	-	1	_	1	3	1	-	ŏ	-	_	_	ŏ	54	113	_	- 1	2	_	2	4	_		
	L	(2)		0	_	_		0	59	113		_	2		2	3	2	_	0			_	0	59	113	_	_	2	_	2	4		大ばり2区画	
		15 ②	_	=	=	0		_	6.2	366.4	⊢≕	+=	_	=	-	16	1	_	=	=	0		_	6.2	266 4	_	-			- 10	10	1	煙感知器はR-2-3①と	〒用
		(3)	0	-	0	=	0	0	307.8 52.4	300.4	$\vdash \equiv$		14	-	14	15	(3)	0	= -	0	=	0	<u> </u>	307.8 52.4	366.4	= 1	=+	10	=	10	10	2		
		16 ①	0	<u> </u>	_	_	Ĕ	_	25.6	25.6	_	_	i	_	i	1	Ũ	0	_	Ĕ	_		_	25.6	25.6	_	- 1	1	_	1	1			
		17 ①	0		_		_	_	13.7	13.7		_	1	_	1	1	1	0	_			-	_	13.7	13.7			1		1	1			
	⊦	19 ①	0	+=	_		=	_	27 27	27 27	=		1		1	1	1	0	=	_				27	27 27	=	_	1		1	1	-		
		21 ①	0	-	=	=	=	=	19	19	+=	=	1	=	1	1	1	0	=	=	=		=	19	19	=	=+	1		1	1	<u> </u>		
B3F	R-1-	22 ①	0	_	_	_	_	_	30	30	_		2	_	2	2	1	0	_	_	_	_	_	30	30	- 1	- 1	2		2	2	_		
	⊦	23 ①	0		_				24	24 24	=	=	1		1	1	1	00	_	=				24	24		=+	1		1	1			
		25 ①	0	=	=	=	=	=	11.3	11.3		=	1	=	1	1	1	0	=	=	=				11.3	=	=+	1		1	1	==		
		26 ①	Ö	_	_	_	_	_	42	42	_	_	1	_	i	1	Ũ	Ö	_	_	_	_	_	42	42		_	1	_	1	1	_		
	-	27 ①	0	_	_		=	_	20	20	=	=	1		1	1	1	0 0	_	_	_			20	20	=	_	1		1	1			·
		28 (1)	0	+=	=	=	=	=	20	20 20		=	1	=	1 1	1	(1)	0	=	=	=			20	20 20	=		1		1	1			
		31 ①	Ö	_	_	_	_	_	28	44	_	_	1	_	1	2	1	Ö	_	-	-	_	_	28	44	- 1	_	1	_	1	1	_		
	L	31 2	-	_	0	_	0	_	16		_	_	- 1	_	- 1		2		-	0	_	0	_	16		- 1	-	-	_	_		2		
		32 ①	0	+=	=	=	+=-	=	28 28	28 28	-	=	1 1	-=	1 1	1	1	0	=	=	=		=	28	28 28	=+	=+	1	=	1	1	=		
		34 ①	0	-	=	=	=	=	26	26	ΗΞ		1	=	1	1	1	0	=	=	=			26	26	=	=+	1		1	1	==		
	[35 ①	Ö	_	_	_	_	_	15	15	_		1	_	1	1	1	Ö	_	_	_	_	_	15	15	- 1	- 1	1		1	1	_		
	⊦	37 ① 38 ①	0	=	_	=	=		18.4 47	18.4	+=	=	1	=	1	1	1	0	=	=	=				18.4	=	=	1	=	1	1	=		
		(1)	-	0	 		⊢ = −	0	48	4/	ΗĒ	ΗĒ	1	╼	1		1		0	=	= 1	=	0	48	41	=	=+	3	=	3		=		
		39 2	_	0	_	_	0	_	97	459	_	_	2	-	2	11	2	_	0	_	-	0	_	97	459	-	-	4	_	4	25	_		
		39	-	0	_	_	_	0	249	400	_	-	6	-	6	"	3	-	0	_	-	1	0	249	400	-	_	14	-	14	20	_	中ばり14区画	
	⊦	40 ①	+=	0	_	=	=	0	65 71	71	-	-	2	-	2	2	4	_	0	_	=		0	65 71	71	=	=+	4		4	3		中ばり4区画 大ばり2区画	
	F	41 ①	+=	0	_	=	=	_	50	50	ΗΞ	=	1	=	1	1	1	=	0	_	=	_		50	50	=	=+	2		2	2	-	ハルウントに間	
		42 ①		Ö	_	_	_	_	22.1	22.1	-		1	_	1	- 1	Ű	_	Ö	_	-	_		22.1	22.1		-	1	_	1	1	_		
	⊦	43 ①	+=	0	_	=	=		22 25	22	=	=	1	-=	1 -	- 1	1	=	0	=	=	=	=	22	22	=	=+	1	=	1	1		煙感知器、熱感知器は	D_1_44② k 英田
1		44 2	0	_	=	=	=		25	50	H	=	1	HĒ	1	1	2	0	_	=	=		=	25	50	=+	= +	2	=	2	2	=	/生心が指す、100元以前16	1 THG/C/R/TI
																																	•	

7月1)か法に	こ年拠し	ノにりくり	《感知器》	の配直を	示した-	一覧表(对家: 很	沙法施	1. 行規則	弗23	3采用4	担しい	《当りる)火火,	恐 知	舒)【店	十分,	E座】														
Λ								煙感	知 器	ļ													熱感	知 器								炎感知器	備考
$ \rangle$		壁	23条第4 又は取付i	動から0.6m	以上突出した	:はり等によ		防法れた部分ご			び取付け	面の高さ	に応じて組	感知器床面	積につき	1個以	壁又	23条第4項 は取付面:	から0.4m以	以上突出した	はり等によ	って区画さ	防法施			び取付値	面の高さに	応じて次	の表で定	≧める床面	積につ	消防法施行規則 消防法施行規則 に準拠して感知器	
		◇第	523条第4 知器は、廊	項七ホ	知するよう設 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	路を除く感気	知区域ごとに	こ、感知器の	種別及び耳	取付け面の	高さに応	じて次の	表で定める	5床面積に	つき1個」	以上の化	取付 4m: 4m:	面高さ 未満 以上~8m	数を、火災に	床面積 70㎡ 35㎡	(特種) 特種)											を設置する。 * 炎感知器に設 置数が記載されて	
\	\	取1 4n	、火災を有付面高さ n未満 n以ト~2		るように設ける 床面和 150r 75㎡	責 ni											♦ 日2	卜火災報知	はり高さに〇 機工業会 KO 4以 F1r	自動火災報知	1設備工事	基準書	する。	成知区域を1	当部分	を含め15	imi以内で	あれば1	つの感知	1器区域人	-見なす	いる同じ部屋番号 に設置数が記載さ れている煙感知器 又は熱感知器が	
		◆日	本火災報	知機工業会	○のないもの 自動火災報 上1m未満で	知設備工事	基準書		京ナルウ い	+ 笠田の間	は 土 ス 同	i ka nz tuk s	- w =+ ±=/	+ 4 4 7	この感	n Ez tek L	ことが	できる。 [画が隣接し		、はり等の漢			未満で区画さ									炎感知器と組合せて設置する感知器である。なお、一部について他の部屋	
		見な取り	り号の深さ すことがて 付面高さ n以上~8	きる。	床面利 60m	ŧ	が形的なものや	I C , AX IV III	m CICIDO	/_ #EEE 07 PJ	11X 7 WE	7AII (2-94.6	E = 18 AP / J	2800	1 200 (23)	пБ-94.C	◆日2	ト火災報知 い居室等(機工業会 自 の場合	自動火災報知												番号の感知器と組 合せる場合があ り、その場合の組	
	\	の感	知区域と	することができ				未満で区画さ	*れた10mi	以下の小り	区画が1つ	⊃隣接し7	いる場合	は、当該音	『分を含め	て1つ			画の細長い居 い消防法施行				特殊)を設ける を設置する。	る場合は、参	行距離	13m/27	き1値以」	設ける。				合せる感知器は備 考欄に記載した感 知器となる。	
		る。	知器は、廊	下及び通路	通路、階段及 にあっては歩	行距離30	mにつき1個		対を、階段 及	なび傾斜路	にあってに	は垂直距	雕15mに	つき1個以	上の個数	を設け																	
火车	災区道	_	記記載の	ない消防法施高	を さ	いても準拠	1	を設置する。	小区画	総面積	総面積		消防法	減数設置		^ =	感知		高	ŧ		はり等	手の高さ	小区画	面積		8面積 消	防法	或数設置		A 81	0.01	
階	部屋都	100 区均	戊 (~4m) (4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	<75㎡	(1+1) +10m²	(1+n) <60m²	設置数	適用	設置数	合品	区域	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	35 m²		(1+n) (15mi	置数	適用	設置数	合 計	合計	
B3F		45 ① 46 ①	- 0	+=	- 0	=	<u> </u>	=	23 9.2	9.2	 -	=	1	=	1	1	1	0	=	0			=	9.2	9.2	=	=+	1		1	1	4	
		47 ① 48 ①			=	=	=	=	11 16	11 16	$\vdash =$		4	=	4	4	0	=	=	=		=	=	11	11 16	=	= -	7	=	7	7	==	
		49 ①	_	_	_	_	_	_	11.7	11.7	<u> </u>	_	5	_	5	5	1	_	_	_	_	_	_	11.7	11.7	_	- 1	7	_	7	7	_	
階段		51 ① 52 ①			=	_	=	=	11.2	11.2	=	=	3		4	4			=	=	-	=	=	12	12 11.2	_		5	=	8 5	8 5	=	
FEFA		53 ①	_		_	0	_	_	11.2	11.2	<u> </u>	_	2	_	2	2	Ű	_	_	_	0	_	_	11.2	11.2	-	-	3	_	3	3	_	
	R-1-	54 ①	+=	+=	+=-	-	+=-		11.5	11.5	+=	=	6	-	6	6	1		-	-=-		_=	+=-	11.5	11.5	=	=	9		9	9	==	
		62 ①	_	_	_	_	_	_	4.7	4.7	_		4	_	4	4	- 0		_	_	_	_	_		4.7	_	_	7	_	7	7	_	
		63 ①	+=		0	_	0	=	34 34	34 34	+=	=	1 1	=	1 1	1	1	=	+=	0	=	0	=	34 34	34	=		= +	=	+=	_	4	
		65 ①		_	ő	_	ő	_	34	34	-		i	_	1	1	- 0	_	_	ő	_	Ö	_		34		_	- 1	_	_	_	4	
B3F		66 ①	_		0	=	0		23	23	+=-	=	1	=	1	1	1		=	0	=	0	=	23	23	=	=	= +	=	_	_	4	
		68 ①	+ =	0	_	=	_		18.2	18.2	+=		1		1	1	1		0	_		_	-		18.2	=	= +	1	=	1	1	4	
		69 ①	_	0	=	=	_		18.2	18.2	=	_	1		1	1	1	_	0	=		_		18.2	18.2	=	= -	1		1 5	1 5		
\vdash		/0 (1)	_	-	+=	=	_	0	157 79	157	+=	=	2	=	2	2	①	_	0	=			0	157 79	157	=+	=+	3		3	5		細長い居室等を適用
		1 ②	_	Ö	_	_	_	_	112	238.8	_	-	8	_	8	12	2	_	0	_	_	_	_	112	238.8	-	-	8	-	8	13	_	
		3	+=	0	+=	=	-	0	47.8 18		 -	=	2		2	<u> </u>	3	=	0	=	=	-	0	47.8 18		=	=	2		2	<u> </u>		
		2 2	=	0	_	_	0	_	12	30	_	=	1	=	1	2	2	_	0	_		0	_	12	30	_	= +	1	_	1	2	==	
		3 ①		_	0	_	0	_	44.5	44.5	I -	_	2	_	2	2		_	_	0		0	_		44.5	- 1		_	_	_	_	6	
		4 ① 5 ①	-	0	=		=	=	11 94	11 94	=	=	1 2		1 2	1 2	1	-	0	=	=		=	11 94	11 94	=	_	3		1	1 3	=	
MB3F	R-2-	6 ①	Ť		0	_	0	_	30	30	<u> </u>	_	1	_	1	1	1		_	0		0	_	30	30	- 1	_	=	_	<u> </u>	=	4	
		9 ①		_	0	_	0	_	30	30		_	1	_	1	1	1	_	_	0	_	0	_	30	30	_		- 1	_	_		4	
		10 (1)	+=		- 0	=	0	=	45 30	45 30	⊢=	=	1	-	1	1	1		0	-		0	=	45 30	45 30	=+	=+	= +		+=	+=	4	
		14 ①	<u> </u>		0	=	Ö	=	30	30	┢═	=	1	=	1	1	1	=	<u> </u>	ŏ		Ö		30	30	= 1	=	= †		=		4	
		15 ①	_	0	_	_	_	_	23.3	23.3	_		- 1	_	1	1	1	_	0	_	_	_	_		23.3	_	-	1	_	1	1		
		16 ①	+=	0	+=	=	-	=	72.2 49	72.2 49	+=	-	3	=	3	3	1	-	0	=		-	=	72.2 49	72.2 49	=		3	_	3	3		
		19 ①			+=	=	_		103.7	103.7		=	2		2	2	1	0	_			_	-		03.7			3	=	3	3	-	
		1 ①		0		_		0	57.8	57.8	_	_	2	_	2	2	1	Ĕ	0	_	_	_	0	57.8	57.8			2	_	2	2	_	
		2 ①	_	0			_	0	49 52	49 52	Η=	=	2		2	2	1	=	0	_	_		0	49 52	49 52	=	= -	3		3	3	_	大ばり2区画
		3 (1) 4 (1)	+=	0	+=	=	+=-	0	52 55	52	+=		3	-	3	3	1		0				0	52	55	=		3	_	3	3		大ばり3区画 大ばり3区画
B2F	R-3-	5 ①	-	ő	-	-	-	Ö	274	274	t	_	5	-	5	5	1	_	0	_	_	_	Ö		274	- 1		10	_	10	10		大ばり5区画
BZF	H-3-	6 ①	_	0	_	_	_	0	111	143	-	-	3	_	3	4	1	_	0	_	_	_	0	111	143	- 1		5	_	5	7		大ばり3区画
		2	- 0	0	+=	=	-	0	32 16		=	=	1		1	Ľ	2	_	0	_			0	32	-	=	=	2		2	<u> </u>	=	
		7 (2)		-	+ =		+ =	0	16 43	59	=	=	4		4	5	(2)	0	0				0	16 43	59	=+		4		4	5	-	大ばり4区画
		8 1		ŏ	1 -		<u> </u>	ő	82	82	! —	-	2	_	2	2	1		ő				Ö	82	82	-		4	_	4	4		大ばり1区画
			-					_											_														

俏	防法に	準拠し	た火災ル	憨知器()配直を	示した-	一覧表()	对象:消	协法施	行規則	第2	3余弟	4項に該	き当する)火災!	憨知 君	舍)【店	十炉煙														
\								煙感	知 器														熱感	知 器							炎感知器	備考
- 1\							消	防法	施行	規則												消防	5 法 施	10 行規	則						消防法施行規則	DHE -75
		壁の 第感を取かれる ・ 数取 4 m を	:23条項4面次 323条項4面次 323条項 323条以 3238次 3238x 3	No.0.6 mkm がに有効 水路 は ・ しょ と は ・ は に に に に に に まり 機のる。 素 ていこと へ に と へ に と へ に と へ に と へ に と へ に と へ に と へ に と へ に と へ に と に は し に と へ に と へ に と い	ロするよう 及及よう (解析) では、 (のないも、 (のないも、 (ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	ける。 格を除く感知 およいははり高さ は、はり事では、 は、はり事ではなが は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	11 回区域ごとに 15 1 m以上と 基準書 連続する場 m以上1 m オ	こ、感知器のする。	種別及び耶 高さに応じか れた10㎡	た範囲の隣	高さに応 接する感 医画が1つ	じて次の	表で定める を当該部分	床面積に を含めて1 な、当該部	つき1個以 1つの感知 8分を含め	以上の値 ロ区域と	受 1 取 4 m j複 本りが 区 日 年 短 本 長辺 本 長辺	以上高 は は に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	1	有効感知する 原面が 70㎡() 35㎡() 3	あよう設ける 特種) 特種() およ、はり高さ 11設(備域がの、4m 11設(備工事: 11設(備工事:	5。 :1m以上と3 基準書 続する場合。 n以上1m未 基準書	rる。 隣接する ⁸ 満で区画さ 殊)を設ける	にに、感知器の 感知区域を該 れた5㎡以下	当部分を	含め15㎡ liが1つ隣	以内であれば	₹1つの感知 合は、当該†	1器区域と	見なす	河防進行規則 東防準拠してる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	
		\\ F82	に記載のない	い消防法施行	行規則につい	ハでも準拠し	、で感知器を	を設置する。																								
火	災区画	感知			ż ż			の高さ	小区画	総面積	総面積 (1+1)	総面積 (1+n)	消防法	減数設置	20.4M #L	合 計	感知		亩	ð		はり等	の高さ		面積 📆	面積 総面		減数設置	en me er	合 計	合計	
階	部屋番号	三	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	<75m²	(1+1) +10m²	(1+n) (60m²	設置数	適用	設直数	台計	区域	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積(1+1) (1+ 5m <15		適用	設直数	台計	合計	
		1	1 =	0	_	_	0	0	56 76		Ξ	=	1	=	1		1	_	0	=	=	0	0	56 76		= =	2	Ξ	2			
		9 ③		0	_	_	0	0	47	287	=	_	2	_	2	6	3	=	0	=	_	0	0	47	287	_ -	- 5	=	5	14	=	中ぱり6区画
		(5)	+=	0	=		00	0 0	57 51	+	=	=	1	=	1		(5)	_	0			0 0	0 0	57 51		= =	2	=	2		=	
		12 ①	0	_	_	=	Ė	-	23	23	-	=	1	_	1	-1	1	0	_	_		Ě					1	=	1	1		大げり8区画
	1 1	13 ②	0		=	=	=	0	206 32	249	=	=	11		11	14	2	0	<u> </u>	=		=	0	206 32		= =		=	12	15	==	大ばり2区画
	l -	(3)	-	0		- 0		0	11 16		-	=	1		1		3		0		-		0	11 16		=	11	=	1		2	煙感知器はR-5-23②と兼用
	1	15 ②		0	=	_	=	0	24	54	⊨	=	1	=	1	2	2	=	-0	=	_	=	0	24				=	3	4		中ばり3区画
		3	0	=	_	- 0	=	0	14 16		=	=	1		1		(1)	0	-	_	_	_	0	14		= =		=	1			煙感知器はR-5-69②と兼用
	1	16 ②	=	0	=	_	=	0	24	54	=	=	1	=	1	2	2	_	0	=	<u> </u>	=	0	16 24			3	=	3	4		中ばり3区画
	l -	3		- 0	=	_	_	0	14 461		=		1 10	-=-	10		(1)	0	0	_		=	0	14 461		= =		=	1		-	大ばり8区画
	1	17 ②		_	=	_	=	0	461	465	=	=	10	=	10	-11	2	_	_		=		0	4				=	-	16	1	
	1 📮	18 ①		0	=	=		0	72 10.3	72	ΙΞ-	=	2	=	2	2	1	=	0	=		=	0	72 10.3			3	=	3	3	_	大ばり2区画
B2F	R-3-	19 ②	0	_	_	_	_	=	71.4	92.9			1		i	3	2	0	_	_		_				= =		=	3	4	- 1	
DZF	K-3-	3	- 0	0	=	=	_	=	11.2 9.6		=	=	1		1		(1)	- 0	0	=		_		11.2 9.6	_	= =		=	1			
		2		0	-	=	=	=	15.3	t	⊨	=	1	=	1		2	_	-	_		=	=	15.3		= =		+=	1		==	
	2	25 3		- 0	0			-	25.2 24	135.6	=	=	1	=	1	7	(3) (4)	_	0	0	=	_	-	25.2 24				=		6	2	
		5	_	0	-	_	_	_	24	İ	_	-	1	_	1		5	_	0	_	_	_	_	24		_ -	1	_	1			
	-	6 26 ①	_	0	_		=		37.5 5.8	5.8	_	=	2		2	1	6	- 0	10	_		_		37.5 5.8		= =	2		2	1		<u> </u>
		27 ①		0	_	_	=	_	6.8	6.8		=	1	=	1	1	1		0	_	=	_		6.8		_ _	1	=	1	1		<u> </u>
		28 ①	-	0	=	=	0	0	55 48.5	55 48.5	H		1		1	1	1	=	0	=	-	0	0					=	2	2		
	1 3	32 ①	0	_	_	_	_	_	3.5	3.5	<u> </u>	_	1	_	i	1	1	0		_	_	_	_	3.5	3.5		1	_	1	1		
		36 ①	-	0	=	_	0	=	31.7	31.7	=	=	1		1	1	1	_	0	_		0		01.7		= =		=	1	1		
		39 ①	=	0	=	=	Ö	=	6.8	13.5	E	_	1	=	i	2	1	_	0	=	=	Ö	=	6.8		_ -	i	=	1	2	=	
	l Ľ	2	0	- 0	=	_	0	=	6.7 4.4	-	=	=	1	=	1	2	(1)	0	- 0	=	=	0		6.7		= =		=	1			
		39 ②	_	0	_	_	_	_	7.1	11.5	_	-	1	_	1	2	(2)	_	0	_	_	0	_	7.1	1.5	_ -	- 1	_	1	2		
		40 ① 41 ①		0	=	=	=		6.7 3.9	6.7 3.9		=	1		1	1 1	1	=	0	=		=	=					=	1	1	=	<u> </u>
-		1 1		_	=	=		=	10.7	10.7	⊢=		1		1	1		0	_	=		=				= =			1	1	=	
		2 0	0	=	_	_	=	0	123	164	=	=	4		4	7	1	0		_			0	123	64		4	=	4	6	_	大ばり4区画
		3 (3)	0			=	=	0	10 31	164	H	=	2		2	/	3	0	=	0	-	=	0	10 31		= =	2	=	2	ь	1	大ばり2区画
		4 ①		_	_	_	_	0	44	44	_	_	2	_	2	2	1	Ö	_	_	-	_	0	44		_ -		_	2	2	-	
MB2F	R-4-	7 (1) 8 (1)	0	+=-	_	=		0	31.2	31.2 33.5	+=	=	2		2	2	1	0					0			= =			2	2	=	
		9 ①		_	_	_	_	Ö	20.5	20.5		<u> </u>	1	_	1	1	Ű	Ö	_	_	_	_	Ö	20.5 2	0.5	= =	1	_	1	1	_	
	1 H	11 ①		=	_	=	=	=	29.4	29.4 284.8	⊢=	=	1 13		1 13		①	0	=	=	-	=				= +=		=	1 14	1 14	==	
		15 ①			_	_			5.6	5.6	! —	—	1	_	1	1			_	_	-	_				_ -		_	1	1	_	
	-																						-									

	が 法に	= 拠し	/に火災	愍知春の)配直を	示した	一覧表(対象:消	奶缶肔	11円規則	弗2	3采弗	4項に記	《当づる	5火火	恐 和 看	计【归	、十炉建	至】														
١								煙感	知 器	ļ													熱感	知 器								炎感知器	備考
1\							消	防法	施行	規則												消	方 法 施	包 行 刬	則							消防法施行規則	ues
		壁の 第 (((((((((((((個 23年大学 1 日本 1 日	から0.6mlk から0.6mlk に有効感 た道感知 本、階する 本は はのる。 未して として はいるが 場合さ はいるが 場合さ はいるが はいるが はいるが はいるが はいるが はいるが はいるが にして はいるが はいが はいるが はいが はいが はいが はいが はいが はいが はいが はい	取及び傾斜で表 取及が傾斜で表 150m 75m 150m 75m 150m 75m 150m 75m 150m 75m 150m 75m 150m	ける。 路を除く應ちる情報。 はり高さいは明本のでは、はのでは、はのでは、はのでは、はのでは、はのでは、はのでは、はのでは、	知区域ごとに さ1m以上と ま基準書 が連続する場	れた部分ごと こ、感知器の でする。 場合、取付面が 未満で区面さ	種別及び耳 高さに応じ	た範囲の隊は以下の小「)高さに応	感知区域 で隣接し	表で定めるを当該部分でいる場合	6床面積に を含めて は、当該額	:つき1個J 1つの感知 ポ分を含め	以上の個 ロ区域と のて1つ	壁1取4m¼複 本りが 区知 本長辺 マ個付売が複 本りが 区知 本長辺	3条第4項 4項 4	No. 4 m以に No. 2 My (1) My (有効感知する (るよう設ける 特種) 特種) およ、はり の 設と は は が の、 4 で が り、 4 で が り、 4 で が り、 4 で が り、 4 で が り、 4 で が り、 4 で が り、 4 で が り、 4 で よ り、 4 で よ り、 4 で よ り、 4 で よ り、 ま り、 ま り、 ま り、 ま り、 ま よ り、 ま よ り、 ま よ り 、 ま よ り よ り よ り よ り 、 ま り よ り よ り よ り よ り よ り よ り よ り と り と り と	5。 11m以上と3 基準書 続する場合。 加以上1m未 基準書 型感知器(特	する。 、隣接する懸満で区画さ	感知区域を なれた5㎡以	亥当部分 下の小師	*を含め1!	5㎡以内で	あれば1	つの感知は、当該音	器区域と	∈見なす めて1つ	源防法院行規則 源防法院行規則 と を設置する。 を設置する。 を設置が記述した。 を設めている。 を設めている。 を設めている。 を認める際面を対します。 である。なお、の間であり、 である。なお、の間であり、 でもある。なお、の間である。 でもある。なお、の間である。 でもある。 でもある。 でもある。 は、 でもある。 は、 でもある。 は、 でもある。 は、 でもある。 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	
		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	に知能のな	√:当Pセ:±±±	行規則につい	ハナ土油加口	ア威如思	た処帯する																									
· ·	災 区 画	/_rici	ことの数のな		17規則につい	いくも牛拠し	1	を設直する。		l	総面積	総面積		ı	1				京	t		はり等	の高さ	П		総面積	念面積 ::	- 1					
階	部屋番号	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	1	(0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <75㎡</td><td>(1+1) +10㎡</td><td>(1+n) (60㎡</td><td>消防法 設置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>感知 区域</td><td>(~4m)</td><td>(4~8m)</td><td>г т</td><td>(15~20m)</td><td>(0.4m>)</td><td>(0.4m<x< td=""><td></td><td>総面積 <35㎡</td><td>(1+1)</td><td>(1±n) /F</td><td>防法 置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡	(1+1) +10㎡	(1+n) (60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	г т	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x< td=""><td></td><td>総面積 <35㎡</td><td>(1+1)</td><td>(1±n) /F</td><td>防法 置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>		総面積 <35㎡	(1+1)	(1±n) /F	防法 置数	減数設置 適用	設置数	合 計	合計	
	APAE 88 7	16 ①	0	(4 · OIII)	— —	— (10 · 2011)	0.01177	<1m)	24	24	-	-	1	_	1	1	1	0	(4 · GIII)	(0 · 10iii)	— —	(U.4117)	<1m)	24	24	_	_	2	_	2	2	_	
	1	17 ①	0	=	=	=	_	=	17.6	17.6	=	Η=	1	=	1 1	1	1	0	_	=		_	=	17.6	17.6	=	=	1		1 2	1 2	_	
MB2F	R-4- 1	19 ①	ŏ	_	_	_	Ĕ	_	19.3	19.3	_	_	i	_	i	1	Ű	ő	-	_	_	Ĕ	_	19.3	19.3	_	<u> </u>	2	_	1	1	=	
	2	20 ①	0	=	=	=	-	=	17.6 19.3	17.6 19.3	+=	+=	1	-	1	1	1	0	=	=		_	=	17.6 19.3	17.6 19.3	=	=+	1		1	1	=	
	2	24 ①	ő	_	_	_	_	_	42.9	42.9	_	_	1	_	1	1	Ū	Ö	_	_	_	_	_	42.9	42.9		_	3	_	3	3	_	
		(1)	+ =	0	0	=	0	0	25 164	+	-	=	3		3	1	2	_	0	0		0	0 0	25 164		_	=+	6		6		2	
		3	_	_	0	_	0	0	107	1	_	_	4	_	4		3		-	0	_	0	0	107		_	-	- 1	_	_		7	
		4	=	0	0	=	0	0	143 284	1	=	=	3 7	=	7	-	(4) (5)		- 0	0		0	0	143 284		=		— 15	=	15		3	
		6	=	_	0		0	0	123	†			3	=	3	1	6	=	_	0		0	0	123				-		-		3	
		7	0	_	_	_	0	0	201	1,700	_	_	4	_	4	1	7	0	=	_	_	0	0	201	4700	-		5	_	5	48	-	
		1 8	=	=	0	=	0	0	75 12	1736	-	+=	4	=	4	46	9	=	=	0		0	0	75 12	1736	=		=+		Η=	48	4	煙感知器はR-5-1⑦と兼用
		10	_	0	_	_	0	0	74	1	_	_	2	_	2	1	10	_	0	_	_	0	0	74		_		4	_	4			
		(1)	+ =	0	0	=	0	0	50 288	-	H=	+=	8	=	8	1	(1)	=	0	0		0	0	50 288		-	=+	14		14		3	<u> </u>
		(13)	_	_	0	_	0	0	67	İ	_		2	_	2	j	(13)	_	_	0	_	0	0	67		_		_	_	-		3	
		(14)		0		=	0	0	29 94	1		-	1 2	=	1 2	4	(14)	_	0	_		0	0	29 94		-		1 3		1 3			
	-	3 ①	0	_	=	=	+=	+=-	22	22	+=		1		1	1	1	0	_	=		=	=	22	22	=	=+	1		1	1	==	
		5 ①	=	0	=	=	=		165	165	=	=	3		3	3	1	=	0	=	=	_	=	165	165	=		5	=	5	5	_	
		9 ①	0	0	=	_	=	-	7.3	7.3	+=	_	1	-	1 1	1	1	0	0	_		=		7.3	7.3	=		1		1	1 1	=	
		13 ①	Ě	_	0	_	_	_	38.8	38.8	_	_	1	_	1	1	Ű	Ě	_	0	_	_	_	38.8	38.8	_	-	=	_	_	_	2	
	- I	14 ①	-	0	=	=	 =	+=	24 60	24 60	=	+=	3	-	3	1 3	1	- 0	0	=		=	=	24 60	24 60	=	=+	3		3	3	=	
B1F	R-5-	16 ①	0		=	_	=		16	16	† –	_	1	_	1	1	1	Ö	=	=	_	=	_	16	16	_	- 1	1	_	1	1	=	
	Г.	1	_	0	-	_	0	0	394	407	_	_	12	_	12		1	_	0		_	0	0	394	407	-		19	_	19	00	-	大ばり10区画・中ばり9区画
	1	17 ②	+=	0	=	=	0	0	77 26	497	=		3	=	3	16	(3)	=	0	_		0	0	77 26	497	=		1		3	23	==	大ばり3区画
	1	18 ①	0		_	_	_	_	37	37	_	_	2	_	2	2	1	0	_	_	_	_	_	37	37	_	$=$ \Box	2	_	2	2	_	
1		19 ①	0	-	=	=	- 0	0	19.7 159.8	19.7 159.8	+=		1 4	=	1 4	1	1	0	- 0	_		_	0	19.7 159.8	19.7 159.8	=		1		1 4	1 4	_	
		20 (1)	+=	0	=	=	0	0	159.8 22.5	159.8 22.5		+=	1	=	1	1	(1)	=	0	=		0	0		159.8 22.5	-		3	=	3	3	=	
	2	22 ①	_	Ö	_	_	_	Ö	33.5	33.5	_	_	1	_	i	1	Ū	_	0	_	_		0	33.5	33.5	_	- 1	1	_	1	1	_	
	2	23 ①	0	0	=	=	=	+=	18 42	60	H=	+=	1	=	1 1	2	2	0	0	=		=	=	18 42	60		=+	1		1	1	- 2	
	2	27 ①	0	_	=	=	=	 -	38	38	=		1	=	1	1	1	0	_	_	=	_	=	38	38	-		1	_	1	1	_	
	Г	1	_	_	0	=	-	0	49	ļ — <u>—</u>	\vdash	=	1	=	1		1	_	_	0		_	0	49		=	=		_	_		4	
	2	28 3	+=	-	0	=		0	73 97	335	=		2	=	2	7	3	=	0	0		=	0	73 97	335	-		3		3	7	8	大ばり2区画
	L	4	_	0	Ť	_	_	Ö	116	1		_	2	_	2		4	_	0	Ť	_	_	Ö	116		_	-	4	_	4		_	
	2	29 ①	+=	0	- 0	=		- 0	132	132	+=	+=	4	-	2	4	1	=	0	_			_	132 77	132 77		_	4		4	4	_	大ばり2区画
		31 ①	+=	0	_	=	+=	_	156	156	+=		3	=	3		1		0	_		=	_	156	156	=		5		5	5		7(10) / E IIII
		32 ①	_	0	_	_	_	_	193	193	_	_	4	_	4		1		0	_	_	_	_	193		-		6	_	6	6	_	
		33 ①	+=	0	0	=		0	130 104	130 104	+=	_	2	=	2	2	1		0	0			0	130 104	130 104		_	4		4	4	7	大ばり2区画
-	-			-					107	107		-					w							107	.07								<u>,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>

消	防法に	準拠し	た火災	感知器0)配置を	示した-	一覧表(対象:消	防法施	行規則	」第2	3条第	4項に認	変当する	5火災原	逐知	器)【原	1. 子炉角	「屋」														
\								煙感	知 器	ļ													熱感	知 器								炎感知器	備考
1\							消	防 法	施行	規則												消	防法加	10 行規	則							消防法施行規則	3
		壁又 上の¶ ◇第2 感知	固数を、火災 23条第4項 1器は、廊下	nら0.6m以 に有効感失 七 ホ 、通路、階	以上突出した ロするよう設! 受及び傾斜器 ように設ける	ける。 路を除く感気											壁又 き1個 取付 4m 個 4m	以上の個数 面高さ 未満 以上~8m	から0.4ml 数を、火災に 未満	以上突出した 有効感知す 床面積 70㎡(35㎡(のないもの)	るよう設ける (特種) 特種)			とに、感知器の	種別及	なび取付!	面の高さに	応じてか	の表で定	さめる床面	積につ	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 *炎感知器に設 置数が記載されている同じ部屋番号	
\	\	取付 4m 4m *複	†面高さ 未満 以上~20n ₹数区画のは	n未満 はり高さに〇	床面材 150m 75㎡ のないものに	責 n は、はり高さ		する。									◆日2 はり ことが	k火災報知 等の深さが できる。	機工業会 0.4以上1	自動火災報知 m未満で火災	印設備工事 炎区域が連	基準書 続する場合	・、隣接する!	感知区域を該								に設置数が記載されている煙感知器 又は熱感知器が、 炎感知器と組合せて 設置する感知器	
		はり 見なす 取付	本火災報知 等の深さが けことができ け面高さ 以上~8m:	0.6m以上 る。	自動火災報失 1m未満でリ 床面積 60㎡	火災区域が	基準書 《連続する場	合、取付面	高さに応じ	た範囲の隙	講接する!	感知区域	を当該部分	を含めて	1つの感知	1区域と	と の感 ◆日 2 細長	回区域とする ト火災報知 い居室等の	ることができ 機工業会 の場合	る。 自動火災報知	11設備工事	基準書		*れた5㎡以7 る場合は、歩						部分を含む	めて1つ	である。なお、一部 について他の部と組 音号の感知器と組 合せる場合があ り、その場合の組 合せる感知器は備	
	\		国が隣接し 田区域とする		、はり等の済 る。	深さが0.6	m以上1mä	未満で区画さ	\$ <i>nt</i> =10㎡	ぱい下の小	区画が1	つ隣接し	ている場合	は、当該部	部分を含め	て1つ				1里寺にた血 行規則につい				949 DIG. 32	I J EE ME	i omic a	Z I III W.	LEXI76				考欄に記載した感 知器となる。	
	\	る。	1器は、廊下	及び通路に	■路、階段及 あっては歩行	行距離30r	mにつき1個		なを、階段及	なび傾斜路	にあって	は垂直路	巨離15m/こ	つき1個以	上の個数	を設け	+																
火车	災区 画	_	こ記載のない	ハ消防法施 高	行規則につい	ハても準拠し	1	を設置する。	小区画	総面積	総面積		消防法	減数設置			感知		高	ŧ		はり等	の高さ	小区画 総	面積		総面積	修法	減数設置	70. MR W.	A 81	0.01	
階	部屋番号	号区域	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	<75㎡	(1+1) +10m²	(1+n) <60m	設置数	適用	設置数		区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積(35m²		(1+n) <15m²	建置数	適用	設直奴	合 計	合計	
		35 ②	=	0	=	=	0	=	23.8 21	69.8	=	=	1	=	1	3	1 2	=	0	=	_	0	=	23.8 21	69.8	=	=	1	=	1	3	=	
	-	38 ①	_	0	_	=	-	=	25 30.6	30.6	=	+=	1		1	1	3	-	0	-			-	25 30.6	30.6	=	=	1		1	1	=	
		39 ①	Ö	_	_	_		_	45	45	<u> </u>	T -	i	_	i	1	1	Ö	_	_		_		45	45	-	-	1	_	1	1	_	
		40 ① 41 ①	0	-	_	=	=	0	19 32	19 32	=		2		2	2	1	0	- 0	=			0		19 32	=	_	2		2	2	==	
		43 ①	=	_	_	_	_	0	79	133	ŧΞ		3	=	3	4	1	=	_	_	=	_	0	79	133	=	=	6		6	12		
	-	45 2	_	0	_		0		54 6.9	6.9	 -	 -	1		1	-4	(1)		0	_		0		54	6.9	=	-+	6		6	12		中ばり9区画
	F	46 ①	0	_	=	=	+=		7.7	7.7	+=	+=	1		1	1	①	-	_	=			=		7.7	=	=+	1		1	1		
B1F		47 ①	_	_	0	_	_	_	6.9	6.9	_		1	_	1	1		_	_	0	_	_		6.9	6.9	_		-	_	_	_	1	
		48 ① 49 ①	-	=	0	=	=	=	36 33.9	36 33.9	⊢=	+=	1	_	1 1	1	1	=	=	00	-	=	=		36 33.9	=	=	=		=	=	2 2	
		50 ①	0	_	-	_	_	_	4.1	4.1	_		1	_	1	1	1	0	_	_	_	_	_		4.1	_	$=$ \dagger	1	_	1	1		
		51 ①	0		_	_	_	0	42	42	_	_	2	_	2	2	1	0	-	_	_	_	0		42	_	-	2		2	2		
		52	=	0	_	=	+=	=	29.1	52.6	$\vdash =$	+=	2	=	2	4	(1)		0				=	29.1	52.6	=	=+	2		2	4		
	R-5-	53 ①	_	ő	_	_	_	_	29.7	29.7	-		1	_	1	1	1	_	ő	_	_	_	_		9.7		-	1	_	1	1	_	
		54 ①	_	0	_	_			15	15		_	1	_	1	1	_ ~	_	0	_	_				15	_	_	1	_	1	1	_	
	F	56 ①	=	0	_	=	+=	=	25.4 32.7	25.4 32.7	+=	+=	1	=	1	1	①	=	0	=			=		25.4	=	= +	1		1	1		
		59 ①	_	ő	_	_		_	63.2	63.2	_		i	_	i	1	0	_	Ö	_	_	_	_	63.2	3.2	_	-	2	_	2	2	_	
階段	F	60 ①		-	=	=	+=	=	11.9 14.8	11.9	+=	+=	4	=	4	4	1	-	0	=		=	=	11.9 14.8	1.9	=	=	6		6	6		
		61 ②	_	0	_		 -		64.4	113.7	-	+=	1		1	3	2		0	_			_		13.7	= 1	=+	3		3	4	_	
	L	3	_	_	0	_	_	_	34.5		_		1	_	1		3	_	_	0	_	_	_	34.5		_		-	_			2	
	F	63 (1)	0	0	=	=	+=	0	31.3 38.7	31.3	+=	+=	2	=	2	1	1	0	0	-=-		=	0	31.3 38.7	31.3	=	=+	2		2	1	==	
_{D4E}		65 ②	0	-	=	_	_	_	5.4	51.3	_	_	_	_	_	3	2	0	_	_	_	_	_	5.4	1.3	-	-	_	_	—	3	==	煙感知器、熱感知器はR-5-65①と兼用
B1F	L	3	_	0	_	_	_	_	7.2		_	_	-1	_	1		3	_	0	_	_	_	_	7.2		-	-	1	_	1		_	
		66 ①	-	0	=	=	+=-	=	45 10	45 10	+=	+=	1	=	1 1	1	1	_	0	_	=		=		45 10	=	=+	2		1	2	==	
	⊦	1	0		=	=	0		19	10	+=	+=	1	=	1	<u> </u>	1	0	+=	=		-0		19	10	=	=+	1	=	1		 	
		69 2	_	0	_	_	0		41	81	_	_	1	_	1	3	2	_	0	_	_	0		41	81	-	-	-	-	<u> </u>	2	2	
\vdash		(1)	-	0	_	=	+=	=	21 3.6	<u> </u>	+=		1 1	=	1		(1)	-	0	_	=	_=	=	21 3.6	-+	=	=+	1		1 1		- =	
MB1F		3 ②	_	=	0	=	0	=	32.8	45.5	-	+=	1	=	1	3	(2)	_	-	0		0	=		15.5	=	=+	_		-	2	2	
1F		3	0	_	_	_	_	_	9.1		_	_	1	_	1		3	0	_	_	_	_	_	9.1		-	-	1	_	1		-	
	F	8 ①	0	-	_		_	0	12.6 46	12.6 46	⊢ =	+=	1		1	1	1	0					0		2.6 46	_	=	1		1	1		
	R-6-	10 ①	0	=	_	=	0	-	46 67	46 67	+=	+=	2	=	2	2	①	0	+=	_		0	=		46 67	=	= +	3		3	3	I =	
MB1F	·	1	_	_	0	_	i –	_	11		_		1	-	1		1	_	_	0	_	_	_	11		_	-	-	_	Ť		1	
WIDIF		2	0	=	_	_		_	130	1057	_	-	1	-	1	5	2	0	_)	-	-	_	130	85.7	-	-	2	_	2	,	-	
		11 ③	=	0	0	=	+ =	0	28 8	185.7	=	+=	1	=	1 1	5	(3) (4)	=	0	0		=	0	28 1 8	00./	=	=+	=		+=	2	1	熟感知器はR-6-11(5)の炎感知器と兼用
		5		Lĕ	0	_	_	_	8.7	<u> </u>	_	_	1	_	1		5	_	–	0	_	_	_	8.7	f	_	-	-	_	<u> </u>		11	THE PARTY OF THE P
			_	_															_				_										

1月	奶 法に	_ 準拠	した火き	災感知器(// 配直を	示した-	一覧表し	对象:消	奶缶肔	[打規則]	」 弗2	3采用	4項に認	《当づる	5火火	恐知者	6)【店	十分严重	臣】														
\								煙感	知 器	ļ													熱感	知 器								炎感知器	備考
- 11							消	防法	施行	規則												消防	i法施	行 規	則							消防法施行規則	иня °-гэ
			の 第28年 (面から0.6m 火災に有効 項下の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	以上突出した、 以上突出した。 段及び傾斜が あように設価積析 150m つのないものに 自動火災滅で 長して にはり等の羽 にはり等の羽 にはり等の羽 にはずる。 ここ。 ここ。 ここ。 ここ。 ここ。 ここ。 ここ。 こ	ける。 格を除く感知 およいははり高さ は、はり事では、 は、はり事ではなが は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	印区域ごとに さ1m以上と 基準書 連続する場 m以上1mst	こ、感知器のする。	種別及び耶	た範囲の隊はいての小の	高さに応	感知区域 で隣接し	表で定めるを当該部分でいる場合	床面積に を含めて は、当該額	:つき1個以 1つの感知 部分を含め	以上の値 11区域と	受 1 取 4 m j複 本りが 区 日 年 短 本 長辺 本 長辺	3条第4項 から は は は は は は は は は は は は は は は は は は	30.4m以に 30.4m以に 30.4m以に 30.4m以に 30.4m以に 30.4m以に 30.4m以に 30.4m以に 30.4m以に 30.4m以に 40.4muに 4	前効感知面が 床面が(35㎡() 35㎡() 35㎡() かたいものに 動力・表します。 はり等の深いはり等の深いで、 はり等の深いで、 はり等の深いで、 ないにものに、 はり等の深いで、 ないに、 、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 、 ないに、 、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 ないに、 、 ないに、 、 ないに、 、 、 ないに、 ないに、 、 、 、 、 ないに、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	らよう設ける 特種() 特種() は、はり高さ は、とのでは、 設と区域がの、4m 設と区域がの、4m 設とでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	in以上とす 基準書 続する場合、 n以上1m未 基準書 型感知器(特	-る。 隣接する ⁸⁸ 満で区画さ 殊)を設ける	8知区域を記れた5㎡以**	亥当部分 下の小[□	を含め15	i㎡以内であ 隣接してい	れば1つ	の感知器	器区域と!	療につ 見なす で1つ	消防準度・ 対抗・ 対抗・ 対抗・ 対抗・ 対抗・ 対抗・ 対抗・ 対抗	
		\ \	o		/= 40 Dil	1 20 1001																											ı
.1. 2	災区画	-	高CIC高C戦の		行規則につい	ハミも準拠し				I	T				1				高	4		はり等の	n=+						- 1				
		恩	5知 区域	_	ė I	ı	-	が高さ (0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <75㎡</td><td>総面積 (1+1) +10㎡</td><td>総面積 (1+n) <60㎡</td><td>消防法 設置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>感知区域</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>の品さ (0.4m<x< td=""><td></td><td>総面積 <35㎡</td><td>(1+1)</td><td>設面積 (1+n) (15m 設1</td><td></td><td>数設置</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 (1+1) +10㎡	総面積 (1+n) <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知区域						の品さ (0.4m <x< td=""><td></td><td>総面積 <35㎡</td><td>(1+1)</td><td>設面積 (1+n) (15m 設1</td><td></td><td>数設置</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>		総面積 <35㎡	(1+1)	設面積 (1+n) (15m 設1		数設置	設置数	合 計	合計	
階	部屋番	号	(~4n	n) (4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(1m)	14		+10m	(6UM					(1)	(~4m)	(4~8m)		(15~20m) —	(0.4m>)	<1m)			+5m	.15m		_			1	
			2 0	=	_	_	=	_	124		_	ΗĒ	1	_	1		2	0	=	<u> </u>	-	_	-	14 124		- 1	_		-	2	ŀ		
MB1F	R-6-	12 (3 -	-	0	=	=	0	23 5.4	185.1	=	+=	1	=	1	4	(3) (4)	=	- 0	0	=	=	0	23 5.4	185.1	= +	= :		= +	-	2	<u> </u>	煙感知器、炎感知器はR-6-12⑤と兼用
			5 -	Ö	_	_	_	_	18.7		_	_	1	_	1		5	_	Ö	_		_	_	18.7		-	_ -	-	-	_		1	Table 1 and
			2 -	0	-	=	0	0	42 38	+	$\vdash =$	+=	1	=	1		2	= +	0	<u> </u>		0	0	42 38	ŀ	=+	= + -		= +	2	ŀ	3	<u> </u>
			3 -	0	=	=	0	0	82 75	1			2	_	2		(4)	=	0	=	_	0	0	82 75			= -		_	3	- [= =	
			5 –	0	_	_	0	0	102	1	_	_	3	_	3		5	-	0	_	-	0	0	102		-	_		- 1	4	ŀ	==	
			6 — 7 O	0	=		0	0	389 41	+	-	+=	9	=	9 —		<u>6</u>	0	0	=	=	0	0	389 41		=	= -1	5	=+	15 1	ŀ		煙感知器はR-7-1⑥と兼用
		1 (8 -	0	_	_	0	0	22	1089.2	_	_	_	_	_	29	8	_	0	_	_	0	0	22 1	1089.2	_	_	_	-	1	37	_	煙感知器はR-7-1⑨と兼用
			9 O		0	=	0	0	38 8	†	$\vdash =$	+=	1	=	1		10	0	=	0		0	0	38 8	ŀ	=	= -		= +	1	ŀ	1	<u> </u>
			10 -	0	- 0	=	0	00	125 112	Į	=	=	3		3		(12)		0	0		0 0	0 0	125 112		_	= -		=	5	F		
			13 0	_	_	_	_	_	7.1	1	_	_	_	_	_		(13)	0	_	_	_	_	_	7.1		-	-		_	1	İ	_	煙感知器はR-7-1①と兼用
			10 O		=	=	=	=	8.1 22	+	-	+=	1	=	1		(15)	0	_	=			=	8.1 22	- 1	=+	= -		=	1	ŀ		熱感知器はR-7-1③と兼用
		3 (<u> </u>	0	=	=	=	=	25 29	25	1-	=	1	_	1	1	1	- 1	0	-	-	=	=	25 29	25		==	_	=	1	1	-	
1F		7 (0	_	_	_	0	35.4	29 35.4	=	_	1	-	1	1	1	=	Ö	_	=	_	0	35.4	29 35.4	=			-	2	2		i
"		8 (9 0		=		=	-	42.3 67.8	42.3 67.8	⊢=	+=	1	-	1	1	1	0	_	=	-	_	=		42.3 67.8	_	=		=	1	1		
		11 (1 0	_		_	_	_	72.5	72.5	1=		1	_	1	1	1	0	_	_	_	_	_	72.5	72.5	_	-		_	2	2	-	
	R-7-	12 (<u> </u>	0	0	_	0	0	175 95	175 95	=	_	4		4	2	1	_	0	- 0	=	0	0	95	175 95	_		-	=	_	8	5	大ばり4区画
	rt-1-	19 (① O	-		_	0	-	209 156	209	=	=	7	-	7	7	1	0	- 0	_	_	0	- 0	209 156	209	=	= -	_	=	7	7	<u> </u>	大ばり8区画
		LE	ž –	Ě	0	_	Ö	Ö	42	1	_	_	2	-	2		2	-	_	0	_	0	0	42		-	_	-	-	_		2	大ばり2区画
			3 O	0	=	=	0	0	157 15	393	-	=	6	=	6 1	22	(3) (4)	0	0	=	=	0	0	157 15	393	=	=		=	6 1	8		大ばり3区画
		24	5 0	_	=	=	o _	0	23 27	27	ΙΞ	1=	1	=	1		(5)	0	_	=		Ö	o	23	27	=	= -	1	=	1	,		
		26	1 0		_	_	-	0	36	38.7	_	_	2	_	2	3	1	0	_	_	_	_	0	36	38.7	-	_		-	2	3		大ばり2区画
		28	2 -	=	0	=	=	0	2.7	165	=	+	1 9		1 9	9	(I)	- 0	=	0			0	2./	165	=	_	0	=	1	10		天井裏に煙6個・熱7個設置
		29 (1 0	_	=	=		0	68.5	68.5 67.4	E	_	4	\equiv	4	4	1	0	_	=	=	=	Ö	68.5	68.5	=			= 1	4	4	-	天井裏に煙6個・熱7個設置
		21	<u> </u>	Ö	_	_	_	0	67.4 34.9	67.4	=	_	6	_	6	6	1	-	Ö	_	_	_	0	34.9	67.4 67.7	-			-	6	6	2	
M2F		33 (8/	0	=	_	=	0	32.8 19.9	19.9	=	=	2		2	2	2	-	0	_		_	0	32.8	19.9	_	==		=	2	2	===	
1F		37	1 0	_	_	_	_	_	56	71	_	_	1	_	1	2	1	Ö	-	_	_	_	_	56	71	_	-		-	2	3	=	
M2F		H	2 - 1 -	0	0	=	=	=	15 6.4	-	+=	+=-	1	=	1		1	=	0	0		_	=	15 6.4	-+	=	= -	-+	=	1		1	i
		38	2 -	0	- 0	_	=	=	3.8	49.3	=	=	-	-	_ 1	2	(3)	=	0	_	_	_	_	3.8	49.3	=	= :	-	=	=	_	1	煙感知器はR-7-38③と兼用
1F			<u>a</u> –	0	_	_	_	_	7.1		_	_	_	_	<u> </u>		4	_	0	_	_	_	_	7.1		_	_ -	-	-			1	煙感知器はR-7-38③と兼用
		40 (+=	0	_	=	0	87 214	87 214	+=		7	=	7	7	1	=	=	0		_	0	87 214	87 214	-	= + :	+	=	=	=	8	大ばり2区画 大ばり7区画
			~				•		-17		•				+		w															5	

消防法に	- 準拠し	た火災原	愍知器の	配置を	示した-	一覧表(对象:消	防压施	打規則	」第2	3条第	4頃に該	も当する	火災原	恐知器	引原	十炉建,	至】													
Λ							煙感	知 器	į.													熱感	知 器							炎感知器	備考
[\						消	防 法	施行	規則												消几	法法	10 行規	則						消防法施行規則	*** ***
	壁3 上の ◇第	23条第4項 又は取付面が 個数を、火災 23条第4項 知器は、廊下 、火災を有効	nら0.6m以 に有効感知 七 ホ 、通路、階段	するよう設(ける。 路を除く感知											壁又(き1個) 取付i 4m末 4mに	以上の個数を 面高さ	ら0.4m以 を、火災にす	有効感知す 床面積 70㎡(35㎡(るよう設ける 特種) 特種)	0.		とに、感知器	の種別及で	取付面の	高さに応じて	次の表で定	さめる床面	積につ	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 ※炎感知器に設 である。 ※数が記載さると いる同じ和屋番号	
	取f 4m 4m	付面高さ n未満 n以上~20n 複数区画のに	n未満	床面秒 150m 75㎡	責 ni i	*1m以上と	する。									◆日本はり等	火災報知機	東工業会 自	動火災報知	1設備工事』	基準書		感知区域を記	当部分を	含め15㎡	以内であれば	(1つの感知	1器区域と	:見なす	に設置数が記載されている煙感知器 又は熱感知器が、 炎感知器と組合せ て設置する感知器	
	はい 見な 取付	本火災報知り等の深さが すことができ 付面高さ n以上~8m	0.6m以上1 る。	動火災報気 1m未満で対 床面積 60㎡	火災区域が [基準書 連続する場	合、取付面	高さに応じ	た範囲の関	#接する!	感知区域	を当該部分	を含めて1	つの感知	1区域と	の感知 ◆日本	画が隣接して I区域とする。 火災報知機 い居室等の	ことができる	3.			満で区画さ	sれた5㎡以 [*]	下の小区値	が1つ隣	接している場合	合は、当該部	部分を含む		である。なお、一部 について他の部屋 番号の感知器と組 合せる場合があ り、その場合の組	
\	小国の感	区画が隣接し 知区域とする	,ている場合、 5ことができる	、はり等の済	架さが0. 6r	m以上1mā	未満で区画さ	sht=10m	以下の小	区画が1	つ隣接し	ている場合	は、当該部	分を含め	て1つ		が3m未満の 記載のない						る場合は、步	行距離13	mにつき1	個以上設ける	5.			合せる感知器は備 考欄に記載した感 知器となる。	
\	◇第 感 る。	23条第4項 知器は、廊下	七 へ (通 及び通路に	i路、階段及 あっては歩行	なび傾斜路) 行距離30n	mにつき1値	以上の個数	対を、階段及	ひ傾斜路	にあって	は垂直距	離15mに	つき1個以	上の個数	を設け																
	上記	に記載のない	い消防法施行	示規則につい	いても準拠し	して感知器を	を設置する。	1								<u> </u>				1						1					
火 災 区 画階 部屋番	感知 区域	t (~4m)	高 (4~8m)	き (8∼15m)	(15~20m)	-	の高さ (0.6m <x <1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 (1+1) +10㎡	総面積 (1+n) <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	高 (4~8m)	さ (8∼15m)	(15~20m)	はり等 (0.4m>)	の高さ (0.4m <x <1m)</x 		5 曲 恨 (面積 総面 +1) (1+ 5㎡ <15) /FIN7/X	減数設置 適用	設置数	合 計	合計	
1 1 1	42 ①	0	_	-	_	_	_	45	45	_	_	1	_	1	1	1	0	_	_	_	_	_	45	45	_ _	2	_	2	2	_	
<u> </u>	43 ①	+=	0	0	=	-	0	80 32	80	+=	+=	2	=	1	2	1	=	0	0	=	- 0	0	80 32	-	=	1	-=-	1	_	2	大ばり2区画
	44 ②	_	_	0	=	0	0	58 200	90	=		3	=	3 12	4	2	=		0	=	0	0	58 200		=		=	H	1	2 8	大ばり9区画
1 1 1	46 ①	+=	=	0	=	+=	0	200	200	+=	+=	12		12	12 12	1	=	=	0	=		0			=		+=	⊢=	=	8	大ばり6区画
[47 ①	0	=	_	=	_	0	60 19	60	_	=	1	_	1	1	1	0	-	_	_	_	0	60 19	00	_ -		_	2	2	_ 1	大ばり2区画 煙感知器はR-7-49②と兼用
1F	49 ②	=	0	_	=	=	0	19	61	=	=	1	=	1	2	2	=	0		=		0	19		= =	+=	=	 =	_	1	注版知器はR-7-49之と兼用
	50 ①	_	_	0	=	=	0	23 9	9	=		1	=	1		3	_ 0	=	0	_	_	0	23				=	_ 1		1	
	50 ①	0	=	=	=	=	=	19	34	+=	+=	1	=	1	1	1	0	=	=	=			10		=		=	1	1	=	
	51 ②		0	_	_	_	_	15		_	_	1	-	1	2	2	_	0	_	_	_	_	15	_	- -			1	2	-	- Hillory
	53 ①	-	=	<u> </u>		-	=	95 7	95 7	+=	+=	1	=	1	1	1	0	=	0	=	0		95 7		=			1	1	5	大ばり2区画
1 1 1	54 ①	ŏ	_	_	_	-	_	16.1	16.1	-	<u> </u>	1	_	i	1	Ū	Ö	_	_	-	_	_		16.1	- -	1	_	i	1	_	
M2F	55	_		0	=			24 41.5	65.5	-	-	1 —		1	- 1	1	_		0	=			24 41.5				=	-	1	2	歴成知器/はR−7−55(小と兼用
IMEI	56 ①	Ĭ	0	_	_	_	_	13	13	<u> </u>	_	-	_	-	_	Õ		0	_	_	_	_	13		_ _	<u> </u>	_	<u> </u>	_	_	煙感知器、熱感知器はR-7-55と兼用
	57 ① 58 ①		0	_	_	-=-	-	13 66.4	13 66.4	+=	+=			- 2		1	-=-	0	_	=		0	13 66.4			+=	=	+=	-	_	煙感知器、熱感知器はR-7-55と兼用
	59 ①	0	=	_	=	+=-	_	8	8	+=		1		1	1	1	0	=		=			8		= +=	1		1	1	_	
	60 ①	0	_	_	_	-	_	27.8	27.8	_	_	1		1	1	1	0	_		_		_		27.0			_	1	1	_	
1F R-7-	61 (1)	0	- 0	_	_	=	=	22 15.8	22 15.8	+=	=	1 2	=	2	2	1	0	-	=	=					= +=	1 2	=	2	2	=	
"	63 ①	_	Ō	_	_	_	_	8.6	8.6	<u> </u>	_	Ĩ.	_	1	1	Ũ	_	Ö	_	_		_	8.6	8.6	- -	1	_	1	1	_	
	65 ①	0		_	=	-=-	=	16.2 36	16.2 36	-	+=	1		1	1	1	0	=		=			16.2 36			1 1	=	1	1		
1 1 1	67 ①	0	=	=	=	=	=	16	16	+=		1	=	1	1	1	0	=	=	=	=	=			= =		=	1	1	=	<u> </u>
	68	_	0	_	_	_	_	64.3	162.4	E	-	1	-	1	3	1	_	0	_	-	_	_	64.3		- -		_	2	5	_	
階段	69 ①	+=	0	=	=	+=-		98.1 12.1	12.1	+=		2		2	2	2	=	0		=			98.1		_ _	·	=	3	3		
	73 ①	0	_	-	_	_	_	24.2	24.2	_	_	- Î	_	1	1	Ū	0	-	_	_	_	_	24.2	24.2	- -	1	_	1	1	_	
[74 ①		0	=	=	=	-	35.6 19	35.6 19	+=	=	1		1	1	1	=	0	=	=		-		00.0			=	2	2	=	
	70 ①	+=	0	=	=	+=	0	19		T -	+=	1		1	3	1	=	0	=	=		0	19		=	1	+=	1		=	
	76 2		Ö	-	_		Ö	42	61	_	-	2	_	2		2	-	Ö	_	_	_	Ö	42		- -			2	3	_	大ばり3区画
	77 ① 78 ①	0	- 0	_	=	=	=	19.5 13.3	19.5 13.3	+=	+=	1 2	=	1 2	1 2	① ①	0	-	=	=	-	-=-			= +=	1 2	=	1 2	1 2	=	
1F	79 ①	0	_	_	_	_	_	21	33	_	_	1	_	1	2	ð	0	_	_	-	_	_	21	33	- -	- 1	_	1	2	_	
	. 2		0	_	-	=	=	12 5.2	- 00	+=	=	1		1		2	=	0		_			12			1		1		_	
	2	0	+=+	=	_	+=	├ = -	21	†	=	=	1		1		2	0	=		<u> </u>			5.2 21			1	+=	1			
	80 ③	_	_	-	0	_	_	34	87	_	-	1	_	1	5	3	-	_	_	0	_	_	34		- -		_		2	2	
	<u>4</u>	+=	0	<u> </u>	=	=	=	11.5 15.3	+	-	+=	1	=	1		<u>4</u>	=	0	_	=			11.5		= +=		=	1			
1 1 1	9	+	-	_	-	_			+		+				_	~	$\overline{}$		_								+	+	_		
M2F	82 ①	+=	0	0	=	0	0	43 57	100	=	+=	3		2	5	2		0	0	=	0	0	43 57		= +=	3		3	3	1	

			111111111111111111111111111111111111111	松和布	の配画を	小した	一見衣(対象:消	的法施	11丁規則	」	3余男	出現に応	×== 9 €	火火	하시시	☆/【//汀	(丁炉))	座』														
\								煙感	知 器	2													熱感	知 器							炎感知器	備	者
							消	防 法	施行	規則												消	防 法 加	医行步	蜆 則						消防法施行規則	ura .	
		壁又 上の¶ ◇第2 感知	個数を、火 23条第41 日器は、廊	iから0.6m :災に有効感 頃 七 ホ 下、通路、降	ルレ上突出した 知するよう設 皆段及び傾斜	ける。 路を除く感											壁又 き1個 取付 4m ²	以上~8m未	ら0. 4m以 を、火災に 満	有効感知する 床面積 70㎡(35㎡(るよう設ける 特種) 特種)			だ、感知器	景の種別	及び取付面	の高さに応し	て次の表で	定める床	面積につ	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 * 炎感知器に設 置数が記載されて		
\	\	取付 4m 4m	寸面高さ n未満 n以上~20	Dm未満	るように設ける 床面和 150r 75m ○のないもの	積 mi i	さ1m以上と	:する。									◆日本 はり ³	数区画のは 火災報知機 等の深さが0 できる。	建工業会 自	動火災報失	1設備工事	基準書		感知区域を	該当部分	トを含め15	㎡以内であれ	ぃぱ1つの感	知器区域	と見なす	いる同じ部屋番号 に設置数が記載さ れている煙感知器 又は熱感知器が、 炎感知器と組合せ て設置する感知器		
		はり 見なす 取付	本火災報気 J等の深さが すことがで 対面高さ n以上~8n	が0.6m以 きる。	自動火災報: 上1m未満で 床面利 60㎡	火災区域か 責	基準書 《連続する場	易合、取付面	高さに応じ	た範囲の隙	#接する感	8.知区域?	· 当該部分	を含めて1	つの感知	区域と	の感知 ◆日本 細長	1区域とする。 火災報知機 い居室等の	ことができる 建工業会 自 場合	る。 目動火災報失	設備工事	基準書							核部分を含	めて1つ	である。なお、一部 について他の部屋 番号の感知器と組 合せる場合があ り、その場合の組		
	\			もしている場 することがで	合、はり等の済	深さが0.6	m以上1mi	未満で区画さ	きれた10mi	「以下の小	区画が1つ	つ隣接して	こいる場合	は、当該部	分を含め	て1つ		が3m未満 <i>0</i> 記載のない						る場合は、	歩行距離	13mにつ	き1個以上設	ける。			合せる感知器は備 考欄に記載した感 知器となる。		
	`	◇第2 感知 る。	23条第4I 日器は、廊	頃 七 へ 下及び通路	(通路、階段及 にあっては歩	及び傾斜路 :行距離30:) mにつき1個	固以上の個数	枚を、階段及	及び傾斜路	にあってI	ま垂直距	離15mに	つき1個以	上の個数	を設け																	
4- 9	(区画	. 1	1		他行規則につ! さ	いても準拠	1	を設置する。	I		60 T 12	60.7E.1#		I					高	+		けり第	の高さ			60.77 E		1	1				
階	部屋番	- 悠知	(~4m)	1	1	(15~20m)	+	(0.6m <x <1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 (1+1) +10㎡	総面積 (1+n) <60㎡	消防法 設置数	減数設置適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	小区画 面積	総面積 <35㎡	(1+1)	i面積 1+n) 15㎡ 設置		置 設置数	合計	合計		
	Į.	5 ①	0	=	=	=	0	0	84.5 21.3		=	=	6	=	6	6	1	0	=	_	=	0	0	84.5	84.5	=	- 6 - 2	=	6	6	==		
	ŀ	6 (1) 9 (1)	0	+=	+=	+=	0	0	21.3 76	21.3 76	+=	=	2 4	-	2	2	1	0				0	0	21.3 76	21.3 76	=+	- 2 - 4		4		+ =		
		10 ①	0	_	_		0	0	164.4			_	4	_	4	4	1	0	_	_		0	Ö	164.4			- 4		4			大ばり8区画	
	ŀ	11 ①	-	- 0		-	0	0	143	143	+=	=	8	-	8	8	1	-	0	=	=		0	143	143 31		- 8 - 1	+=	8	8	=	大は98区画	
		13 ①	Ö	_	_	_	_	_	18.7		_		1	_	-1	1	1	Ö	_	_	_	_	_	18.7	18.7		- 1		1	1	_		
		14 ①	<u> </u>	0	_		_	_	22 66	22 66	+-		3		3	3	1	_	0	_			_	22 66	22 66		<u>— з</u>		3	3	_	大ばり2区画	
M2F	R-8-	16 ①	0	+=	-	=	+=	_	5.8	5.8	+=	=	1	=	1	1	1	0					_	5.8	5.8	=+	- 2 - 1	+=	1	1	==		
	[17 ①	_	0	_	_	_	_	19.2	19.2	1 —		_	_	_	_	1	_	0	_		_	_	19.2	19.2					_	2	煙感知器はR-9-25①と	★ 用
		19 ①	0	<u> </u>		-	+=	 -	66 34	66 34	+=	=	1		1	1	1	0	0				_	66 34	66 34		- 1 - 2	+=	1 2		=		
	l	21 ①	+=	ő	-	=	 	=	5.1	5.1	T =	=	1	=	1	1	1	=	Ö	=	=	=	=	5.1	5.1	= +	- <u>2</u>	+=	1	1			
		23 ①	_	0	_			0	7.4	7.4	Ι-	_	2		2	2	1	_	0		_		0	7.4	7.4	_	– 2		2	2	_		
	ŀ	24 ①	0 0	+=	+=	+=-	_	0	64 266	64 266	+=	-	2		2	2	1	0 0	=	=	=	_	0	64 266	64 266		- 2 - 5	+=	2	5	=		
		26 ①	Ö	_	_	_	Ĕ	0	63.6	63.6	_	-	2	_	2	2	1	Ö	_	_			0	63.6			- 2		2	2	_		
		1	_	_	0		_	0	295 391	1	_	-	8 14		8 14		1	_	-	00	_	_	0	295 391		-	- -				10	大ばり4区画	
		1 3	+=	-	_	=	+ =	0	33	734	+=-	=	1	=	1	24	3	=	0	_		=	0	33	734	=+	= 1	+=	1	2	- 17		
	l.	4		_	_	_	_	0	15		_	_	- 1	_	1		4	0	_	_		-	0	15			- 1	_	- 1		_		
		5 ① 8 ①	+=		0		-	-	19 38.8	19 38.8	+=		2	=	2	2	1	_	=	0			-	19 38.8	19 38.8	=	= + =	-		-	1 2	大ばり2区画	
	l	13 ①	_	_	ő	_	_	ő	50	50	_	_	4	_	4	4	1	_	_	ő	_	_	ő	50	50	- 1				-	2	大ばり4区画	
2F		14 ①	0	_	_		_	_	15 15	15 15	+=		1	=	1	1	1	0	-	_			_	15 15	15 15		- 1		1	1	_		
	ŀ	15 ①	_	+=	0	+=	0	+=	17		+ =		1	ΗΞ-	1		①	_		-		0	=	17			- 1		1	'	1		
	L	16 2	_	0	Ě	_	Ŏ	_	73	90	_	<u> </u>	3	_	3	4	2	_	0	Ě	_	Ö	_	73	90	-	- 4		4	4	_		
	[19 ②	=	0	- 0		0	0	17 622	694	=	=	14	=	14	16	1	_	0	- 0		00	0	17 622	694	=	_ 1 	=	1	4	 13	煙感知器はR-9-19②と 大ばり7区画	: 兼用
		3	+ =	0	_	=	0	0	55	094	=	=	2	=	2	10	3	_	0	_		0	0	55	054			+=	3	4	-	大ばり2区画・中ばり31	区画
	R-9-	20 ①	_	Ö	_	_	_	Ö	33	33	_	_	2	_	2	2	1	_	Ö	_	_	-	0	33	33		— 2	_	2	2	_	大ばり2区画	
	,	1	- 0		0		0	0	557 107	+		=	28	=	28		1	- 0	-	0		00	0	557 107	1	_				-	17	大ばり12区画 大ばり4区画 煙感知	婴/+p_q_22(小レギロ
M2F		(3)	0			+=-	0	0	331	†	$\vdash \equiv$	+=	3	⊢ =	3		3	0				0	0	331		=+	— 3 — 12		12		= =	大ばり12区画 建設加	181611-3-22 () (二水川
		4		0	_	_	Ö	Ö	40	1165.6	_	-	1	_	1	36	4	-	0	_	_	Ö	O	40	1165.6	-	— 2	_	2	25	_		
2F		5	+=	0	=		0	0	21.6	1100.0	-		2	=	2	- 00	5	_	0	=		0	0	21.6	. 100.0		<u> </u>	+=	2	- 20	_		
140-		(7)	+=	0	+=	=	0	0	58.3 35.7	†	=	=		=	-		(7)	=	0	=	=	0	0	58.3 35.7		_	- 2 - 3		3		=	煙感知器はR-9-22①と	☆ 用
M2F	Į	8	0	Ĭ	_	_	Ö	Ö	15		匸	<u> </u>	1	_	1		8	0			_	Ö	Ö	15		_	- ī	_	1		_		
	ļ	23 ①	=	0		-	+=	=	12.3 7.8	12.3	=	=	1	=	1	1	1	=	0		_		_	12.3 7.8	12.3	=	- 1 - 1	=	1	1	=		
	ŀ	- (1)	+=	0	-	-	+ =	+=	7.8 25	7.0	+=	+=	1	=	1		1	=	0		=		=	7.8 25	7.8		- 1 - 1	+=	1	+			
2F		25 ②	0	_	_	_	_	_	5	30	_	_	1	_	1	2	2	0	_	_	_	_	_	5	30		- i	<u> </u>	1	2	_		
21			_	0	_	_	_	_	20.8		_	_	1	_	1		1	_	0	_	_	_	_	20.8		_	- 1	_	1		_		
21	ſ	26 (1)	0	- 0	+				2.8	23.6	-	! —	-	_	-		(E)	0						2.8	23.6					1		煙感知器、熱感知器は	D 0 00/1 1 44 DD

/角	防法に	こ準拠	・したり	と 災感	知器0)配置を	を示した	一覧表(対象:消	的法施	行規則	」第2	3条第	4項に認	&当する	5火火/	憨知:	器)【店	十分炉赁	「屋」														
Λ									煙感	知 器	ļ													熱感	知 器								炎感知器	備考
\								消	防法	施行	規則												消	防 法 旅	拖 行 規	則							消防法施行規則	umi -r⊃
		- 型 - 型 - 型 - 型 - 型 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 2 - 1 - 2 - 1 - 2 - 1 - 2 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3	壁の 第感を収すしません 日はない い感 第三との 第一と 日は 日は 日は 日は 日は 日は 日は 日は 日は 日は 日は 日は 日は	・ 第、をさ ~画 炎深がさ~ 隣と 第まを ~画 報さで 8m 接す 項がき 8m 接す 項の は 機のる 未 ここ で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	50.6 m lk 50.6 m lk 50.7	ロす 及よう を	料路を除く感 ける。 面積 Omi m のは、はり高 取知設備工場が で火災区域が	まって区画さ 知区域ごと さ1m以上と き基準書 が連続する均 6m以上1m:	れた部分ご。 に、感知器の でする。 場合、取付面 未満で区面。	とに、感知製品種別及び取高さに応じ	器の種別及 取付け面の た範囲の 降	高さに応 隣接する原 区画が1	感知区域 で開接し	表で定めるを当該部分でいる場合	6床面積に を含めて は、当該額	:つき1個J 1つの感知 ポ分を含め	以上の・	を 整1取4mi複 はと 小感 ● 細短 記 を 1 を 1 の ● 細短 記 に 1 を 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に	以面清人と () 以面 () 以面 () 以面 () 以面 () 以面 () 以面 () 以数 () 以来のき () 以深る。 接ば () 報ば () 以署本 () 以署本 () 以第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	n i O . 4 m i v i o o o o o o o o o o o o o o o o o	有効感知する (るよう設ける 特種) 特種) およ、はりり こと の 設区 は が の、 4r の お で が り、 も れ の で り、 も で が り、 の で り、 の り、 の り、 の り、 の り、 の り、 の り、	って区画され う。 :1m以上と 基準書 続する場合 n以上1mオ 基準書	れた部分ごと する。 、隣接する影 未満で区画さ	とに、感知器 感知区域を記 された5㎡以	の種別 変当部分 下の小	*を含め1!	5㎡以内で	あれば1	つの感知	器区域と	見なす	河防连接性 (東京) (東re) (東	
		18.																																
ıļ,	災区區	_	およりこまる重	或のない:		行規則につ	ついても準拠	1	を設置する。		I	総面積	総面積			1				高	ż .		はり笙	の高さ			総面積 :	総面積 ::	T					
階	部屋都	恩	域 (^	~4m)	(4~8m)	(8∼15m	n) (15~20m	+	(0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <75㎡</td><td>(1+1) +10m²</td><td>(1+n)</td><td>消防法 設置数</td><td>減数設置適用</td><td>設置数</td><td>合 8</td><td> 感知</td><td>(~4m)</td><td>(4~8m)</td><td>(8~15m)</td><td>(15~20m)</td><td>(0.4m>)</td><td>(0.4m<x< td=""><td></td><td>総面積 <35㎡</td><td>(1+1)</td><td>(1±n) /F</td><td>防法置数</td><td>域数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡	(1+1) +10m²	(1+n)	消防法 設置数	減数設置適用	設置数	合 8	感知	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x< td=""><td></td><td>総面積 <35㎡</td><td>(1+1)</td><td>(1±n) /F</td><td>防法置数</td><td>域数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>		総面積 <35㎡	(1+1)	(1±n) /F	防法置数	域数設置 適用	設置数	合 計	合計	
			1)	-	_	0	_	0	0	139		1-	-	3	_	3		1	_	_	0	_	0	0	139		-	-	-	_	_		4	大ばり3区画
		28 3	9	0	<u> </u>	=		0	0	33 9.2	306.8	=		1	=	1	8	3	0	0	_		<u> </u>	<u> </u>		306.8	=		1	_	1	9	=	
		(2		- 0	0	=		-	=	16.8		=	-	1 2		1 2		(4) (5)	- c	0	_			_	16.8			=	1		1			
2F		29 (1	Ď	-	0	_	_	0	0	149	149	_	Ι-	7	_	7	7	Ű	-	0	_	_	_	_	149	149	_	-	7	_	7	7	_	大ばり7区画
-		30 (1		=	0	=	+=	0	0	28 28	28 28	+=		2	-	1	1	1	=	0	=	-	0	0	28 28	28	=	=+	1	=	2	2	==	大ばり2区画
		34	U.	_	0	-	_	0	0	183 97	280	_	_	9	_	9	9	1	- 0	0	-	_	0 0	0	183 97	280	-	-	15	_	15	15	_	大ばり9区画 煙感知器、熱感知器はR-9-34①と兼用
		35 (1		_	0	=	+=	_	_	6.4	6.4	+=	+=	1	=	1	1	1	_	0				_	6.4	6.4	=	=	1		1	1	=	煌悠知器、熟悠知器はR-9-34①2兼用
M2F	-	36	1)	_	_	0			0	24.9	64.9	\vdash		1		1	1	1	=	_	0			0	24.9	64.9			-		۰ ا	2	1	煙感知器はR-9-36①と兼用
IVIZI	1	37 (1	D D	_	Ö	=	_	_	ő	15	15	_	_	_	_	ΙΞ	=	1	_	Ö	-	-	_	Ö	15	15	_	-	_	_		_	_	煙感知器、熱感知器はR-9-36と兼用
		38 (1	1)	_	<u> </u>	0	-	+=	0	19 50	19 50	+=	+=	2	=	2		1	=	0	0			0	19 50	19 50	=		=+	_	_	=	2	煙感知器、熱感知器はR-9-36と兼用 大ばり2区画
	R-9-	40	1)	-	0	_	_	_	0	20 14	34	_	=		=	=	_	1	_	0	- 0		_	0	20	34	=	=	1	_	1	2	5	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置 煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
	K-9-	44	1)	=	0	-	+=	0	Ť	25	38	╘	T -	 =	_	† -		1	=	0	_	_	0	_	25	38	_	- 1	2	_	2	3	4	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
		77 (2	2)	= +	_	0		0	=	13 22		=	+=	=		+=		2		0	0		0	_	13 22		=	=	1	_	1	_	2 5	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置 煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
		45	2	-	_	0	_	_	_	21	43	_	_	_	_	<u> </u>	_	2	_	_	0	_	-	_	21	43	-	-	1	_	1	2	3	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
2F		47 (1	D D	_	0	=		0	- 0	70 160	70	+=	=	9	=	9	1	1		0	_		00	0	70 160	70	-		9	_	3 9	3	=	大ばり10区画
21-		55 (2		0	_	=		0	0	79.4 35.6	275	=	=	4	=	4	13	2	0	=	_	_	0	0	79.4 35.6	275	=		4	_	4	15	_	中ばり3区画 煙感知器はR-9-55①と兼用
		59 (1		_	0	_	_	0	_	62	62	_	<u> </u>	1	_	1	1		_	0	_	_	Ö	_	62	62	_	-	3	_	3	3	==	
		61	1)	0	<u> </u>	=	-	-	=	9.3 23	32.3	=	+=	1	=	1	1	(2)	- 0	0	=		=	_	9.3	32.3	=		1	=	1	1	==	煙感知器、熱感知器はR-9-35①と兼用
		62		_	0	-	=	_	_	9.3	32.3	E	=	-	=	-	1	1	_	0	_	=	=	_	9.3	32.3	= 1		_	=	_	1		煙感知器、熱感知器はR-9-35①と兼用
		63 (1	6/	<u> </u>	=	0	_	 -	0	23 50	50	+=		1	_	1	1	(2)	-	=	0	_	_	0	23 50	50	_	=	= 1	_			2	
		64 (2	<i>5</i>	- 0	0	=	=	0	0	165 41	293	\vdash		9	=	9	9	2	- 0	0	_		0	0	165 41	293	=		13		13	13	=	大ばり9画 煙感知器、熱感知器はR-9-64①と兼用
		04 (2	3	Ö	_	_	_	Ö	Ö	87	200	_	_	_	_	—	Ľ	3	0	-	_	_	Ö	Ö	87	200	_	-	_	_	_		_	煙感知器、熱感知器はR-9-64①と兼用
		2 2		=	<u> </u>	0	=	0	0	151.5 33.6	185.1	=		7	=	7	8	1 2	=	0	0		0	0	151.5 33.6	185.1	=		7		7	7	==	熱感知器はR-10-2①と兼用
M3F	R-10-	3 (1		_	0	Ě	=	Ě	0	109	109	ΙΞ		3		3	3	1	_	0	Ě		Ě	0	109 14.8	109	=		4		4	4	_	
		9 (1	Ď	_	=	0	+=	+=	_	37	37		+=	1	=	1	1	9		=	0			_	37	37	=		2	=	2	2	=	
		1 (D	=	_	=	0	=	=	1952 84.5	1952 84.5	=	=	36 2	=	36 2	36 2	1	=	- 0	=	0	=	_	1952 84.5	1952 84.5	=		3	_			31	
		3	Ď	0	_	-	_	_	_	49.2	69.2	=	_	2	_	2	3	1	0	_	_	_	_	_	49.2	69.2	_	_	2	_	2	3	-	
3F	R-11-	4 (1	<u>6</u>)	0	0	=	+=	+=	+=	20 17.9	17.9	1=	=	1		1	1	2	0	0	=	=	_	_	17.9	17.9	=		1	_	1	1	=	
		6 (1		0	_	Ξ		=	\equiv	13.2 26.2	13.2 26.2	Ξ	=	1		1	1	1	0	_		=	=	_	13.2 26.2	13.2	=	= -	1	=	1	1		
		1 (Ď	-	Ö	=	_	_		71.1	71.1	_	<u> </u>	i	_	i	1	Ű	_	0	=	_		_	71.1	71.1	-	-	3	_	3	3	=	
M4F	R-12-	3 (1		0	0	=	=	=	=	15.3 19.6	15.3 19.6	╁═	+=	1	=	1	1	1	0	0	_		=	=		15.3 19.6	=		1	=	1	1 1	=	
		4 (1	1)	0	_	_	_	_	_	17.4	17.4	<u> </u>	_	1	_	1	- 1	1	Ō	_	_		_	_	17.4	17.4	- 1	-	1		1	1	-	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【原子炉建屋】

								煙感	知 器														熱感	知 器								炎感知器	備	者
11							当	防法	炼 行	#B Bil												in R	方法方	车 行	‡B Bil							消防法施行規則	VHI.	45
		壁	23条第4項 又は取付面か 個数を、火災	60.6m以							び取付け配	面の高さ	こ応じて恩	聚知器床面	積につき	1個以	壁又	以上の個数	າຣິ0. 4mb		るよう設ける	って区画され				及び取付面	の高さに	応じて次の表	で定め	る床面和	漬につ /	消防法施行規則に準拠して感知器を設置する。		
\	\	感 数を 取 4 n 4 n	23条第4項 知器は、廊下 、火災を有効 付面高満 n以上~20m 複数区画のは	、通路、階段に感知する。	kうに設ける 床面積 150㎡ 75㎡	o I			種別及び即	奴付け面の語	高さに応じ	て次の表	で定める	床面積につ	0き1個以	上の個	4m未 4m以 *複数	表満 人上〜8m ² 数区画のは ・火災報知 等の深さが	り高さに〇 機工業会 自	70㎡(35㎡(のないもの! 自動火災報失	(特種) (特種) は、はり高さ 印設備工事者	基準書		感知区域を	該当部分	*を含め15	㎡以内で	ごあれば1つの	感知器	区域と見	見なす	* 炎感知器に設 置数が記載されている同じ部屋番号に設置数が記載されている置数が記載されている煙感知れている無疑知が、 炎感知器と組合せ		
		◆日 は 見な 取 4m	本火災報知は り等の深さが すことができ 付面高さ n以上~8mラ 区画が隣接し 知区域とする	機工業会 自 D. 6m以上 る。 で 高 でいる場合、	動火災報知 I m未満で火 床面積 60㎡ はり等の深	ロ設備工事』 火災区域が	基準書 連続する場	合、取付面									小区i の感知 ◆日本 細短辺が	画が隣接し 区域とする 火災報知 い居室等の が3m未満	ることができる 機工業会 自 り場合 の細長い居	る。 自動火災報失 音室等に定温	深さが0.4m 知設備工事者 式スポット型 いても準拠し	基準書 型感知器(特	特殊)を設け					いる場合は、計	当該部分	うを含め	で1つ T	受ける。 である。なれる。 である。なれる。 である。ないの場合がある。 にその場合がの場合の場合がある。 り、その場別器は もせるの場合がの組織 きせるの場合が、 がある。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 はいる。 をはいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		
		感がる。 上記	23条第4項知器は、廊下	及び通路に	あっては歩行	行距離30m	て感知器を	設置する。	を、階段及	び傾斜路に	あっては	垂直距離	∄15m/51	つき1個以.	上の個数	を設け													ı					
火	災区画	- 終知 マ ti	I	高	ż .		はり等	の高さ (0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <75㎡</td><td></td><td>(1+n)</td><td>消防法 設置数</td><td>減数設置適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>感知区域</td><td></td><td>高</td><td>ż .</td><td></td><td>はり等</td><td>の高さ (0.4m<x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <35㎡</td><td>総面積 総 (1+1) (</td><td> +n) 4</td><td>肖防法 減数 设置数 適</td><td></td><td>置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡		(1+n)	消防法 設置数	減数設置適用	設置数	合 計	感知区域		高	ż .		はり等	の高さ (0.4m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <35㎡</td><td>総面積 総 (1+1) (</td><td> +n) 4</td><td>肖防法 減数 设置数 適</td><td></td><td>置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td><td></td></x<>	小区画 面積	総面積 <35㎡	総面積 総 (1+1) (+n) 4	肖防法 減数 设置数 適		置数	合 計	合計		
階	部屋番	号 🗠	(~4m)		(8∼15m)		(0.6m>)	<1m)			+10m²	(00111		AM/11			E-44	(∼4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m) —	(0.4m>)	<1m)				iom -	1 -						
		2	+=-	0	=	_		=	9.4 6.7	9.4 6.7	=	=	2		2		\vdash		0	=	0	=	=	9.4 6.7	9.4 6.7		=+	3 -		3	/ F			
		6 3	+	0	_			_	25.8	25.8	_	_	1		1	7	\vdash		0	_	_		_	25.8	25.8	_	_ +	1 -	_	1	9	_		
		4	_		_	_		_	5.0	5.0	_	- 1	2		2		\vdash		-	_	0	_	_	5.0	5.0	_		3 -	- †	3		_		
		(5)	0	_	- 1	_	_	_	33.6	33.6	_	_	1	_	1		\Box	0	_	_		_	_	33.6	33.6	_	_	1 -	- 1	1	/	_		
		1	_	0	_		_		5.9	5.9	_	-	1	_	1			_	0	_		_	_	5.9	5.9	_	- 1	1 -	- 1	1		-		
		2	_	_	_	0	_	_	4.2	4.2	_	- 1	2	_	2			_	_	_	0	_	_	4.2	4.2	-	- 1	3 -	- 1	3	/ 7	_		
		, 3	_	0	- 1	_	_	_	25.8	25.8	_	- 1	1	_	1			_	0			_	_	25.8	25.8	- 1	- [1 -	-	1	10	_		
トレンヲ	Y-1-	(4)					_	_	3.2	3.2	_	_ [2	_	2	٥		_	_	_	0	_	_	3.2	3.2	_		3 -	_	3	10	_		,
1-007	1-1-	(5)		_	-		_	_	5.9	5.9	_	_	1	_	1		\Box	0	_	_	_	_	_	5.9	5.9		_	1 -	- 1	1		_		
1		6				_	_	_	11.6	11.6	_	_	1		1			0	_	_	_	_	_	11.6	11.6	_		1 -	_	1		_		
1	1 1	1		_		_	_	_	144.0	144.0	_	_	2	_	2		\Box	0	_	_	_	_	_	144.0	144.0			5 -	_	5	I		細長い居室等を適用	
1	1	2	_	0		_	_	_	20.4	20.4	_	_	1		1		oxdot	_	0	_	_	_	_	20.4	20.4			1 -		1		_		
1	1	3		_	_	0	_	_	8.1	8.1	_	_	2		2		\sqcup	_	_	_	0	_	_	8.1	8.1			3 -	_	3				
1		8 (4)		0				_	25.8	25.8	_	_	1		1	13	\sqcup		0	_			_	25.8	25.8	_		1 -	_	1	21	_		
	1 1	(5)	_	_	_	_		_	13.4	13.4	_	_	2		2		\sqcup			_	0		_	13.4	13.4			3 -	_	3		_		
		6	0	_	=	=		=	175.8	175.8 13.0		=	4		4		\vdash	<u> </u>	0	=	_		=	175.8	175.8		=+	7 -		7	<u> </u>		細長い居室等を適用	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【タービン建屋】

١									煙感	知	器													熱感	知 器								炎感知器	備	者	
1\								消	防法	施	行 規	則											消防	法 施	: 行 規	則							消防法施行規則	VHI	٠,	
	個 ◇ の 4 ◆ 域 4 ・	壁以 第感個取44を 日はよ取4 小区 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の個 第4 原下を の 第	No. C に 木 S C C C C C C C C C C C C C C C C C C	im以上感 に 、	SA ひる かっ	よう設ける。 路設績がでした。 いかり、一次のでは、は、は、一次のでは、は、は、一次のでは、は、は、一次のでは、は、は、一点のでは、は、は、一点では、は、は、一点では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	たって区画 知区域ご さ1m以上 3基準書 3.4連続する	された部分とに、感知器	ごとに、	感知器の別及び取付に応じた前	種別及びけ面の高	さに応じて	ご次の表で の表で 図域を当ま	定める床面	面積につき	1個以_ D感知[壁き 和	1個国高 は一点に は は は は は は は は は り 数 火 り の で き に り 数 火 り の で き 、 に の 、 り の で が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	から0.4mが が60.4mが 個数 が60.4mが はり高さに の場合 にしているとよった。 にしているとは、 は場合 にしているとので、 の場合 にのある。 のある。 にいるといる。 はいるといる。 はいるといる。 にいる。 にいるといる。 にいるといる。 にいるといる。 にいるといる。 にいるといる。 にいるといる。 にいるといる。 にいると、 にいる。 にいると、 にいる。	に有味の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(特種) (特種) は、はり高さ 知設備工事。 災区域が連	のて区画され 1m以上とす 基準書 売する場合、 以上1m未 基準書	た部分ごと る。 隣接する に 満で区画さ	とに、感知 感知 感知 区域を まれた5 m [*] じ	該当部	3分を含め \区画が1	15㎡以	内であれし	ば1つの感	茶知器区域	或と見な	州防法に変 ・ 教が同盟が ・ の場場 ・ 知い ・ の場場 ・ 知い ・ の場場 ・ 知い ・ の場場 ・ 知い ・ の場場 ・ 知い ・ の場場 ・ 知い ・ とで ・ の場場 ・ 知い ・ の場場 ・ 知い ・ の。 ・ とで ・ の。 ・ の。			
	設	感知	器は、廊下 。	及び通	路にあ	っては歩		mにつき	1個以上の個		階段及び	頃斜路に	うっては重	垂直距離1	ōmにつき	1個以上0	の個数を	!																		
火災区画	恩	感知			高	ż		は	り等の高さ	小	区画 総面	積 総面	総面積	消防法	減数設置適用	E -n.se.eu		感知	ı	高	ŧ		はり等の	の高さ	小区画 糸	%面積	総面積 約	総面積	消防法	減数設置	設置数	A =1	승計			
階 部屋番号	3	区域	(~4m)	(4~8	Bm) ((8 ∼ 15m)	(15~20m	(0.6m)	(0.6m< <1m)		荷 <75	n +10n	(1+n) <60m	設置数	適用	改直知	n n	区域	(∼4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	(35 m²	(1+1) +5m²	(1±n) (15m²	設置数	適用	改直数	n at	in at			
MB1F B2F T-1-27		1	_	-		0	_	-	0		1.6 5.2 76.	_	-	2	=	2	3	1	_	_	0	_	_	0	61.6 15.2	76.8	_ [-	_	_	<u> </u>	1	7			
B2F B1F	+	(A)	0	+ =	_	-	+=	+=	+=		9.2	-	+=	1 3		1 3		①	0	+ =	-	=	=		15.2 59.2		=+	_	3	=	1 3					
T_2_12	H	2		0			_	+ =	_		7.6 254		_	2	_	2	7	2	_	0	_	_	_			254.4	_	=	3		3	9	_			
MB1F		3	_	Ö	_	_	_	_	_		7.6	_	_	2	_	2		3	_	Ö	_	_	_	_	97.6		_	_	3	_	3		_			

Λ								煙感	知 器	ı												熱感	知 器							炎感知器	
1\							消化									1					消 Rt			8 Bil						消防法施行規則	備考
		壁以 第条側取44m稍 1はとりまた 小つ 第条付 100 を 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	上の個領 第4 5 2 3 条 4 項下をを 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を を 4 項下を 4 項下 2 3 3 4 3 4 3 5 4 3 5 6 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	この 6 m k が	が感知するよう 及及び傾斜路数 戻市面が 大下のない でもいる。 「ない はり 「ない 根切ぐ 「ない 根切ぐ 「ない 根切ぐ 「ない 根切ぐ 「ない 根切ぐ 「ない 根切ぐ 「ない はい ので 「ない ない ここ あん ここ ない あん ここ ない あん ここ ない また ここ ない また ここ ない また ここ ない また ここ ない また ここ ない また とい また また また また また また また また また また また また また	設ける。 を除く感知 はり高さ事。 、改数災区域が分 さが0.6m が傾斜路)の が傾斜路)の	つて区画されて 可区域ごとに に1m以上と 基準書 連続する場 m以上1mオ	する。 する。 計合、取付面が 計合、取付面が は上の個数	きれた10	1番の種。 が取付けご じた範囲 ㎡以下の	面の高さの隣接す	に応じて? する感知 B が 1 つ隣 持	の高さに応じて感知 次の表で定める床面 区域を当該部分を含 接している場合は、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	横につき めて1つ 当該部分	:1個以 の感知 を含め・	・ 壁きつ取44m* 本 はす いの 日担近 記し 上 上 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区	23条第4項 三 口 は取付面からの、4 個別上の個数を、5 以上~8m未満 以上~8m未満 以上~8m未満 ができる。 を知区域はり高さ を知区域はすること とができる。 を知区域はすること とい及室室のは、消防治 に、消防治 に、利防治 に、利防治 に、利防治 に、利防治 に、利防治	M以上 以上 以上 以上 以上 以上 以上 以上	有有が原本 有効感面では、 70㎡(パース) 10元 報火 次で 教 大 次 高 5 ㎡ (の 報火 次 で 数 2 次 で 数 2 次 で 数 2 元 数 2 次 で 数 3 次 2 次 2 次 2 次 2 次 2 次 2 次 2 次 2 次 2 次	するよう設け 特種) 特種) は、はり高さ の設備工事 と と さがO. 4m の設備工事 る ながの、4m の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	つて区画され でる。 1m以上と 1m以上と は楽書 焼する場合 以上1m末 と楽書	する。 、隣接する駅 ・満で区画さ	感知区域	器の種類を該当部	8分を含め15㎡J 小区画が1つ隣技	以内であれ	ば1つの感;	知器区均	丈と見な	消防法施行規則に 準拠して感知器を 設置する。 *炎感知器に設置 数が記載されてい る同じ部屋番号に 設置数が記載されてい でいる機械知異	
		上記	に記載のない	\消防法施	行規則について	ても準拠し	て感知器を	を設置する。																							
火質階	部屋番	- 燃料	(~4m)	高 (4~8m)	さ (8~15m) (1	15~20m)	(0.6m>)	手の高さ (0.6m <x <1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 (1+1) +10㎡	総面積 (1+n) <60㎡	消防法 減数設置 設置数 適用	設置委	合 :	計 感知区域	(~4m) (4~8		à (8∼15m)	(15~20m)	はり等 (0.4m>)	の高さ (0.4m <x <1m)</x 	小区画 面積	総面積 <35㎡	総面積 総面積 (1+1) (1+n) +5㎡ <15㎡	消防法 設置数	減数設置適用	設置数	合 計	合計	
	Į.	1 1	_	0	-	_	_	0	515.7	597.2	-	-	26 —	26	30	1	- 0		-	_	_	0	515.7	597.2		25	_	25	29	_	
		2 1	0	0	=	_	=	0	81.5 105.5	105.5	=	_	4 — 5 —	4 5	5	(2)	0 -		_			0	81.5 105.5			4 5	=	4 5	5	=	
B2F		3 ①	0	Ť	_	_	_	_	81.1		_	_	1 —	1	1	Ū	0 -		_	_	_	_	81.1			2	_	2	2	_	
	ľ	4 ①	0	0	=	_	-	0	113.7 387.4	113.7	<u> </u>	=	1 — 24 —	24	1	1	0 -	-	=	=		0	113.7 387.4		= =	3 24	=	3 24	3		
		5 ②	0	–	_	_	_	0	119.4	506.8	_	_	5 —	5	29	2	0 -		_	_	_	Ö	119.4	506.8		5	_	5	29	_	
MB2F 階段室		6 ①	_	0	=		-	=	23.9	23.9	=	=	2 — 3 —	2	2	1	_ o		_	=		_	23.9 17.6			2 6	=	2	6	_	
陷权至	C-1-	8 ①	+=	0	= +		=	=		26.2		=	2 -	2	2		- 0		=			=	26.2		= =	2	=	2	2		細長い居室等を適用
MB2F		g ①	_	0	_	_	_	_	4.8		_	_	1 —	1	2	1	- 0		_	_	_	_	4.8	10.6		1	_	1	2	_	
MIDE	l	10 ①	0	0			=	=	5.8	33.1	=	=	1 —	1 3	3	2	0 -		=				5.8 33.1			1 3	_	3	3	=	細長い居室等を適用
		11 ①	_	0	_	_	_	_		3.9	=		1 -	1	1		- 0		_			_	3.9			1	_	1	1	_	桐及い治主寺と巡川
B2F		12	0	_	_	_	_	_	41.7	46.1	_	_	1 —	1	2	1	0 -		_	_	_	_	41.7	46.1		2	_	2	3	_	細長い居室等を適用
階段室		13 ①	-	0		=	=		4.4	19.5	=		1 — 3 —	1 3	3	2	_ 0		=	=		=	4.4 19.5			5	_	1 5	5		
MAXE		1 ①	 	0	_	_	-	0		222.7	_	-	9 —	9	9	1	- 0		_	_		0	222.7			9	_	9	9	_	
		2 ①	_	0		_	_	0	43.3		_	_	2 —	2	2	1	- 0		_	_	_	0	43.3			2	_	2	2	_	
		3 ① 4 ①	+=-	0		_	-	0		727.3 33	<u> </u>	=	30 — 2 —	30	30	1	<u> </u>		=	=		0	727.3 33			30	=	30	30		
B1F		5 ①	_	Ö	_	_	_	0	275.9		_	_	14 —	14	17	1	- 0		_	_	_	0	275.9	350.9		15	_	15	17	_	
		2	0	=	=	-	-	0	75 44.6		_	=	3 — 2 —	3	17	2	0 -		_	=		0	75 44.6	330.5		2	=	2	- 17	_	
	C-2-	6 ②	0	=		=	H =	_	44.6		⊨	=	1 -	1	3	(1)	0 -	_	=	=		_	44.6	89.2		1	=	1	3		
		7 ①	Ö	-		_	_	_	70.5		_	_	1 -	1	1	Ũ	0 -		_	_	_	_	70.5	70.5		2	_	2	2	_	
MB1F		9 ①	 -	0	=		=	0		26.3 19.8	 -	=	3 —	3	3	1	_ <u> </u>		_	=		0	26.3 19.8		= =	3	=	3	3	=	
B1F		10 ①	+	_	=	=	=	_		32.7	=		3 —	3	3		0 -		=	=	=	_	32.7			3	=	3	3	=	細長い居室等を適用
BIF	[12 ①	0	_	_	_	_	_	6	6	_	_	1 -	1	1	1	0 -	-	_	_	_	_	6	6		1	_	1	1	_	
MB1F		13 ①	0	0			=	=		38.7 32.4		=	1 — 3 —	1 3	1		0 -		=	=		_	38.7 32.4			2	=	2	2		細長い居室等を適用 細長い居室等を適用
WIDTE		1 ①	_	0	=	=	=	=		16.9	=		1 -	1	1			_	=	=	=	=	16.9			1	=	1	1	=	700人× 61 生年に担用
	[2 ①	0	- 0	_	_	_	_	526.6		_	-	7 —	7	10	1	0 -	.	-	_	_	- 0	526.6	596.8		10	_	10	13	_	
	-	3 ①	+=	0	=		=	0	70.2 81.6	81.6	=	=	3 — 8 —	3	8	(2)	_ O		=	=		0	70.2 81.6	816	= =	3 8	=	3	8		
1F		7 ①	<u> </u>	0		_		_	48.8	48.8			2 —	2	2	1	- 0			_	_	LĔ	48.8	48.8		2	<u> </u>	2	2		
15		9 ①	_	0	_	_	_	_		291.9	_		13 —	13	13		- 0		_		_	_	291.9			13	_	13	13	_	
		11 ①	=	0	=	_	-	=		32.8 95	=	_	3 — 1 —	3	3		_ O		_		=	=	32.8 95			3 2		3	3	=	
	[15 ①	_	0	_	_	_	_	18.6	18.6	_	_	1 -	1	1	Ű	- 0		_		_	_	18.6	18.6		1	_	1	1	_	
-	C	16 ①	-	0	_	-		0		22.6 286.9			2 — 18 —	18	18		0 -					0	22.6 286.9			2 18	_	2 18	2 18		
	U-3-	20 ①	0	=	_	=	=	0		254.4	=	=	13 —	13	13		0 -	_	=	=		0	254.4			13	_	13	13		
		21 ①	Ö	_	_	_	_	0		250.6	_	_	13 —	13	13		0 -		_	_	_	Ö	250.6			13	_	13	13	_	
2F		22 ①	0	=	=		=	-		74.2 25.2			4 —	4	4		0 -			=		_ 0	74.2 25.2			4	=	4	4	_	
		24 ①	ŏ	- <u>-</u> -		_	ΗĒ	0		174		=	17 —	17	17		 =	.				0	174		- -	17		17	17		
		25 ①	Ö	_		_	_	_	27.5	27.5	_	_	1 -	1	1	1	0 -		_	_	_	Ť	27.5	27.5		1	_	-1	1	_	
1F		26 ①	0	- 0			=	=	8.5 18.4	8.5	_		1 —	1 2	1	1	0 -					=	8.5 18.4	8.5		1 2		2	1	_	
2F	:	27 ②	_	0		_	=	=	10.4		=	=	1 -	1	4	2	- 0			=	=	=	10.4	47.1	= =	1	=	1	4	=	
25		3	0	_	_	_	_	_	18.4		_	_	1 —	1		3	0 -	.	_	_	_	_	18.4			1	_	1		_	

\				- 150㎡ - 20m未満 75㎡ 画のはり高さにのないものは、はり高さ1m以上とする。 報知機工業会 自動火災報取機工事基準書 発さが0、6m以上1m未満で火災区域が連続する場合、取付面高さに応じた範囲の隣接する感知区域を当該部分を含めて1つの																			熱感失	n 器							炎感知器	備考
- 1\							消防	5 法 施	10 行	規則	J											消防	法 施	行 規	則						消防法施行規則	URE ₹
	\	壁以 第5年の取付 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年	はは取付付数 23器を、高満と区 数す未以数 大さ は数の第4 がある。 は、次さ は、次さ は、次さ は、次さ は、次さ は、次さ は、次さ は、次さ がある。 は、次さ がある。 は、がある。 がな。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がな。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がな。 が。 がな。 がな。 がな。 がな。 がな。 がな。	面から0.6m以 を、火災に有え 頃 七 本路、階段 下、通路に感知 のm未満 のm未満 のはり高さに の加機工業会	か感知するよ 没及び傾斜 するように 床面和 150n 75㎡ のないもの 自動火災報:	たう設ける。 路を除く感気 設ける。 すべ は、はり高。 知設備工事	知区域ごとに さ1m以上と	z、感知器の する。)種別及	び取付け	面の高さ	に応じてネ	次の表で定	官める床面	積につき	1個以上	壁 21 つ 取 4 m l 複 オリ・と マ	個以上の個以上の個以高 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本	らO. 4m以 数を、火災!	に有効感知 床70㎡(35㎡() のない 災で火 動動大満 報失り	するよう設(特種) 特種) は、はり高さ む設備工事 災区域が連	ける。 :1m以上とす 基準書 続する場合。	れた部分ごとに する。 、隣接する感 満で区画され	知区域を記	該当部分	分を含め15r	↑以内であれ	れば1つの恩	5知器区域	載と見な	消防法施行規則を 準拠しる 地域である 地域である 地域である 地域である 地域である 地域である 地域である 地域である 地域である 地域である 地域である 地域である 地域が 地域が 地域が 地域が 地域が 地域が 地域が 地域が	
		域と見 取付 4m 小区 1つの	lなすこと 面高さ 以上~8 返加区域 以近の い近の い い い い い い い い い い	ができる。 m未満 gしている場合 gとすることが	床面積 60㎡ 、はり等の できる。	で 深さが0.6	m以上1m末										◆日本 細長 短辺	い居室等の !が3m未満	機工業会 自場合 の細長い居	自動火災報知 室等に定温	式スポット		殊)を設ける 設置する。	場合は、対	多行距离	能13mにつき	1個以上設	ける。			ついて他の部と組合では、おいて他の部と組合では知られている場合のの場合であり、その感知報とた感知報とた感知報となる。	
		設ける	の器は、廊 る。	頃 七 へ (道 下及び通路に ない消防法施	:あっては歩 行規則につ!	·行距離30i	mにつき1個 して感知器を	を設置する。		段及び傾	斜路にあ	っては垂	直距離15	mにつき1	個以上の	個数を		T				ı										
火多階	部屋番号	感知 区域	(~4m	_	(8∼15m)	(15~20m	1	の高さ (0.6m <x <1m)</x 	小区间 面積			総面積 (1+n) <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	高 (4~8m)	さ (8∼15m)	(15~20m)	はり等 (0.4m>)	/	小区画 総 面積 〈	田恒	総面積 総面 (1+1) (1+r +5㎡ <15i) 消防法		設置数	合 計	合計	
1F	C-3- 2	8 ①	_	0	_	_	_	_	15.6		-	_	2	_	2	2	1	_	0	_	_	_	-	15.6			2	_	2	2	_	
階段	30	1 1	 -	0	=	=	 -	=	15.3 30.5		+=		1		1	1	1		0	_		_	=	15.3 30.5	15.3 30.5	= =		-	1	1		
	3:	2 1	_	Ö	_	_	_	_		107	_	_	2	_	2	2	1	_	Ö	_	_	_	_		107		3	_	3	3	_	
	33	3 ①	_	0	_	_	_	_	6.1		_	_	1	_	1	1	1	_	0	_	_	_	_		6.1			_	1	-1	_	
		1	0	- 0	=	-	+=	=	22.3		=	=	1		1 1		1	0	_ 0	=		_	=	22.3	-	= +=		+=	1			
1F	34	4 ②	+=	_	0		+ =	=	15 18.4		H=	= 1	1	=	1	4	3	=	_	0		=	= +	15	63.5			+ =	-	3	1	
		4	_	0	_	_	_	_	7.8		_	_	1	_	1		4	_	0	_	_	_	_	7.8				_	1		<u> </u>	
		6 ①	_	0	_	_	_	_		14.6		_	- 1	_	1	1	1	_	0	_	_	_		14.6				_	1	1	_	
		7 ①	_	0	0		 -		67.6 20.4	67.6 20.4	 -		2		2	2	1	_	0	0		_		67.6 20.4			_	-	_		3	細長い居室等を適用
		0 1	-		=	=	+=	=		92.4		=	3	=	3	3	1	0		=		_	=		92.4	= =		+=	3	3		
	C-3-4	1 ①	Ö	_	_	_	_	0		45.6	_	_	9	_	9	9	Ũ	Ō	_	_	_	_		45.6			9	_	9	9	_	
		2 ①	0		=	=	+=	0	105 6.1		 -	_	4	=	4	4	1	0	=	_		=	0		105 6.1	= + =		+=	4	4		
2F		4 (1)	0	+=	=	=	+=-	=	6	6	+=-	\equiv	1	=	1	1	1	0	=	=		=	=	6	6	= =		+ =	1	1	_	
		5 ①	0	_	_	_	_	_	13	13		_	1	_	1	1	Ũ	Ö	_	_	_	_	_	13	13		1	_	1	1	_	
		7 ①	0		_	_	_	_		22.8		_	2	_	2	2	1	0	_	_	_	_		22.8				_	2	2	_	
1F		8 ① 0 ①	0	0	=	=	 -	=	22.7	22.7	+=		2		2	2	1	0	0	_		_		20.6		= =		-	2	2		
2F	5	1 1	0	_	_	_	_	_		27.2			1	_	1	1	1	0	_	_	_	_		27.2			1	_	1	1		
25	5	2 ①	0	_	_	_	_	_	6		_	_	1	_	1	1	1	0	_	_	_	_	_		6			_	1	1		
1F	5	3 1	_	0		-	+ =		18.4 9.5		=	_	1		1	-1	(2)	_	0	_				9.5	27.9	= +=		-	1	1		
0.5	1	1	0	_	=	=	+=	=		8 1247.8		=	11	=	11	11	1	0	_	=		=		1247.8 1	247.8	= =		+=	19	19	_	
3F	2	Ű	_	0	_	_	_	_		206.2		_	4	_	4	4	Ű	Ö	_	_	_	_		206.2 2				_	4	4	_	
RF	3	1	0	_	=	=	<u> </u>	_	96.8		=	_	2		2	2	1	0	_	_		_		96.8				=	2	2		
	C-4- 5	1	_	0	=	=	+=	=	29.2	29.2	+=	=	2	=	2	2	1	=	0	_		=		29.2		= + =		+ =	2	2		
3F	6	1	_	Ö	_	_	_	_	32.5		_	_	1	_	1	1	Ű	_	Ö	_	_	_	_		32.5		1	_	1	1	_	
or-	7	1	0		_	_		_	5.8		_	_	1		1	1	1	0		_	_	_	_		5.8			_	1	1	_	
	16	6 ①	0	=	=	=	+=-	=	44.7		=	=	1 1	=	1	2	(2)	0	=	=		_	= +	44.7	48.9	= =		+=	1	2		
		(e)			1	1		1	7.2		•					_	· ·							6.6				1		_		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【緊急用電気品建屋】

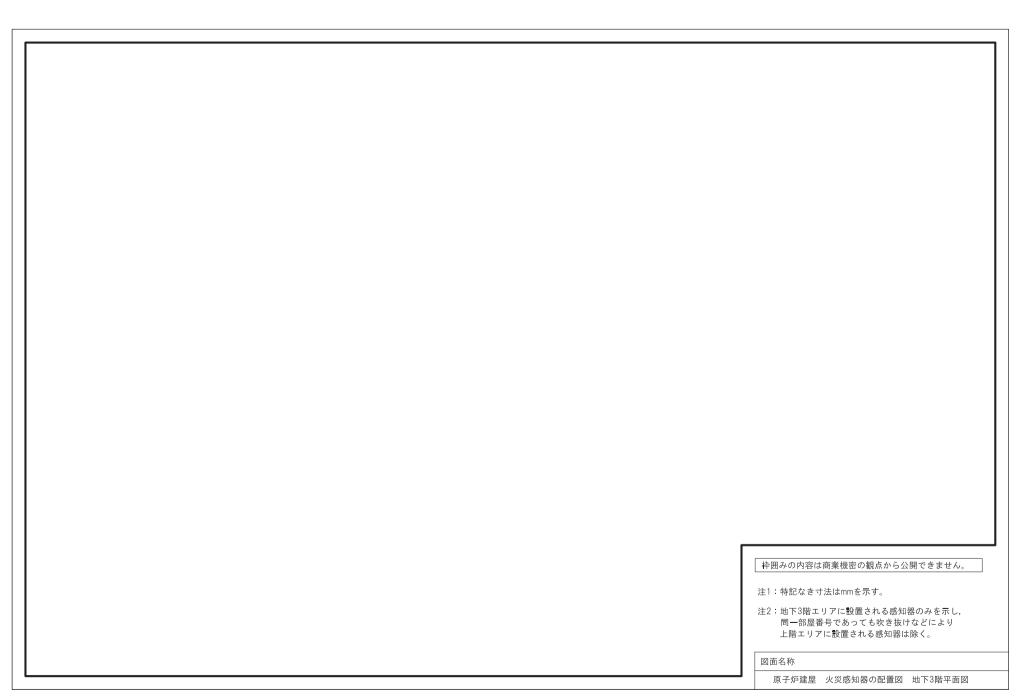
1.0/2012		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	J () () () () () () ()	пр	E-C-1-C	,,,	124 (71) 23	C. 11315315	- NE 1	7907(1	71700710	/// //	1-101-	, 0,	1700	уч- да	/ K //N	/E// 13 FE	NATAL AL															
Λ								煙感	知 器														熱感	知 器							炎感知器	借	考	
- 11							消防	法施	行:	規則												消防	法 施	行	規則						消防法施行規則	910		
		壁	第23条第4項 又は取付面が 以上の個数を	から0.6m以	上突出した 感知するよ	はり等によっ う設ける。	って区画され	た部分ごと	に、感知	器の種別	及び取付け	一面の高さ	い応じて思	系知器床	面積につ	き1	壁又は	以上の個	60. 4ml	(上突出した) に有効感知で 床面積	より等によっ トるよう設け	って区画され ける。	た部分ごと	に、感気	器の種別	及び取付面	の高さに応	じて次の表	で定める	末面積に	消防法施行規則に 準拠して感知器を 設置する。			
	\	感: の個 取: 4n 4n	第23条第4項 知器は、廊下 別数を、火災を 付面高さ n未満 n以上~20r	、通路、階段 有効に感知 m未満	するようにi 床面材 150m 75㎡	设ける。 i i			種別及び	取付け面	の高さに応	じて次の	表で定める	床面積	につき1代		4m未 4m以 *複数 ◆日本 はり等	満 上~8m 対区画のは 火災報知様 の深さが(り高さに〇 豊工業会 1	70㎡(! 35㎡(! のないものに 動火災報知 n未満で火災	寺種) はい高さ は明高さ はい高さ はい高さ	基準書		聚知区域	を該当部分	を含め15	m [®] 以内であ	5れば1つの	感知器区	域と見な	* 炎感知器に設置 数が記載されてい る同じ部屋番号に 設置数が記載され ている煙感知器又 は熱感知器が、炎			
		◆日 は 域と	日本火災頼知様工業会 自動火災報知設備工事基準書 小は以等の深さがの、6m以上1m未満で火災区域が連続する場合、取付面高さに応じた範囲の隣接する感知区域を当該部分を含めて1つの感知区 と見なすことができる。 取付面高さ 床面積														つの感	面が隣接し 知区域とす	ることがで				満で区画さ	ಗ <i>†</i> :5㎡	以下の小	区画が1つ	#接してい	る場合は、≦	当該部分を	含めて1	感知器と組合せて 設置する感知器で ある。なお、一部に ついて他の部屋番 号の感知器と組合			
	\	4n 小	何面高さ n以上~8m 区画が隣接し の感知区域と	ている場合	60㎡、はり等の影	₹さが0. 6n	m以上1m未	満で区画さ	れた10r	m ⁱ 以下の	小区画が1つ	⊃隣接して	こいる場合	ま、当該	部分を含		細長し 短辺か	N居室等の パ3m未満	場合 の細長い居	自動火災報知 室等に定温: 行規則につい	式スポット型	过感知器(特		る場合は	、歩行距離	13mにつ	き1個以上	設ける。			せる場合があり、 その場合の組合せ る感知器は備考欄 に記載した感知器 となる。			
	\	◇第 感: 設け	第23条第4項 知器は、廊下 ける。	七 へ (通 及び通路に	路、階段及 あっては歩	行距離30m			を、階段	及び傾斜	路にあって	ま垂直距	離15mlC	つき1個	以上の個	数を	⊥acı≂a	SC#X07/4.0	·用财本施1	が良川と ブレ	C 64-960	(1870) 翻译	改世 9 句。								<i>শ</i> েক তঃ			
火!	災区画		己に記載のな	い消防法施行	が規則につい	いても準拠し	1	の高さ	小区画	総面積	総面積 総面	面積、減	坊法 減炎	-n.ss			et én		高	ż .		はり等の	の高さ		総面積	面積 総面	積							
階	部屋番	IX to	或 (~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	総国領 <75㎡	(1+1) (1- +10m <60	n) =n s		開	设置数	合 計	区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	/am 2	1+1) (1+ -5m² <15	n) 沿版 m 設置	法 減数設数 適用	· 設置委	合 計	合計			
		1	_	0	_	_	0	0	292.35	_	_			18	10		1	_	0	_	_	0	0	292.35			- 20	_	28		_			
MB1F		1 (2)	0	_	_	_	0	0	23.88	_			4	3	1	12	2	0		_	_	0	0		329.78			_	4	36	_			
1	1 -	2 ①	0	_	=	=	0	0	13.55		— — 107		4	<u>ئ</u>	1 4	4	(3) (1)	<u> </u>		=	=	0	0	13.55	107.51	= + =		0	4	12	=			
<u> </u>	4 4	2 ①	0	0			_	-	107.51			7.51	13	9	4	4	① ①	-	<u> </u>	_			0		107.51	= =		0	13	13				
B1F	1 6	3 (I) 4 (I)	0					=	10.33			=+-	1	0	1	1	<u> </u>	0		_					10.33	= =	_	0	1	1				
011	F-1-	4 U		+=-			=		13.55			-	1	0	1	1	1	0						13.55	13.55	= =	-	0	1	1				
\vdash	1 " "	6 ①	_	0			+=-	=	35.37			-	3	2	1	1	10		0	= +					35.37	= +=	_	0	3	3				
MB1F	F	7	-	0				_	7.20			-	1	0	1	1	ň		0	_				7.20	7.20	= =	_ v	0	1	1				
1	1 1	8 ①	_	ő	_	_	_	_	23.58			- 1	2	1	1	1	Ď	_	0	_	_	_	_		23.58		_	0	2	2				
階段	1 1	9 ①	<u> </u>	Ť	0	_	_	_	10.05			- -	2	1	1	1	(I)		Ť	0	_	_	_		10.05		- 2	0	2	2	_			
MD45	1 1	10 ①	_	0	_	_	_	_	12.69	12.69		-	1	0	1	1	1	_	0	_	_	_	_	12.69	12.69		- 1	0	- 1	1	_			
MB1F		11 ①	_	0	_	_	_	_	16.74	16.74		-	2	1	1	1	1	_	Ö	_	_	_	_	16.74	16.74	- -	- 2	0	2	2	_			
1F	F-2-	1 ①	<u> </u>	0	_	_	0	0	492.72	_	— 492	2.72 2	22	14	8	8	(1)	_	0	_	_	Ω	0	492.72	492.72		- 22	0	22	22				

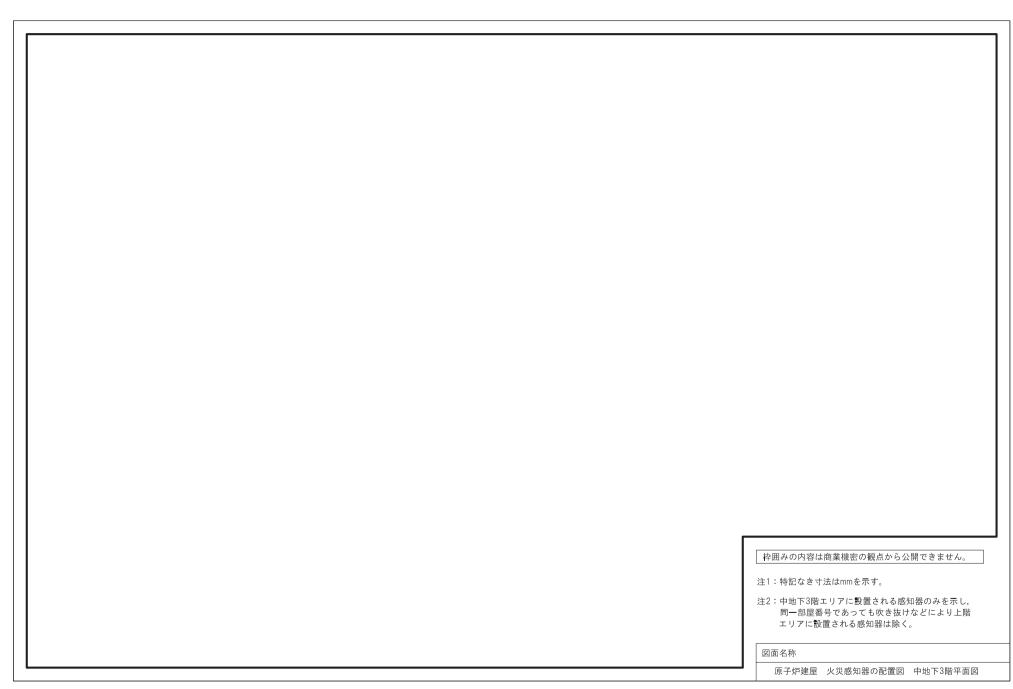
消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【緊急時対策建屋】

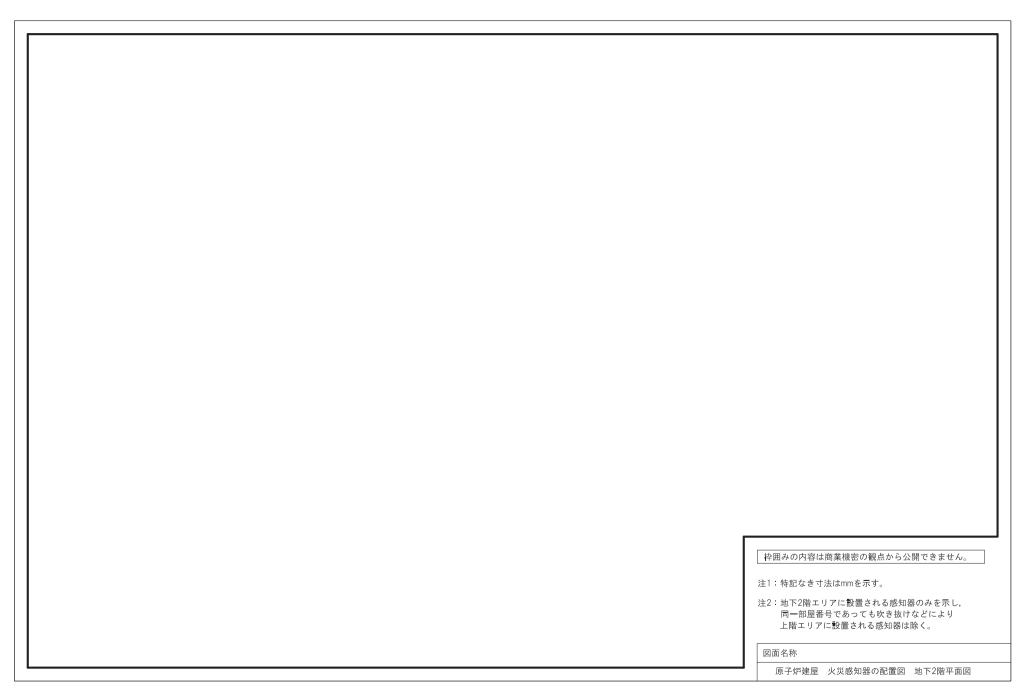
1				がおり即				家:何的 煙 感			71.	.,,,,,							以 東廷臣	-			熱感	知 器								炎感知器	/86	*
\			_	消 防 法 施 行 規 則 は取付面から0.6m以上突出したはり等によって区画された部分ごとに、感知器の種別及び取付け面の高さに応じて感知器床面積に の個数を、火災に有効感知するよう設ける。																		消防	; 法施	行	規則							消防法施行規則	1佣	考
		壁以 第 数個 収 第 数 個 収 第 数 個 収 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	又上の 23器 4 1	前から0.6ml た、火災 東下を有いて、 東下を有いて、 東下を有いて、 東京を有いて、 東京を有いて、 東京を有いて、 東京を有いて、 東京をは	効感 知知 対	よう設ける。 路を除く感気 設ける。 総設ける。 は以知と 数と では、はり高さ では、はり高さ でするがの、6 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	でいて区画されて区画されて区画されて区画されています。 されています。 はは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 に、 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	された部分ご に、感知器の とする。 場合、取付面 未満で区画 個以上の個領	でとに、感が の種別及で 面高さに応 された10 数を、階段	知器の種 び取付け なじた範囲	別及び即面の高さ	ける感知!	次の表で? 区域を当記 接している	定める床面 な部分を含む 場合は、当	積につき めて1つ0 i該部分を	1個以上)感知区	壁されて を	個面末以数 、火等が 画知 、火いが3 以高着 ~ 医 が ので が 隊 び 災害 か 様式 報等 和 ・	から0.4mb ある。 大海 ある。 大海 高さに は は は は は に の は は し な と が の に に の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	に有対感を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	するよう設 	って区画され 1 m以上と 基準書 場合 m以上1mオ 基準書	れた部分ごと する。 、隣接する配 を満で区画さ	に、感知 感知区域 れた5㎡	を該当部以下の小	分を含め [*] ^区画が1 [*]	15㎡以内 つ隣接して	であれば	ば1つの感 合は、当記	知器区均	枝と見な	期的法院を開始していません。 は果似して、知識は一般では、 生物にある。 本、終記部の主要を表現して、 を可能を表現して、 の関係して、 の関係して、 の関係して、 の関係して、 の関係して、 の関係して、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでである。 のので。 のので。		
火災	区画	_	に記載のな	い消防法施 高		いても準拠	1	等の高さ	1	1 総面積	総面積	総面積	消防法	滅数設置			. 感知		高	ż		はり等	の高さ	小区画	松本柱	総面積 総	金面積 38	i防法	and ## 111 111					
階	部屋番	号 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)) (0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	小区画 面積		(1+1) +10m²	(1+n) <60 m²	設置数	適用	設置数	合言	区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	総面積 <35㎡	(1+1) +5m²		置数	減数設置 適用	設置数	合 計	合計		
	1	1	_	0	=	=	=	0	316.8		=	316.8	17	8	9	9	1	=	0	=	=	=	0		316.8		=	17	0	17	17			
	3	: (1) (1)	+ =	0	=	=	-	0	142.2 73.2		+=	142.2 73.2	10 6	5 4	5	5	1	=	0	_	_	=	0		142.2 73.2		=+	10 6	0	10	10	 		
	4	1	_	0	_	_	_	0	18.3	18.3	_	_	_	_	_	_	1	_	0	_	_	_	0	18.3			_	3	0	3	3	4		
	5	1 2	0	0	=	=	+=		15.7		=	=	2	0	2	2	(2)	0	0	=	=	=	_	15.7	20.4		= +	2	0	2	2		煙感知器、熱感知器は	KR-1-5①と等用
B2F	6	1	Ĭ	0	_	_	_	0	174.9	_	_	174.9	13	8	5	5	1	Š	0	_	_	_	0		174.9	_		13	0	13	13	_	PER PER PER REI C MC PER PER REI TON	кв т офеикл
	KB-1-7	1	_	0	_	_	_	0	116			116	6	4	2	2	1	-	0	_		_	0	116	116	_	_	6	0	6	6	_		
		2	0	0	=	=	+=	0	47.9 8.8		+=	47.9	5 —	3	2		2	- 0	0	=	_	=	0	47.9 8.8		=	=+	5	0	5 —			煙感知器、熱感知器は	KB-1-8①と兼用
	8	3	-	0	_	_	_	_	1.8		_	_	1	0	1	4	3)	0	_	_	_	_	1.8	59.8	_	-	1	0	1	7	_	PALICA PHI IN C. M.C. PHI IN TO	NB 1 GO CARM
	_	4	+ =	0	+=	+=	<u> </u>	=	1.3		-	=	1	0	1		4		0	_	_	=	_	1.3	44.0		_	1	0	1 5	-			
階段室	1	0 ①			=	=	-		11.8		11.8	18.7	7	4	3	3		=	=	=	=	=		11.8	11.8 18.7		= +	9	0	9	9			
B2F	1	1 1		0	_	-	-	_		2.1	-	_	1	0	1	1		_	0	_	_	-	_	2.1	2.1			1	0	1	1	_		
	1	1	+ =	0	-	=		0	649.6 97.4		=	649.6 97.4	36	18	18	18			0	_	=		0	649.6 97.4	649.6 97.4		_	36	0	36 8	36 8	_		
	3	1		0	+=	+=	+=	_		3.8	+=	97.4	1	0	1	1		=	0	=	=	+=	_	3.8	07.1			1	0	1	1			
D:-		1	_	0	_	_	_	_		8.5	_	_	1	0	1	1		_	0	_	_		_	8.5	0.0		=	1	0	1	1	_		
B1F	KB-2-	(I)	+=	0	=	=	=	0	170	8	-	170	1 12	6	6	1	1		0	=	=	=	-	8 170	8 170	=	_	1	0	12	1 12			
	1	2 ①	_	Ö	_	_	_	_	12	12	_	_	1	Ö	1	1	Ű	_	Ö	_	_	_		12	12	_	-	1	0	1	1	_		
		3 ①	=	0	=	=	=	=	12		=	=	1	0	1	1		=	0	=	=	=	_	12			= -	1	0	1	1			
$\vdash \vdash$	- 1	4 ①	+ =	0		+=	-	0		3.1	 -	117	8	0 4	4	4	_	=	0	_	_	=	0	3.1 117	3.1 117		_	8	0	8	8			
	2	1	_	0	_	_	_	0	143.3	_	_	143.3	8	4	4	4	Ű	_	0	_	_	_	0	143.3	143.3	_	-	8	0	8	8	_		
	3	1	=	0	=	=	_	0	168.6 41	_	=	168.6	9	5	4	4			0	=	=	=	0	168.6	168.6	_	_	9	0	9	9			
	15	1	+=	0	+=	+=	+=	0	41		+=	44	6	5	1	1		=	0	=	=	+=	0	-	41	=	=+	6	0	6	6	_		
	6	ı Ō	_	0	_	_	_	Ö	102.5		_	102.5	8	4	4	4	Ũ	_	Ö	_	_	_	Ö		102.5	-	-	8	0	8	8	_		
1F	KB-3-7	1 1	+ =	0	+=	+=	-	0	16.1		16.1 18.1	+=	2	1	1	1	1		0	_	_	=	0	16.1	16.1 18.1	_	=	2	0	2	2			
	9	1 1	1 =	0	_	_	-	0	16.2		16.2	+=	2	1	1	1	1	_	0	-	_	-	0	16.2		_	=+	2	0	2	2	_		
	1	0 ①	_	0	_	_	_	0	50		_	50	3	1	2	2	1	_	0	_	_		0	50			=	3	0	3	3	_		
	1	1 1	+ =	0	 =	=	 =	0	07.0	=	-	87.5 167.5	8 18	4 8	10	10			0	<u> </u>	=	=	0	87.5 167.5	87.5 167.5		_	8 18	0	18	18			
		5 ①	 	0	_	_	 -	_		5.6	 -	-	-	-	-	_		_	0	_	_	=	_	5.6	5.6		_	1	0	1	1	1		
1F	KB-3-	6 ①	_	0	_	_		=		3.3	_	_	_	_	_	_	9	_	0	_	_		=		3.3		= [1	0	1	- 1	1		
\vdash	1	7 ①	_	0	=	=	_	0	5.3 264.9	5.3	=	264.9	17	9	8	1 8	1	Ш	0	=	=	=	0		5.3 264.9		_	17	0	17	1 17			
2F	KB-4-	1 0	_	0	_	_	_	Ō	192.6	_	_	192.6	11	5	6	6	1	_	Ö	_	_	_	Ö	192.6	192.6	_	- [11	0	11	11	_		
25	ND-4-	1	_	0	_	_	_	_	8.9		_	_	_	_	_	_		_	0	_	_	_	_	8.9			_	1	0	1	1	2		
,	4		_	0	_	_	_	_	6.2	6.2	l –	_	_	_	_	_	1	_	0	_	_	_	_	6.2	6.2	_	_	1	0	1	1	1		

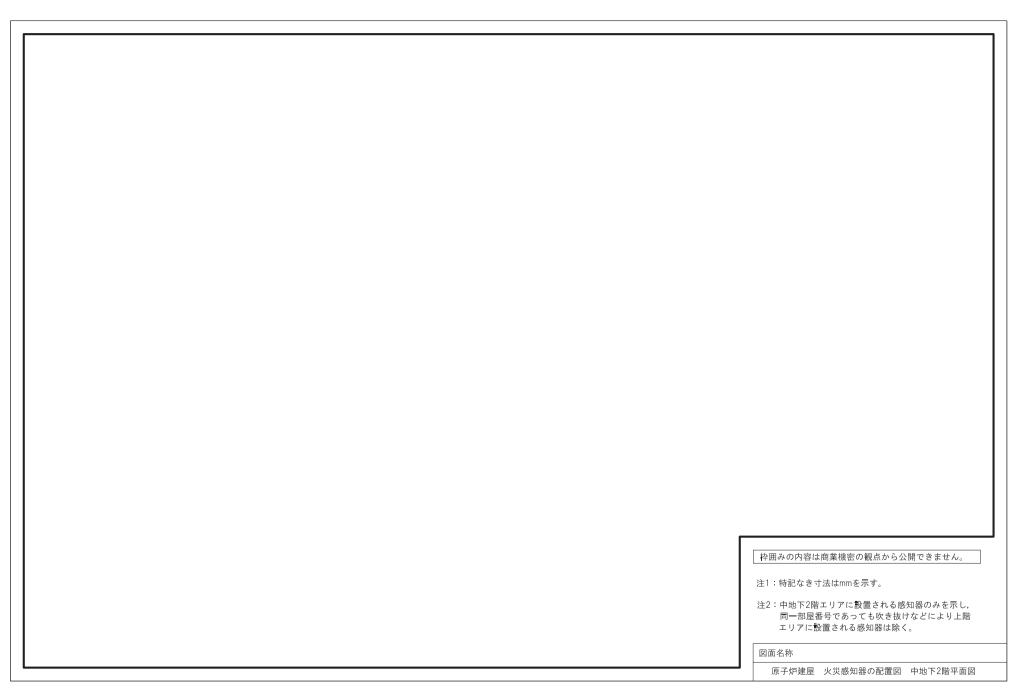
消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【地下タンク室】

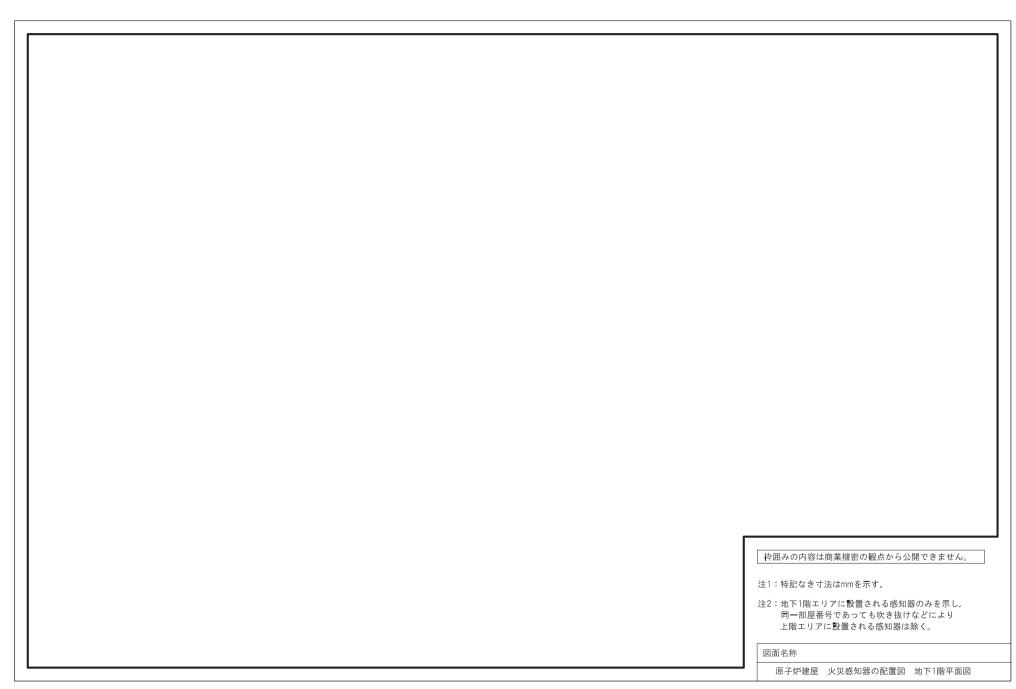
\								煙感	知 器	1											-	熱 感 :	知 器								炎感知器	借	考
I۱							消防	方 法 施	行	規 則											消 防	法 施	行	規 剛							消防法施行規則	1/10	有
		壁又は個以上の 会第23	:の個数を、 3条第4項		か感知するよ	う設ける。					別及び取付け面 面の高さに応じ					壁又に つき1個 取付面 4m未	以上の個数 高さ	50.4m以 対を、火災I	上突出した(に有効感知す 床面積 70㎡(1 35㎡(1	するよう設け 特種)	って区画され る。	た部分ごと	に、感知	器の種別	及び取付	付面の高	さに応じて	て次の表で	定める床		消防法施行規則に 準拠して感知器を 設置する。 *炎感知器に設置 数が記載されてい		
$ \ $		の個数 取付配 4m未 4m以	で、火災を 面高さ k満 以上~20m	有効に感知	なない頃がら するように記 床面積 150㎡ 75㎡ のないものに	设ける。 i i			性加及C	74X 1917 µ	型の向ぐに心じ	CAUAC	足の心体面	預にフご	「國政工	* 複数	区画のはり 火災報知機: の深さが0.	高さに〇の	のないものは 目動火災報知 n未満で火災	は、はり高さ	基準書		知区域	を該当部	分を含め)15㎡以	内であれ	ば1つの感	知器区域	む見な	る同じ部屋番号に 設置数が記載され ている煙感知器又		
		はり等 域と見な 取付配	等の深さが(なすことが [*]	0.6m以上 できる。	自動火災報知 1m未満で対 床面積 60㎡	火災区域がi		合、取付面	高さに応	じた範囲	の隣接する感気	ロ区域を当	亥部分を含む	めて1つの	感知区	つの感射 ◆日本: 細長い	印区域とする 火災報知機: N居室等の場	ることができ 工業会 自 場合	、はり等の深 きる。 自動火災報知 室等に定温:	1設備工事	基準書								亥部分を1	含めて1	版画9 るおのでは あるいなのでは おおのでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日ののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日のののでは 日ののでは 日ののでは 日ののでは 日ののでは 日のでは 日		
		1つの懸	感知区域と 3条第4項	することが 七 へ (ji	できる。 通路、階段及	び傾斜路)					小区画が1つ								テ規則につい				7-80 EI 100	() ()			- LL				に記載した感知器となる。		
	/	設ける。	0		あっては歩行 行規則につい				対を、階 段	及び傾余	路にあっては	垂直距離1	ōmにつき1	個以上の	個数を																		
火災	区画	感知		高	ŧ		はり等	手の高さ	小区画	総田恒	総面積 総面和 (1+1) (1+n)	用防法	減数設置	設置数	수 화	感知		高	ŧ		はり等の		小区画	総田恒	総面積 (1+1)	(4.)	消防法	減数設置	設置数	수 화	合計		
階	部屋番号	区域	(∼4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	<75m²	+10m² <60m	設置数	適用		п	区域	(∼4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	<35 mî	+5m	<15m²	設置数	適用	iix iiiz sx	ы ш	шиг		
	1	(2)	0		_			_	60.3 3.5	63.8		2	-	2	3	① ②	0	_	_		_	_	60.3 3.5	63.8	_		5		5	6		細長い居室等を適用	
1	2	1	-	0		_	0	_	25.2	25.2		1	_	1	1	1	_	0	_	_	0	_	25.2	25.2	_	-	1	_	1	- 1	_		
	3	1	_	0	_	_	0	_	207.4	207.4		3	_	3	3	1	-	0	_	_	0	0	207.4	207.4	-	-	9	_	9	9	_	中ばり5区画	
	Y-7- 4	1		0	_		_	_	58.5 3.5	62		2	<u> </u>	2	3	1	_	0	_	_	_		58.5	62	_		5	_	5	6		細長い居室等を適用	
		(1)		0	_	=	-	-	27.3	27.3		1 1	-	1	-1	①	=+	0	_		- 0	=	3.5 27.3	27.3	_		1	=	1	1			
_		1		0	_		Ö	_	207.4			3	-	3	3	Ű.	_	0	_		0	0	207.4	207.4	_	_	9		9	9		中ばり5区画	
		1	_	Ö		_	ő	_	15.3	15.3		1	_	1	1	1	_	ŏ	_	_	ő	-	15.3	15.3	_	_	1	_	1	1	_		
		1	_	0	_	_	Ō	_	103.2	111.2		2	—	2	_	1	-	Ō	- 1	_	_	0	103.2	111.2	_	- 1	6	_	6	6		中ばり6区画	
L	9	(2)	0	_	_	_	_	_	8.1	111.3		_	_	_	2	2	0	_	_	_	_	_	8.1	111.3	_	-	_	_	_	_		煙感知器,熱感知器は	:Y-7-9①と兼用
		1	_	0		_	0		96.9	96.9		2		2	2	1	-	0	_	_	-	0	96.9	96.9	_	_	7	_	7	7		中ばり7区画	
	Y-8- 2	1		0	_		0	-	96.9 96.9	96.9 96.9		2	+=	2	2	1	=	0	_	=	=	0	96.9 96.9	96.9 96.9	_	-	7	=	7	7		中ばり7区画 中ばり7区画	
, ,																																	

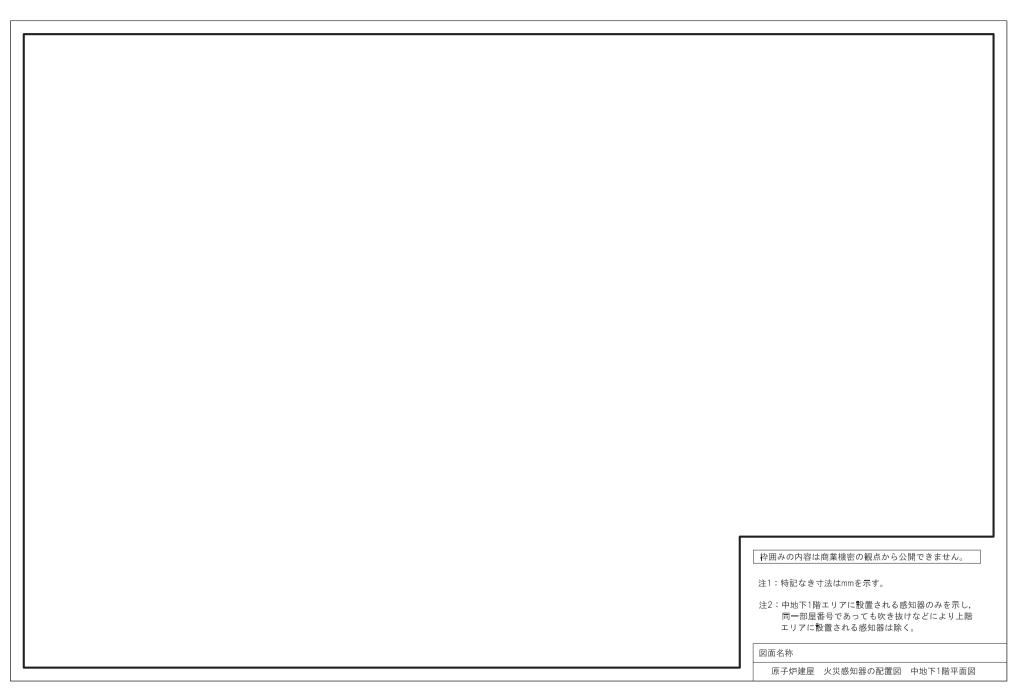


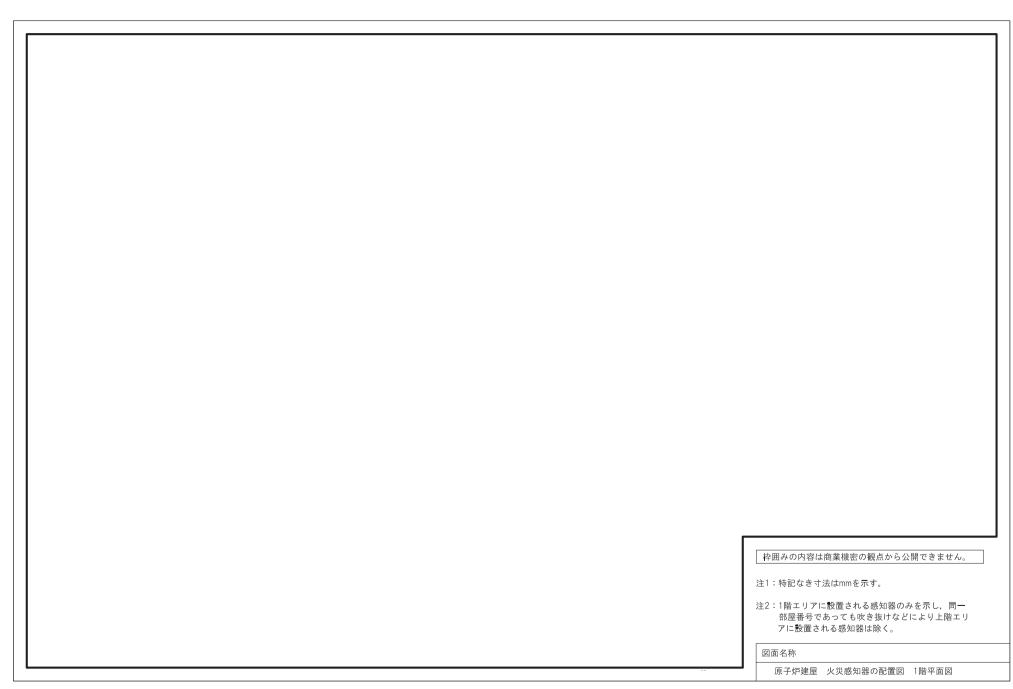


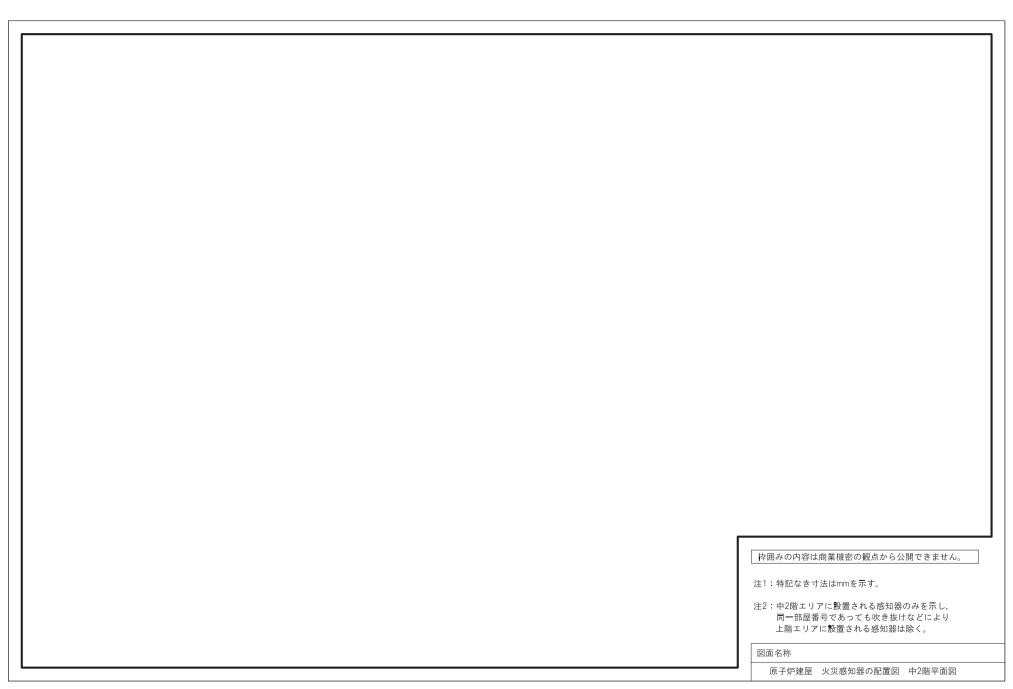


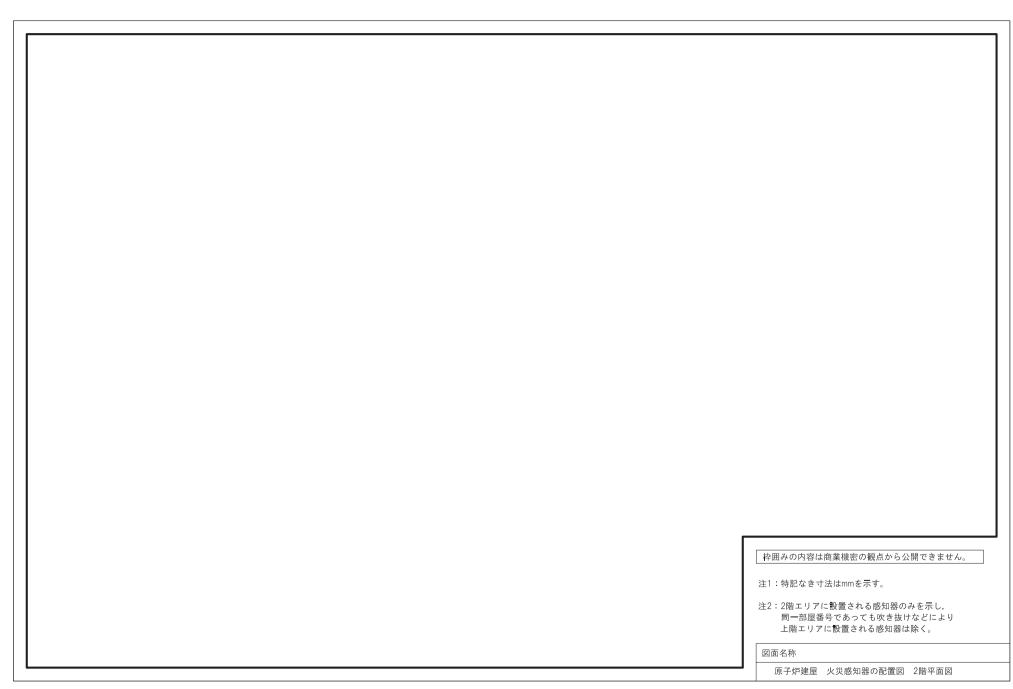


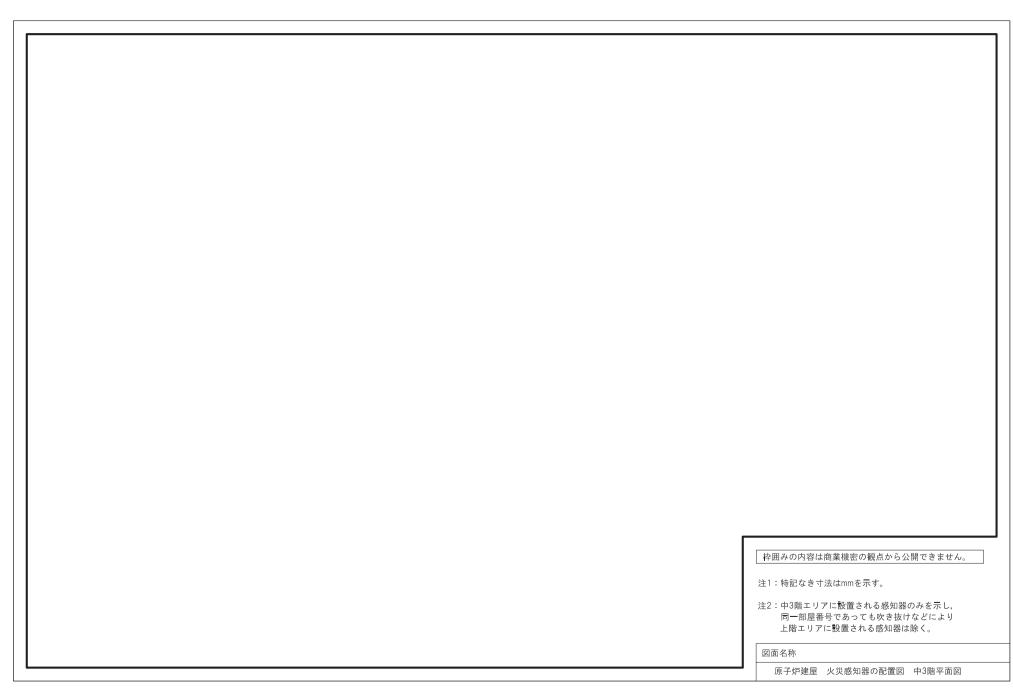


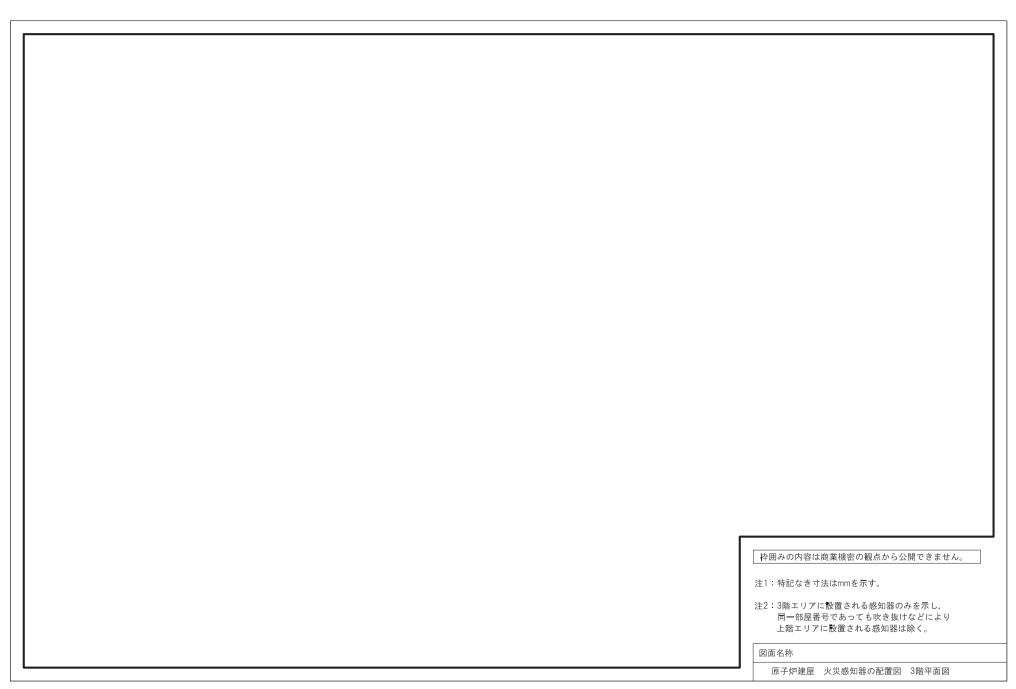


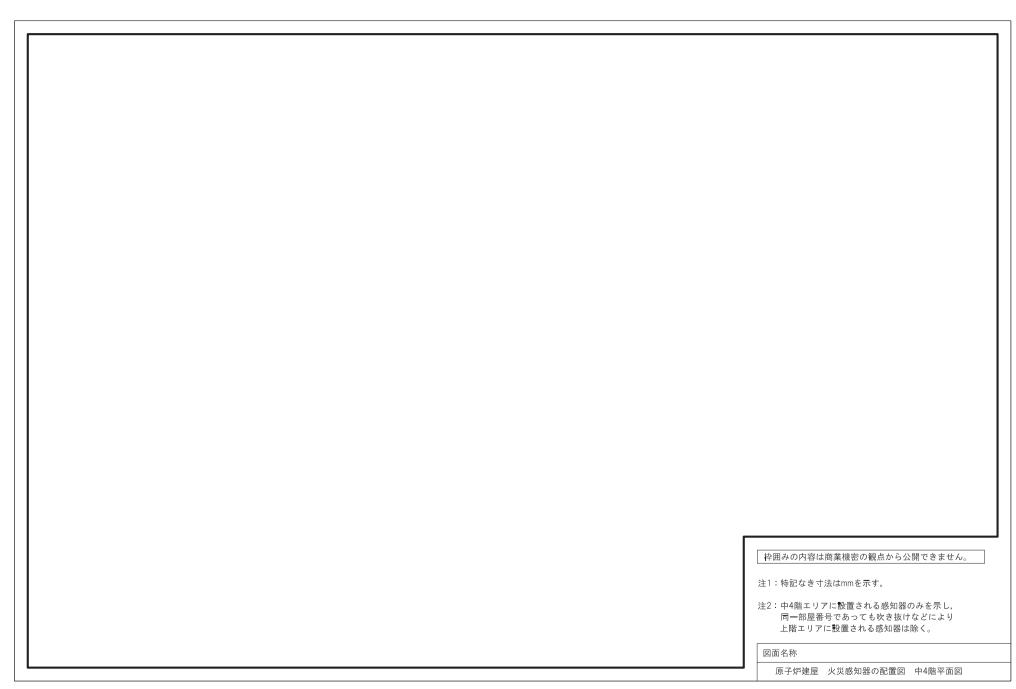


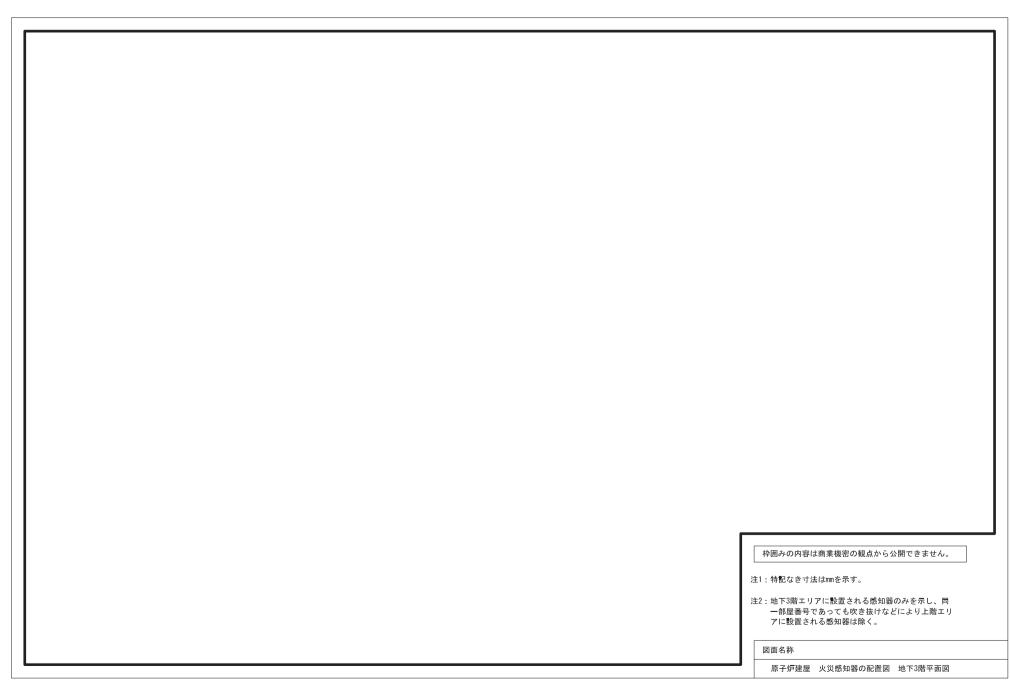


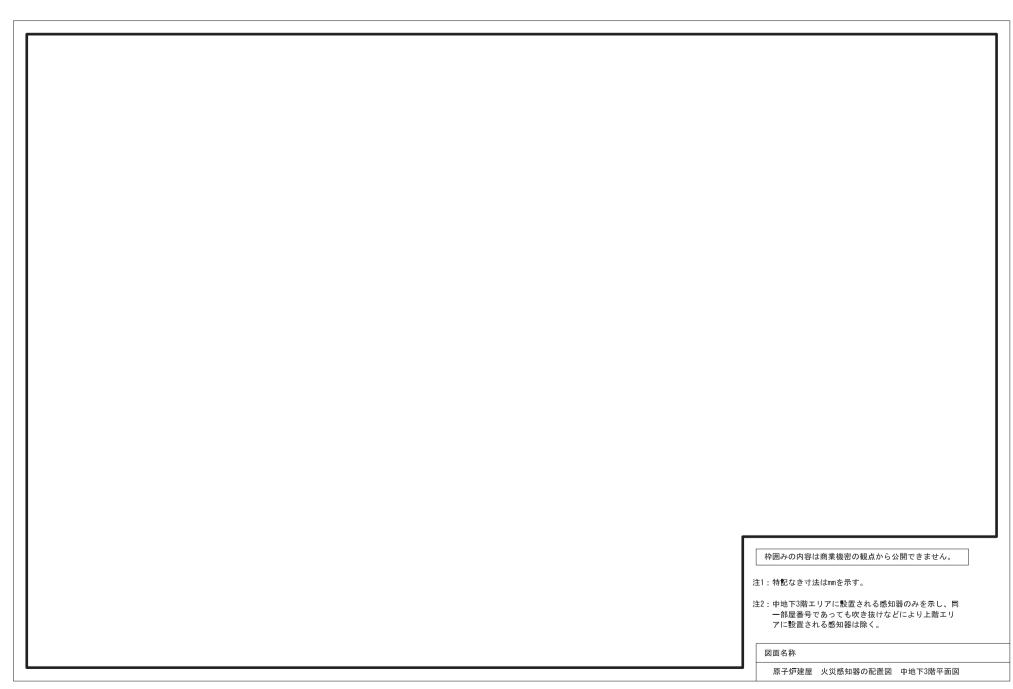


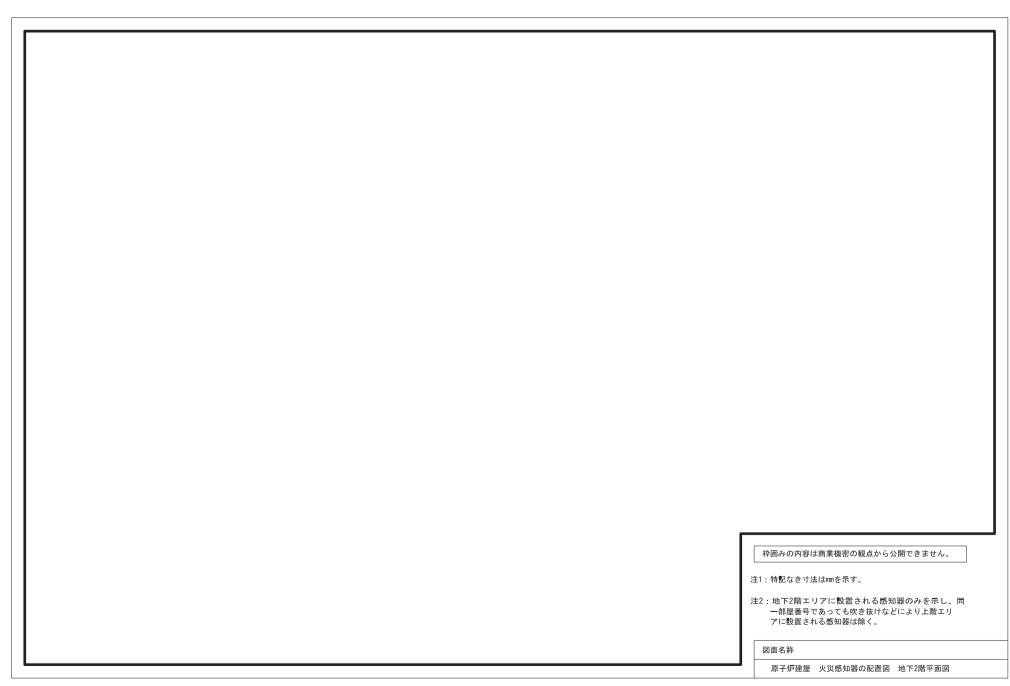


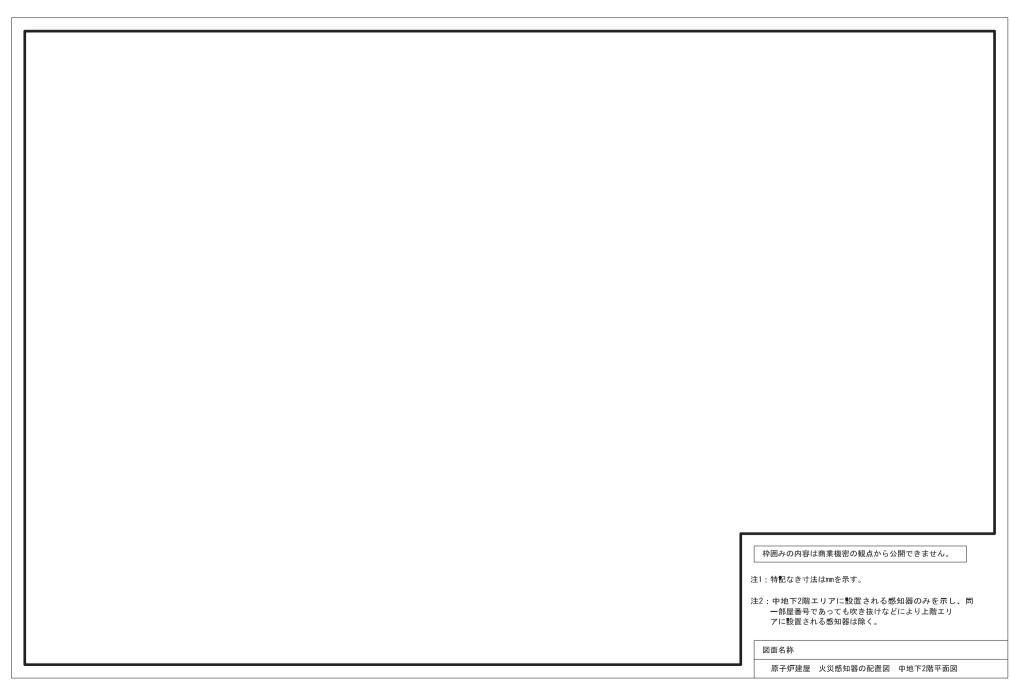


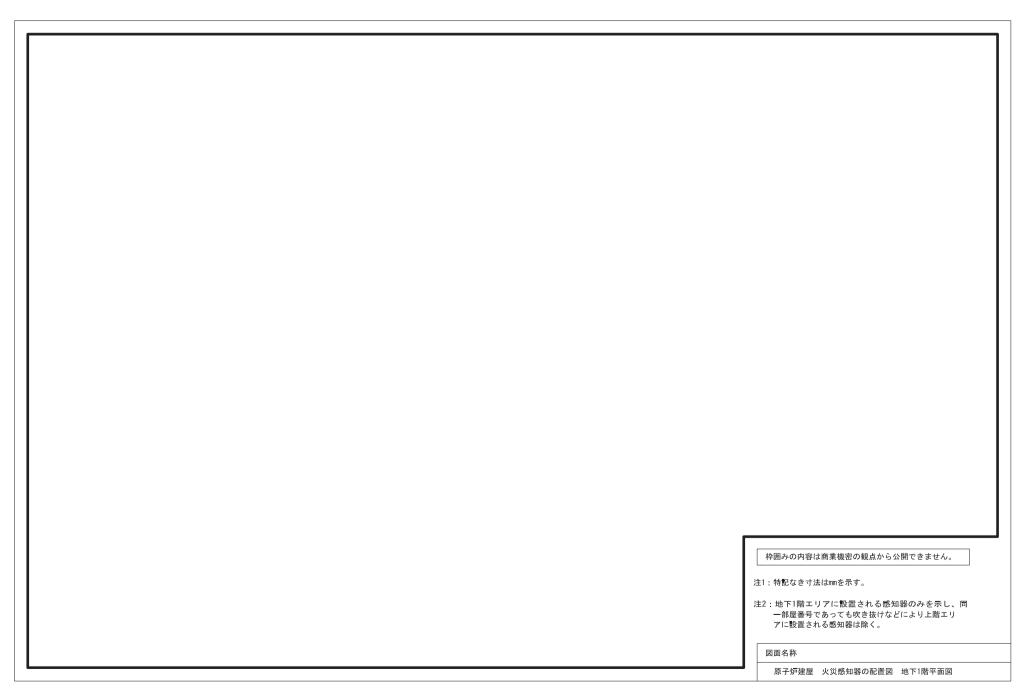


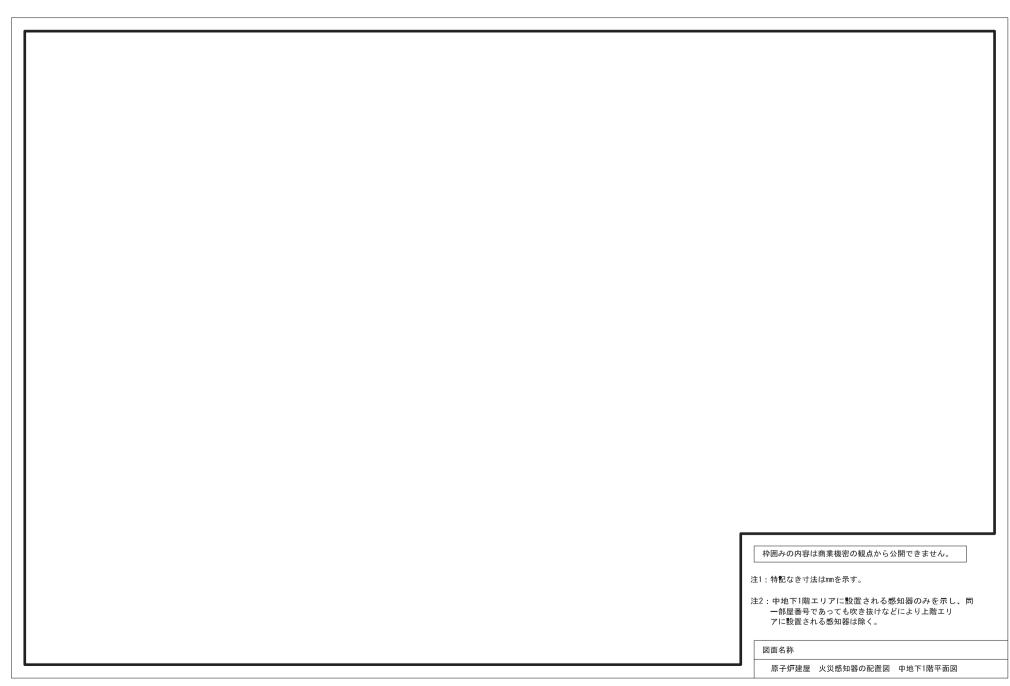


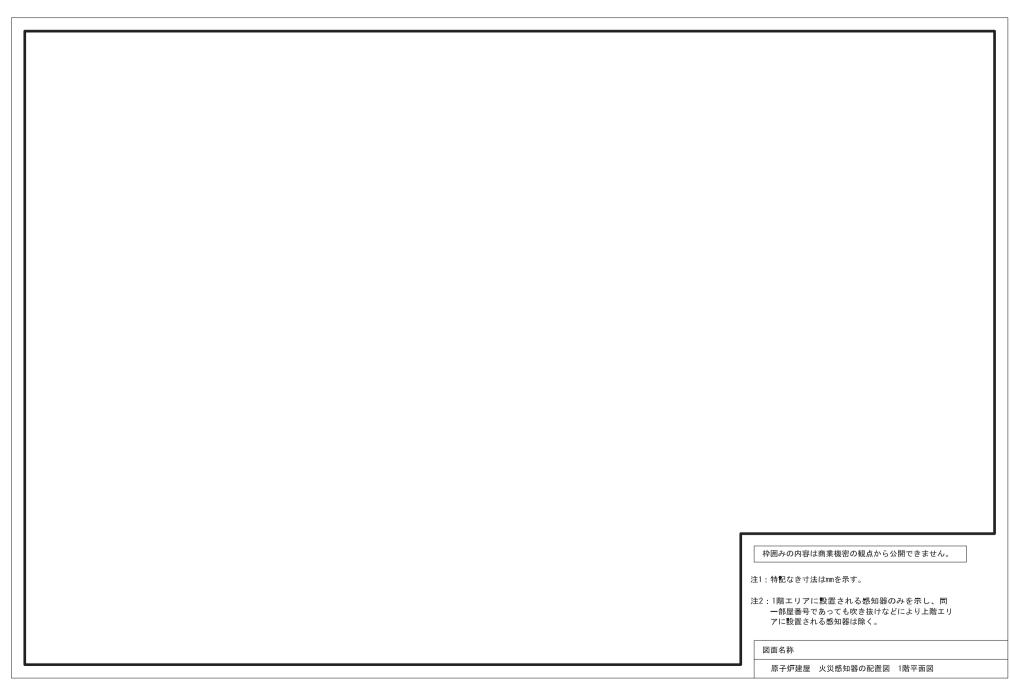


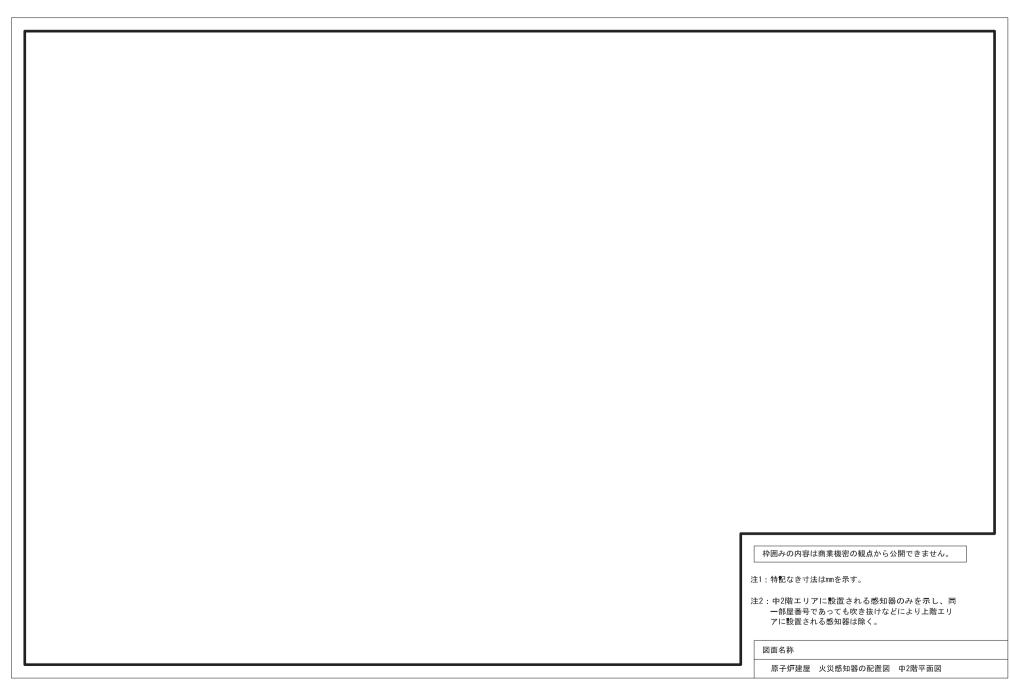


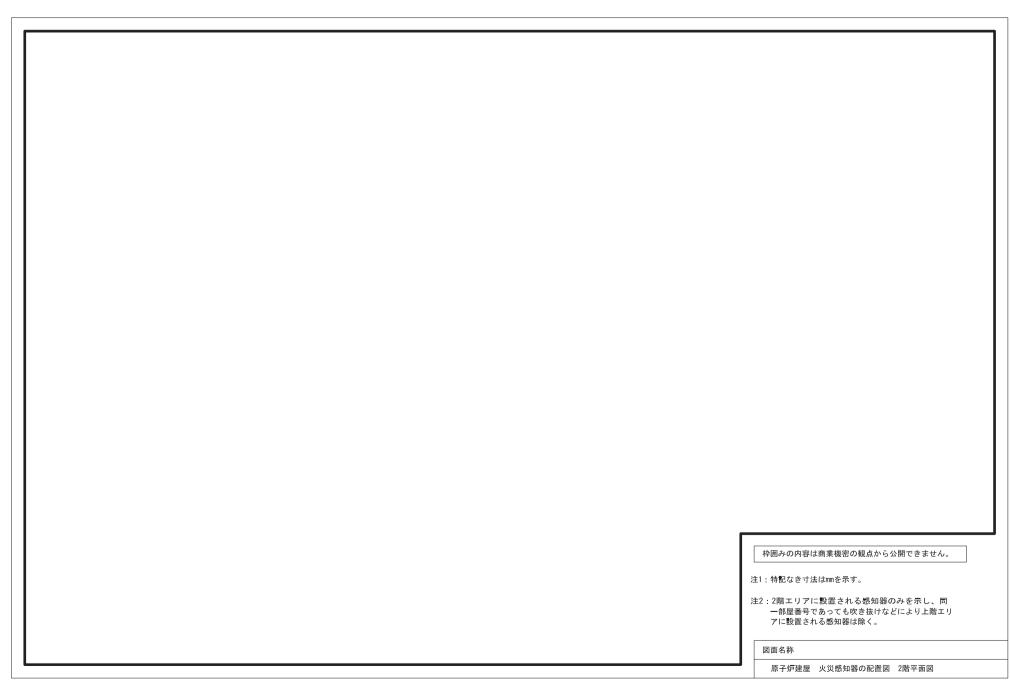


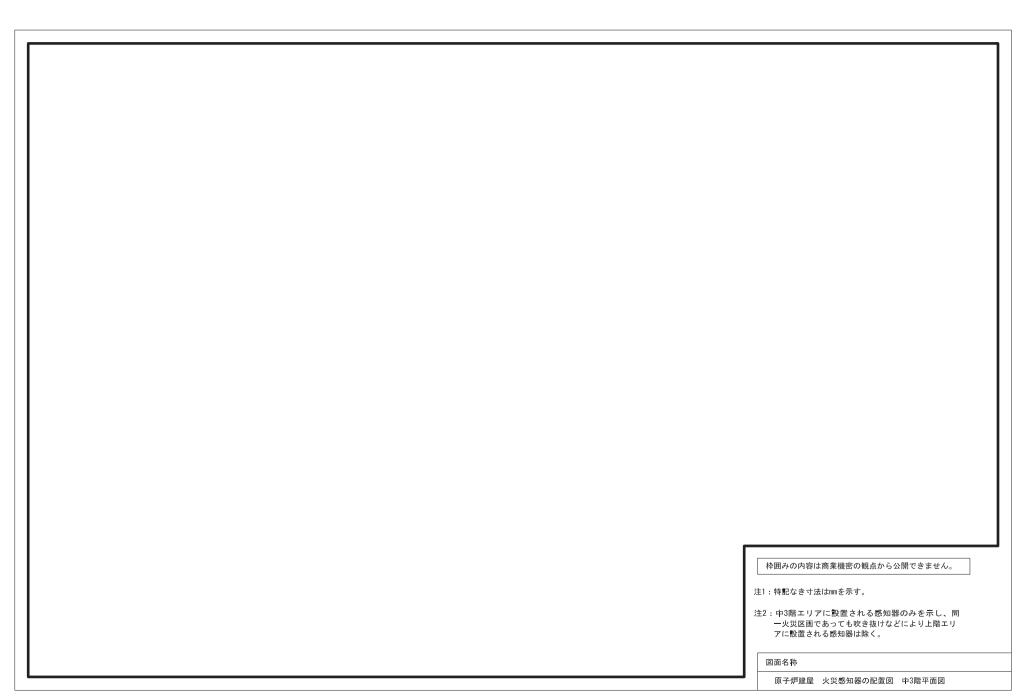


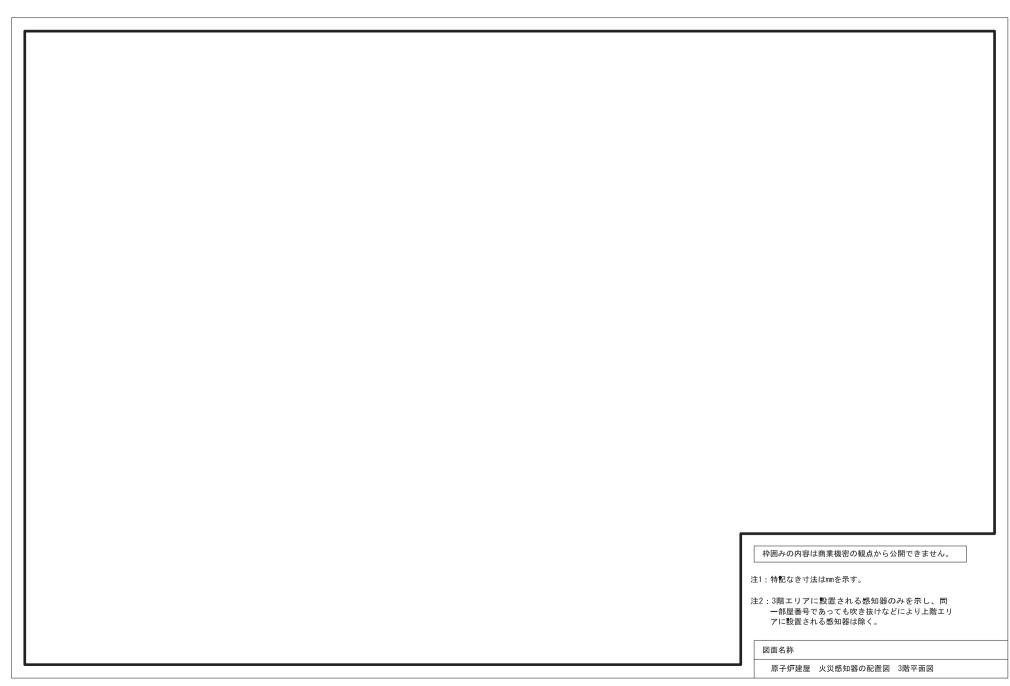


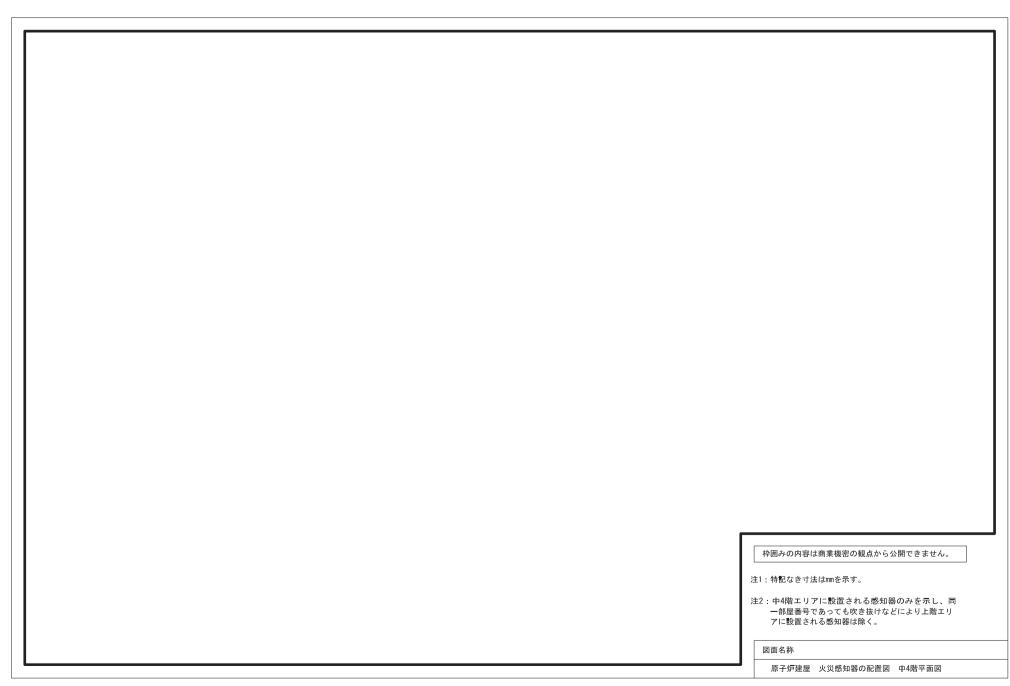


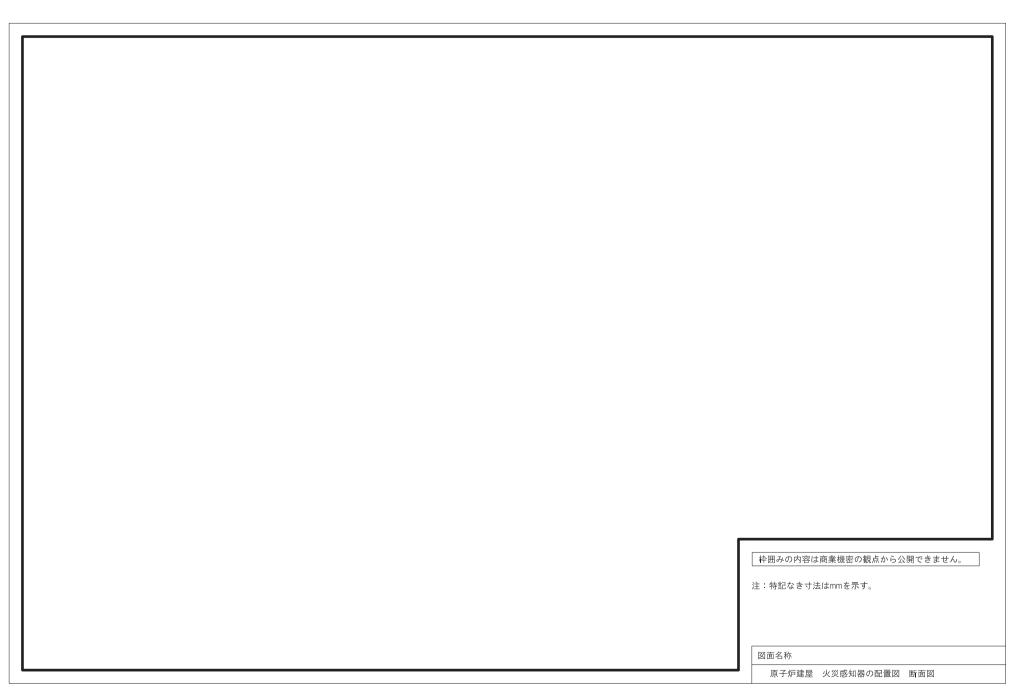


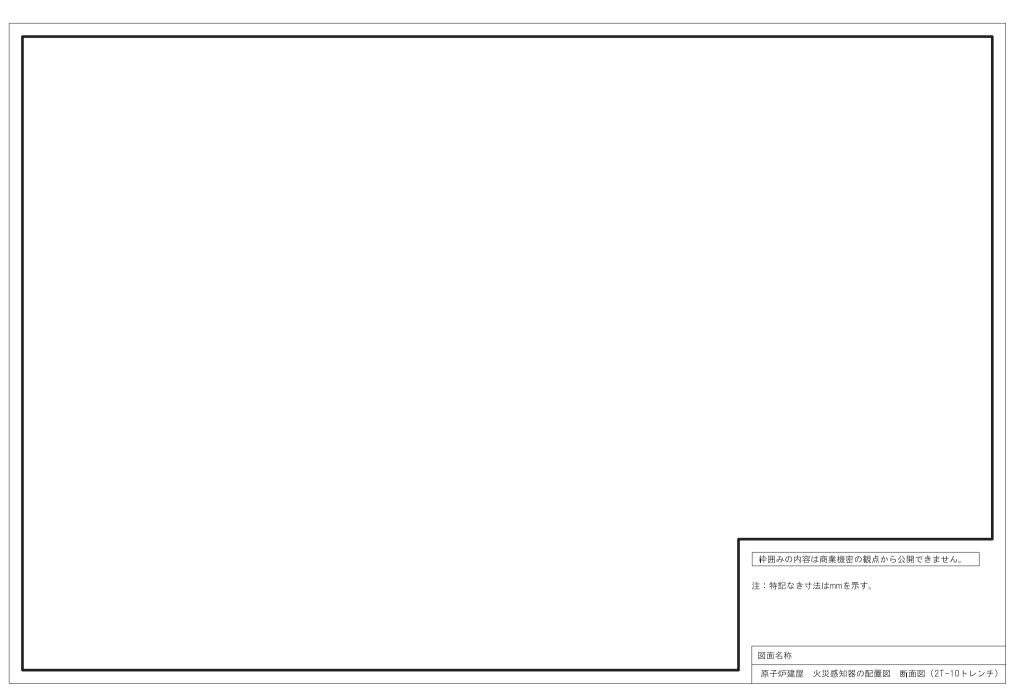


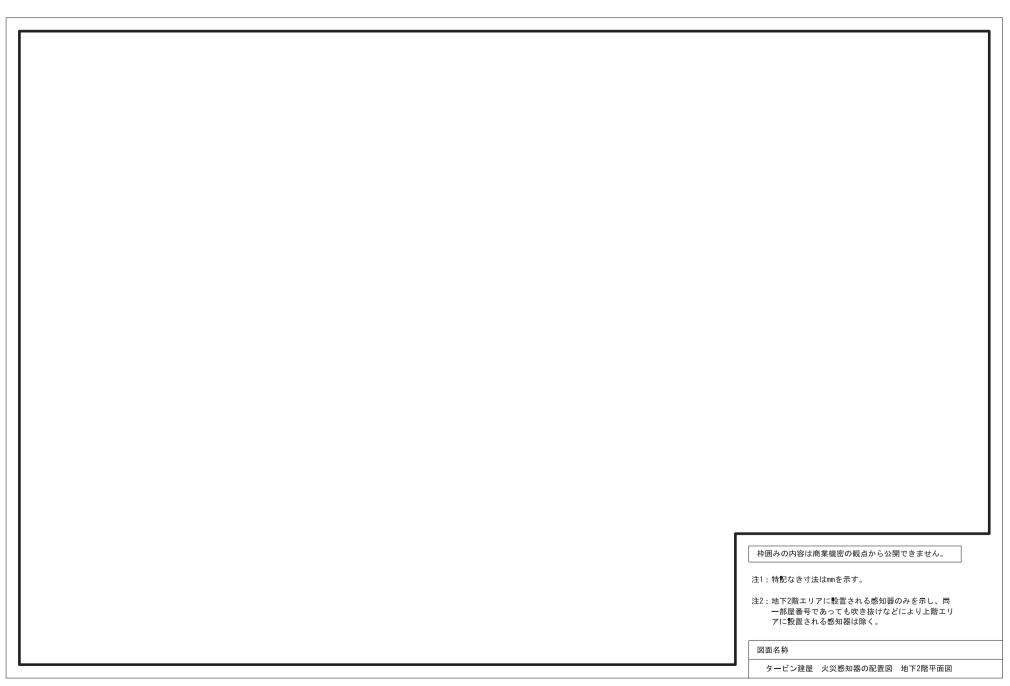


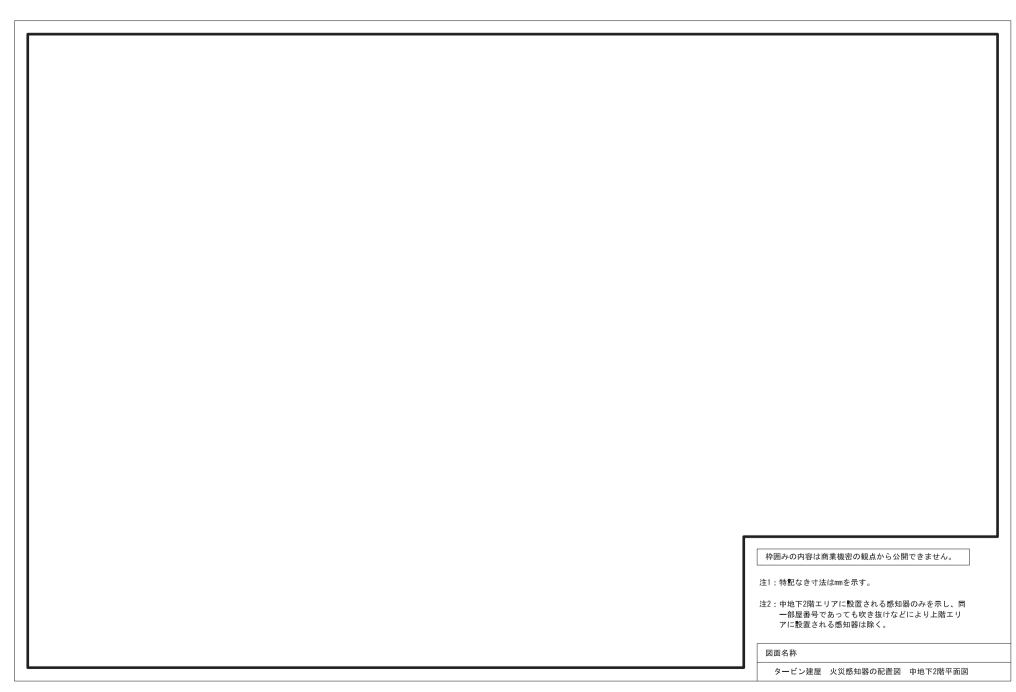


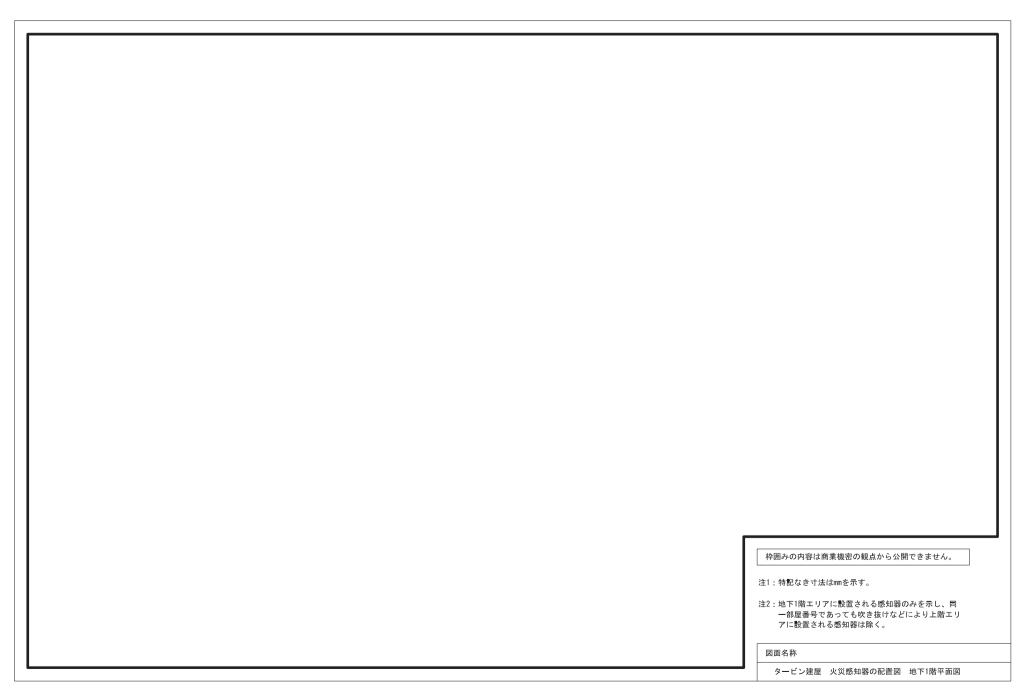


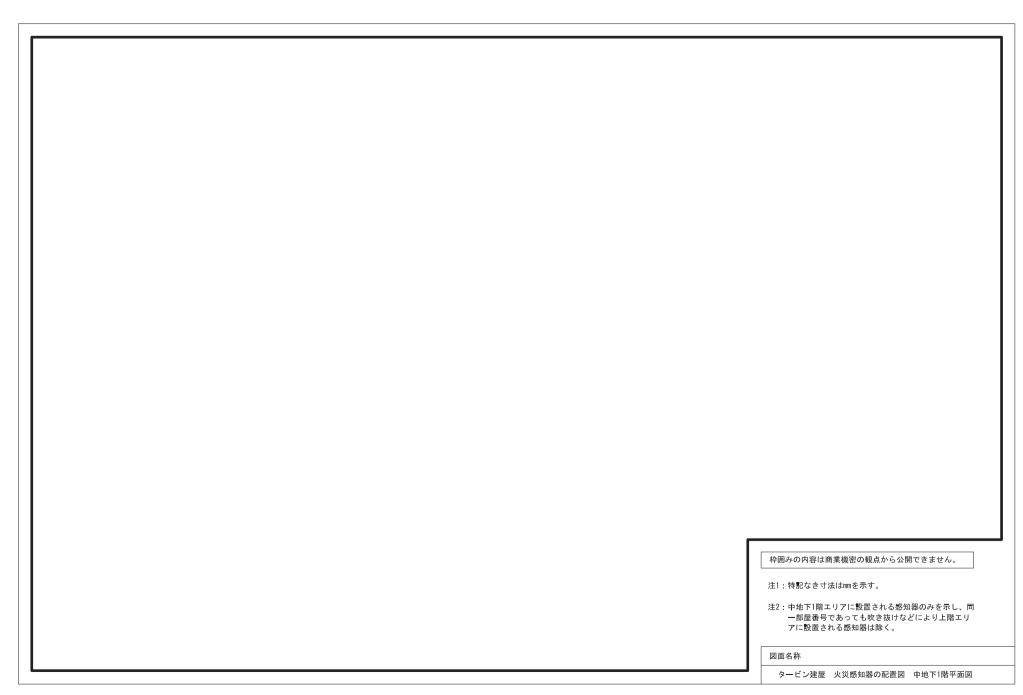


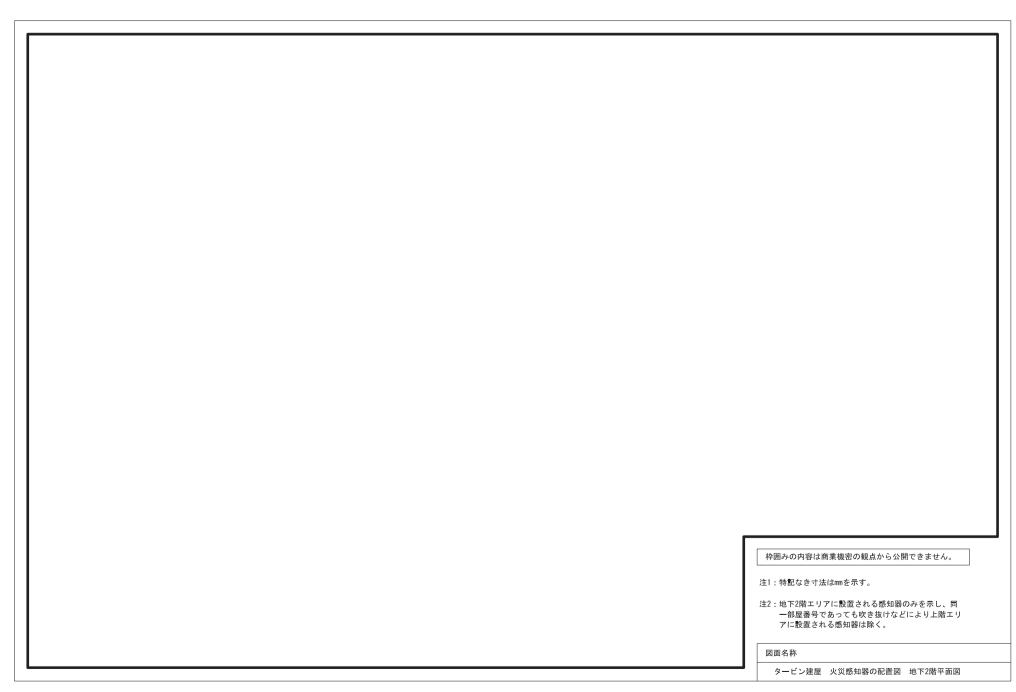


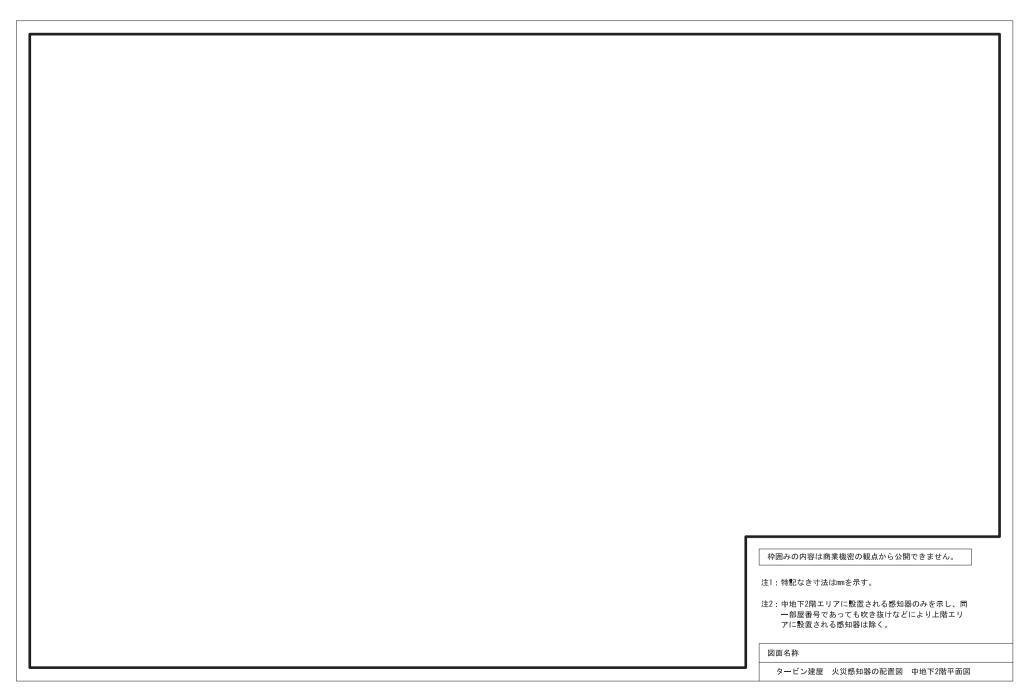


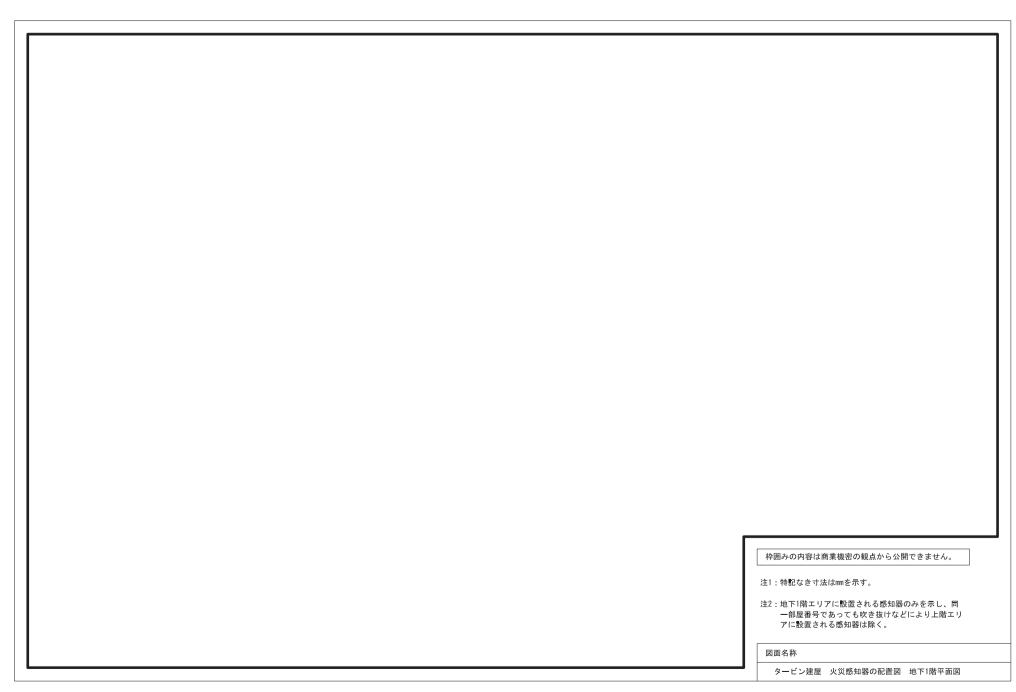


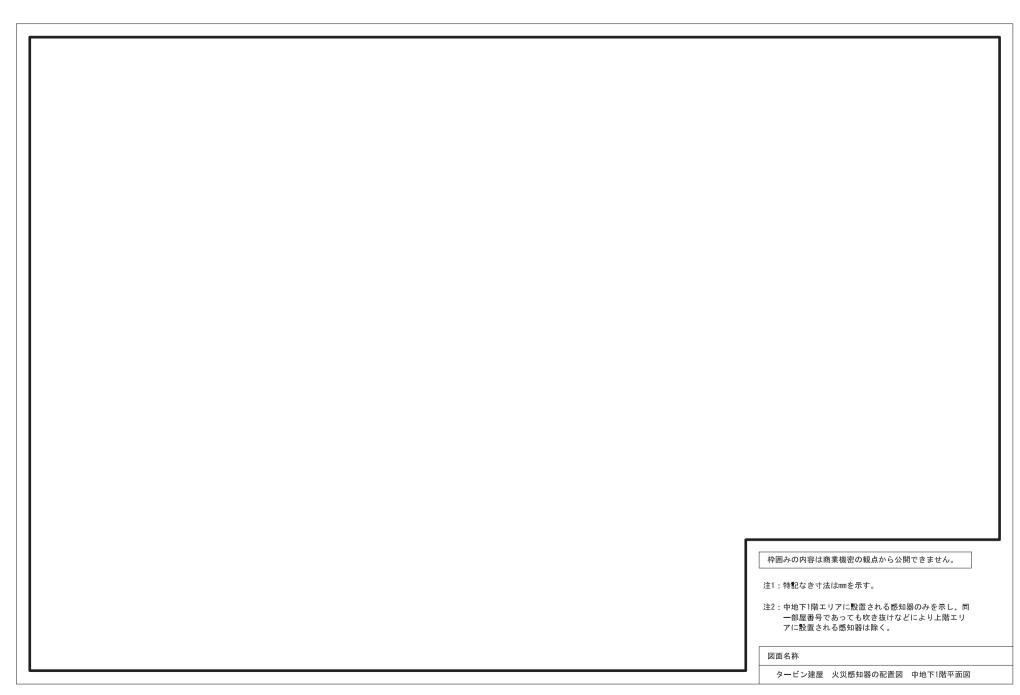




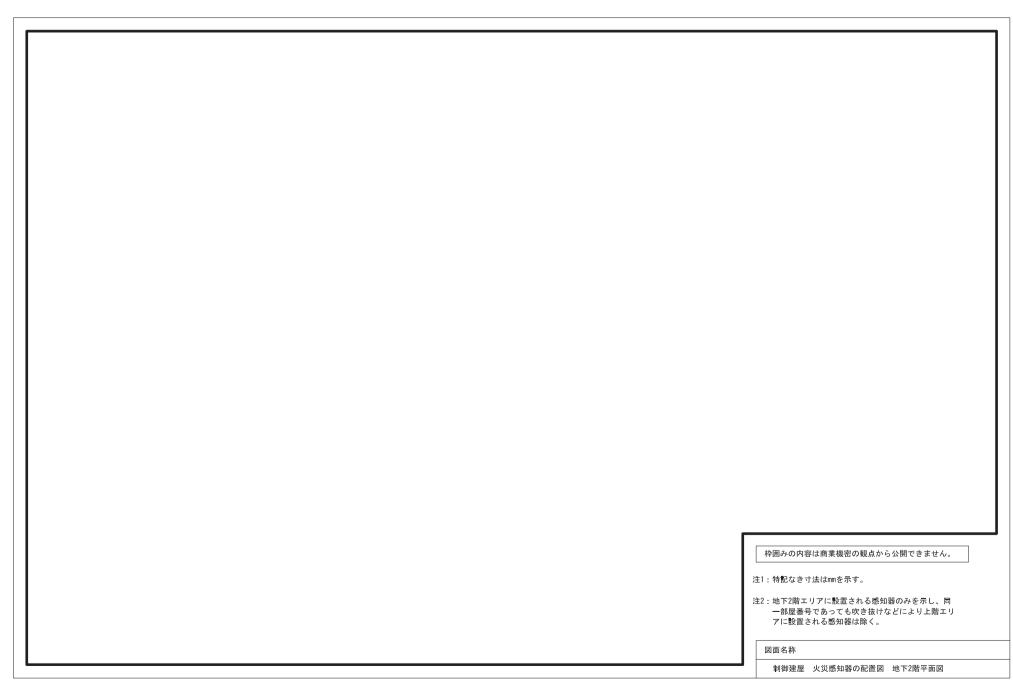


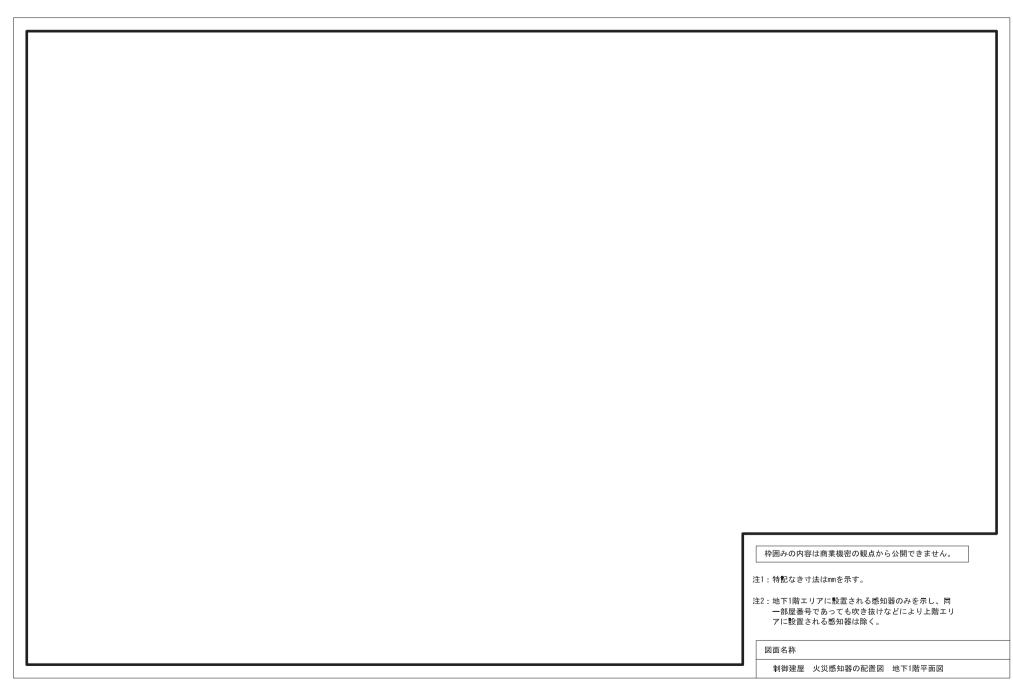


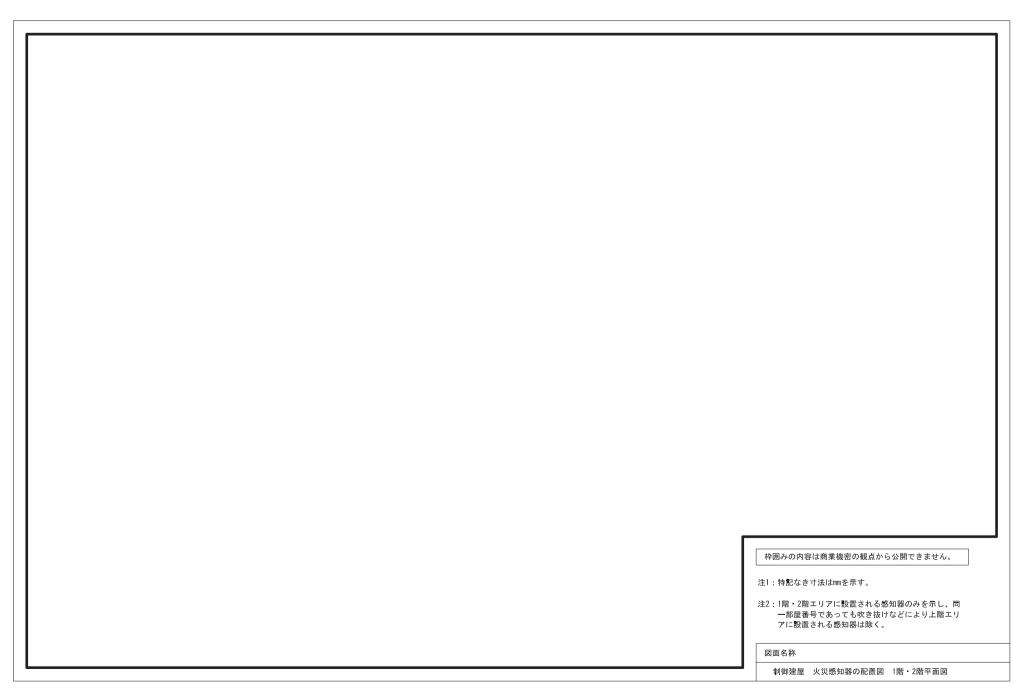


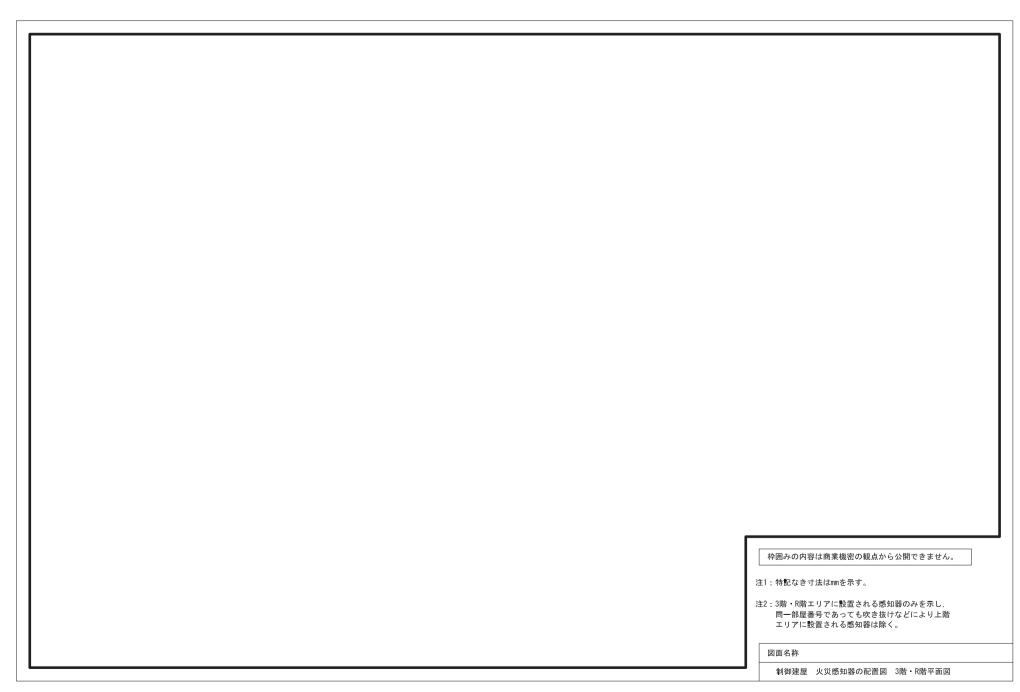


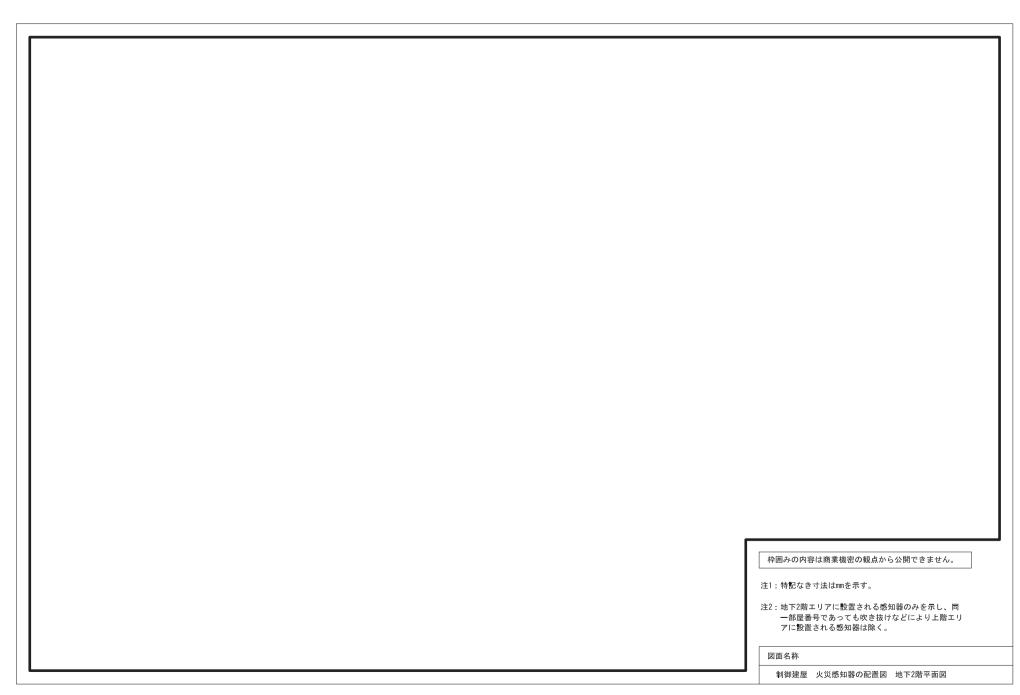
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。
注:特記なき寸法はmmを示す。
図面名称
タービン建屋 火災感知器の配置図 断面図

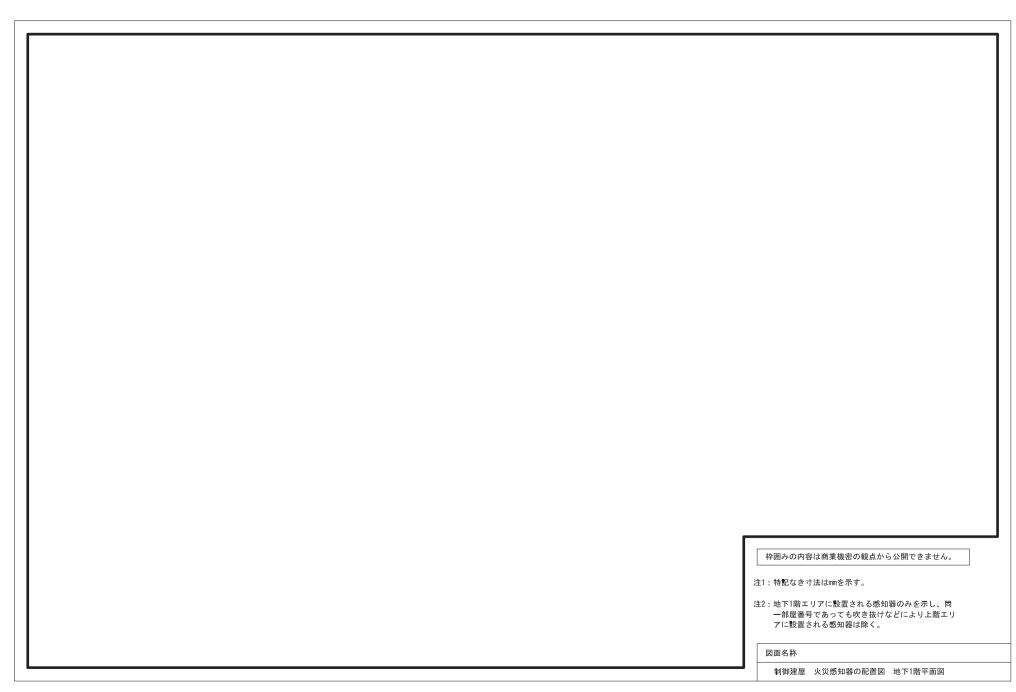


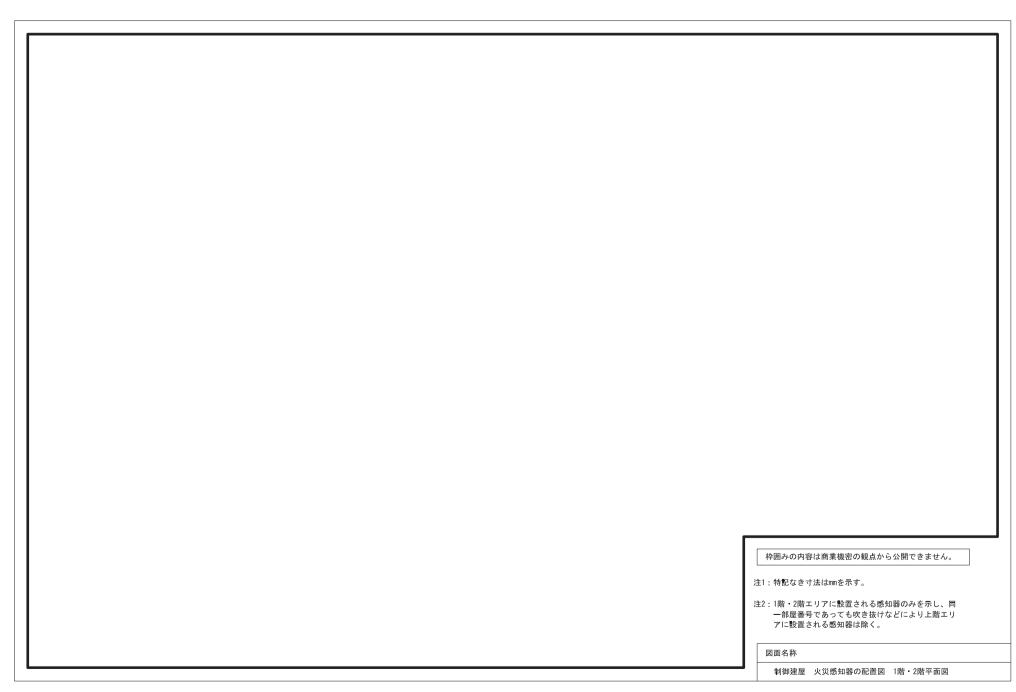


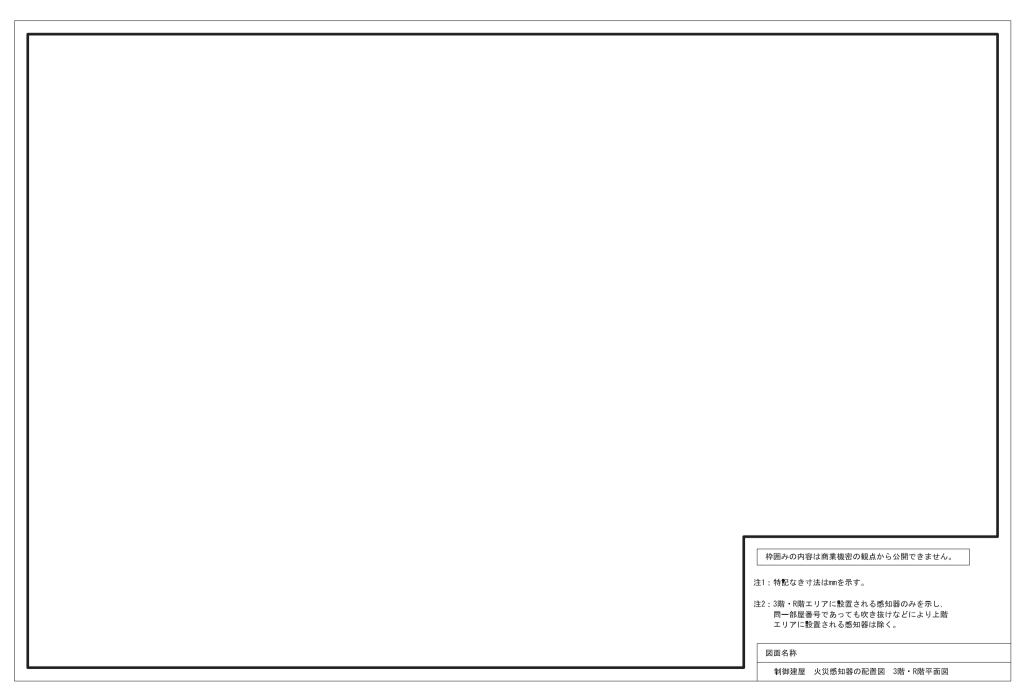




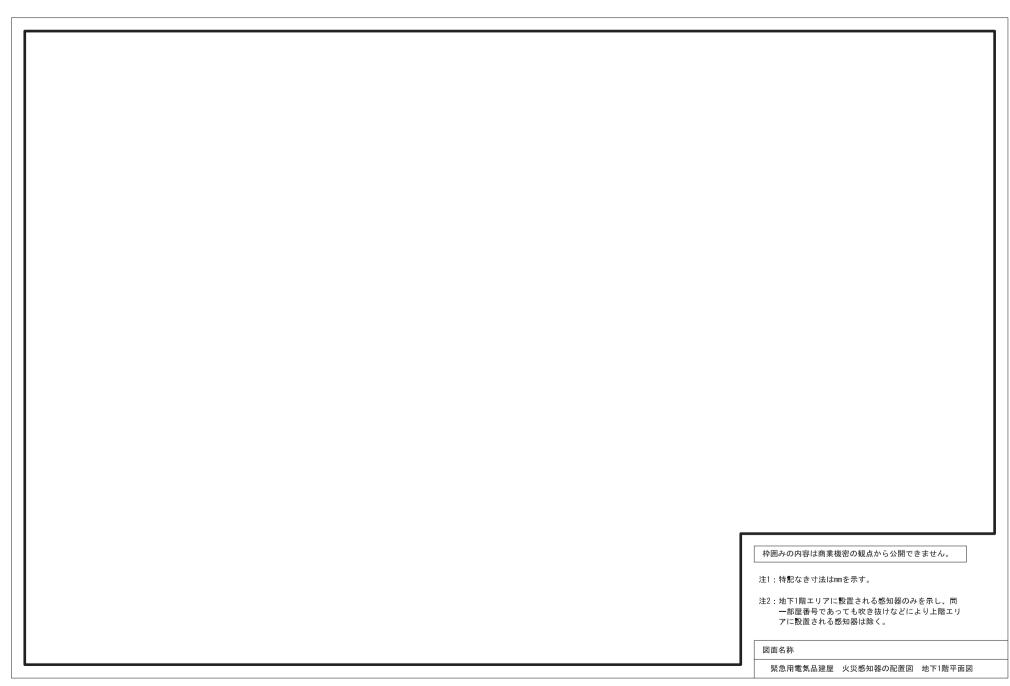


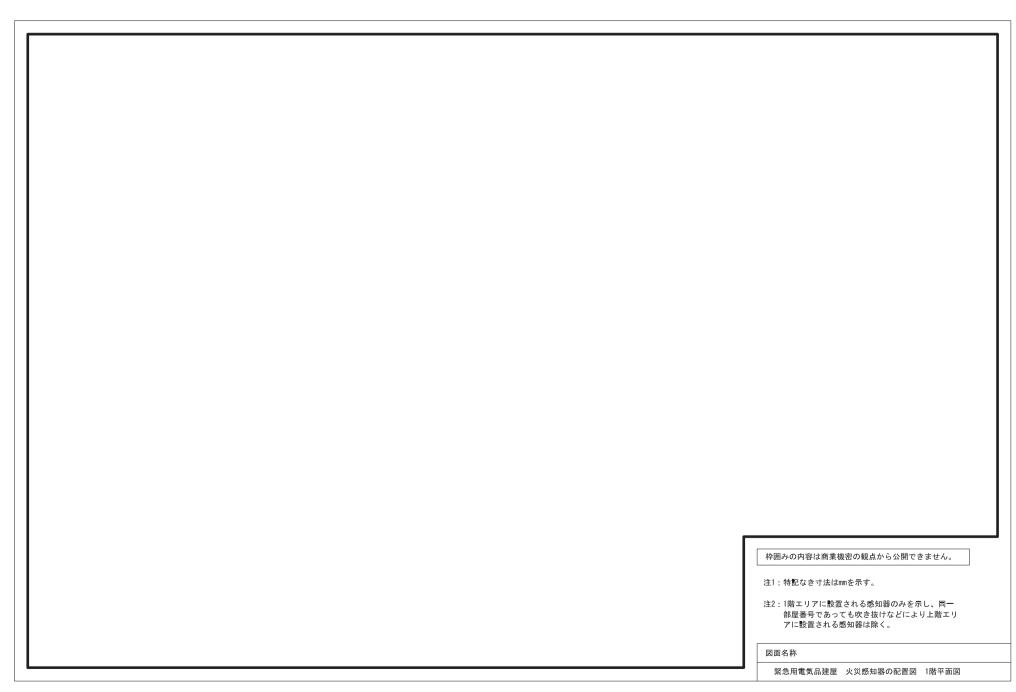


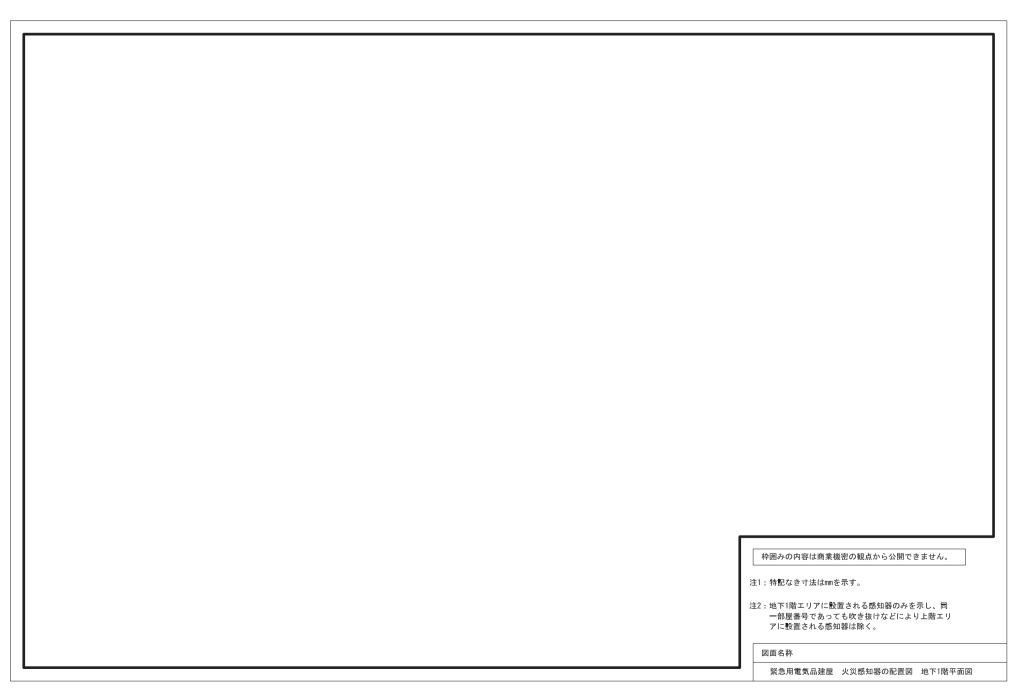


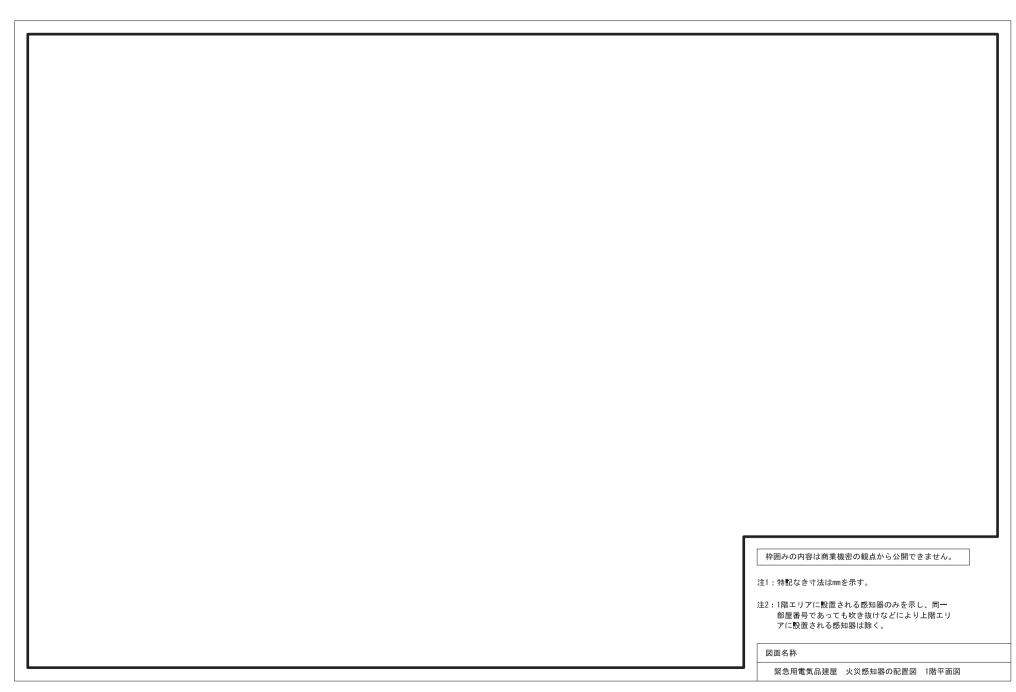


Г	
	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。
	注:特記なき寸法はmmを示す。
	図面名称
	制御建屋 火災感知器の配置図 断面図

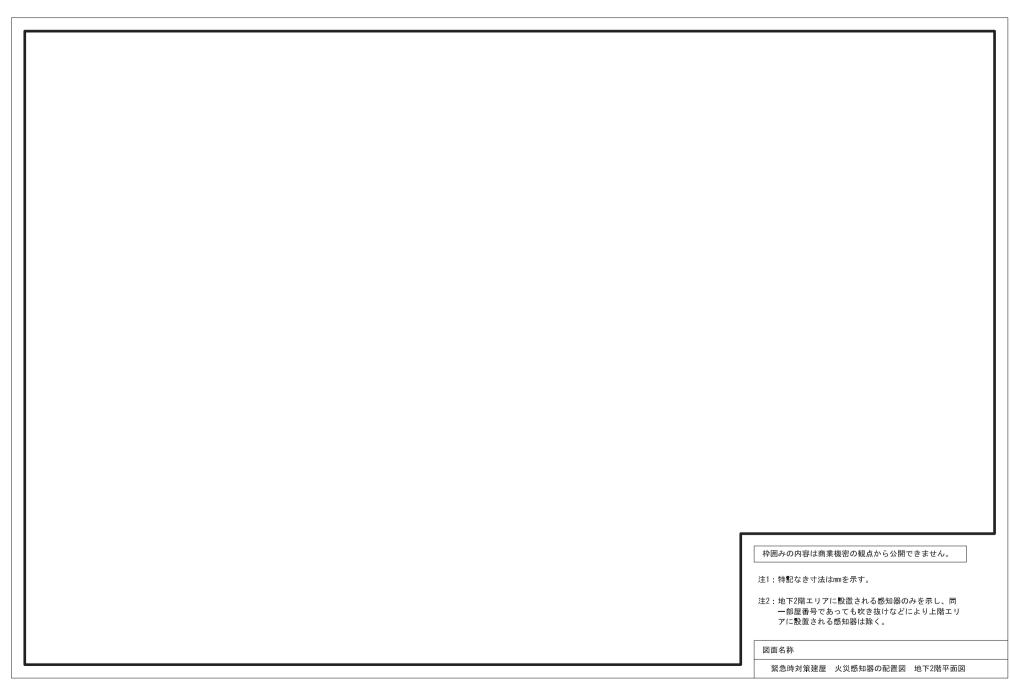


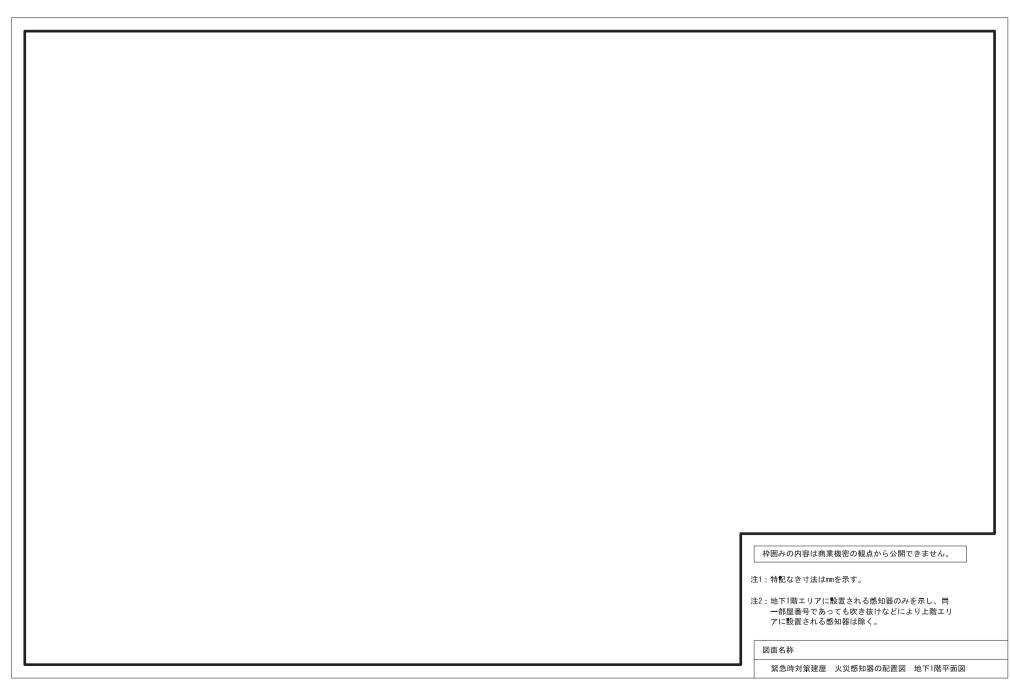


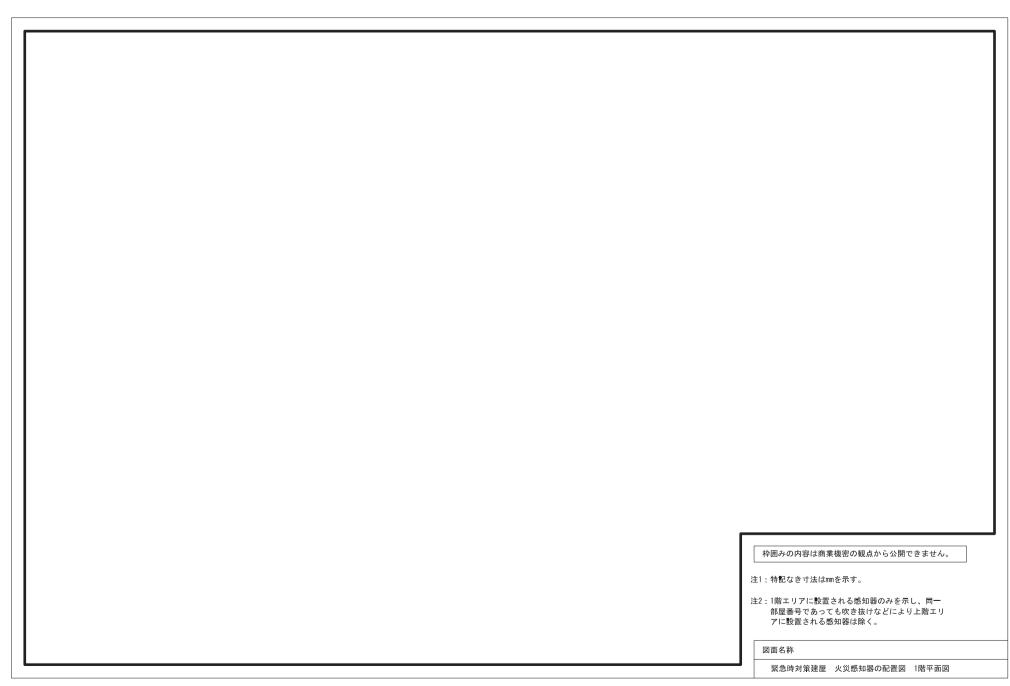


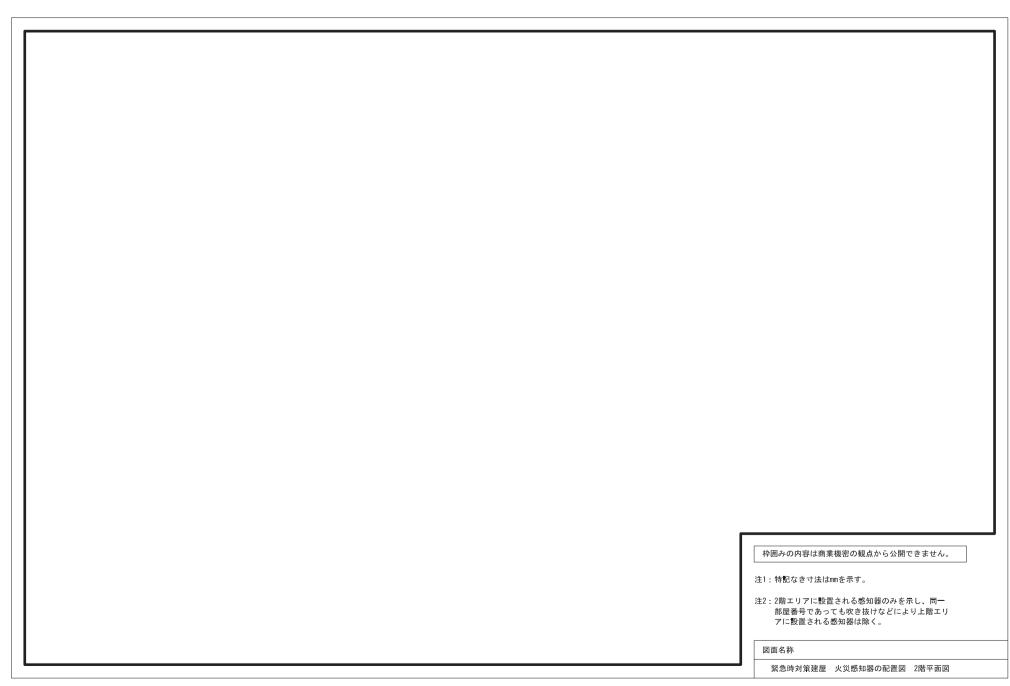


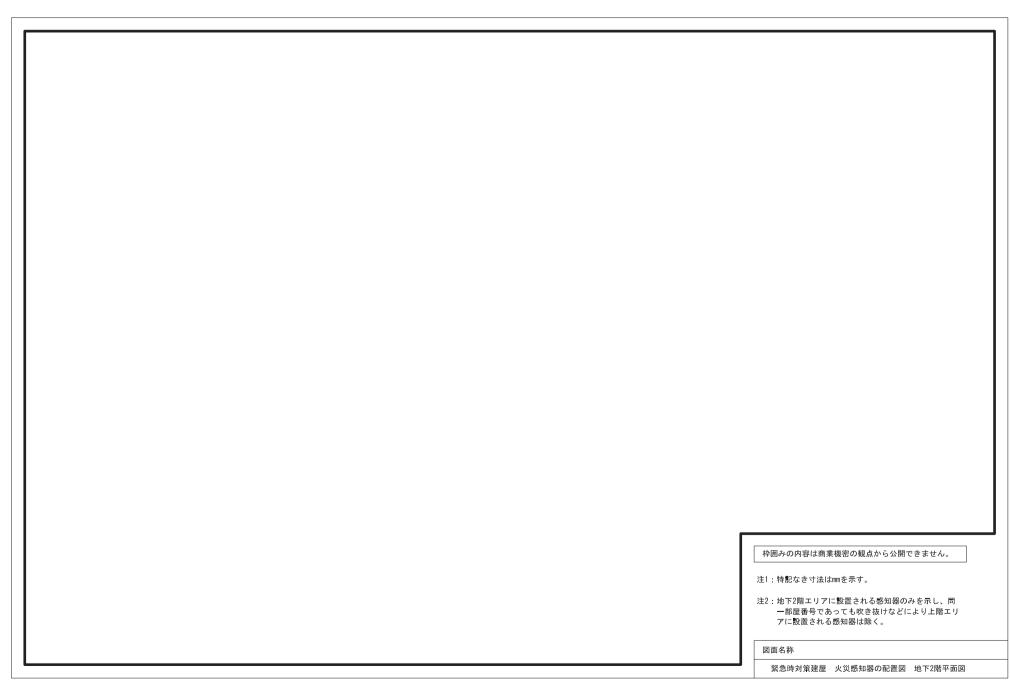
_	
Γ	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。
	注:特記なき寸法はmmを示す。
	図面名称
	緊急用電気品建屋 火災感知器の配置図 断面図

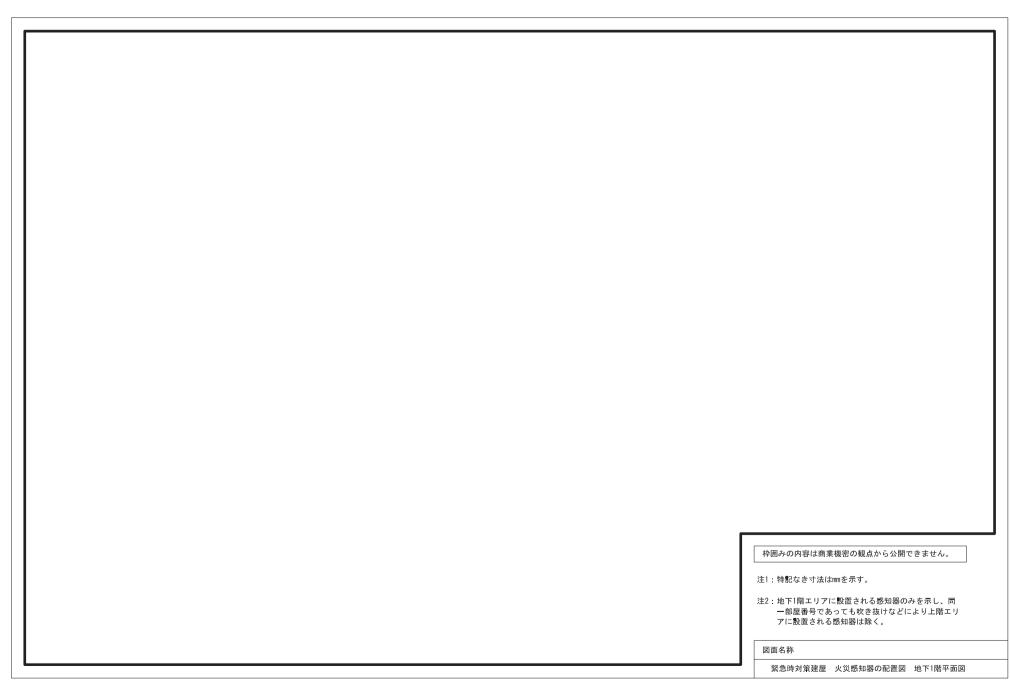


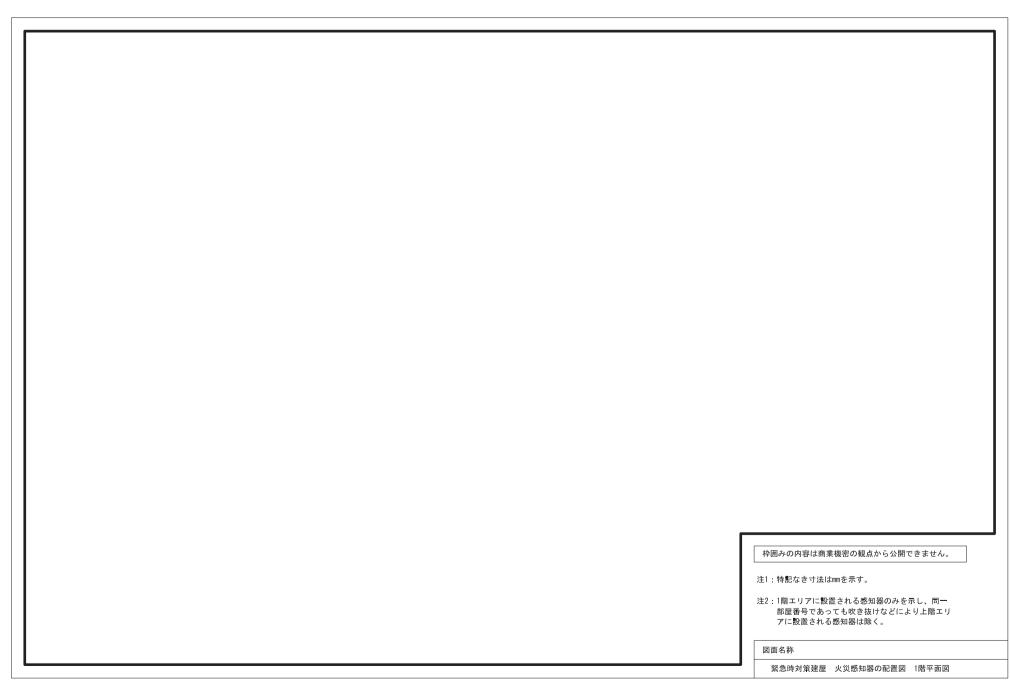


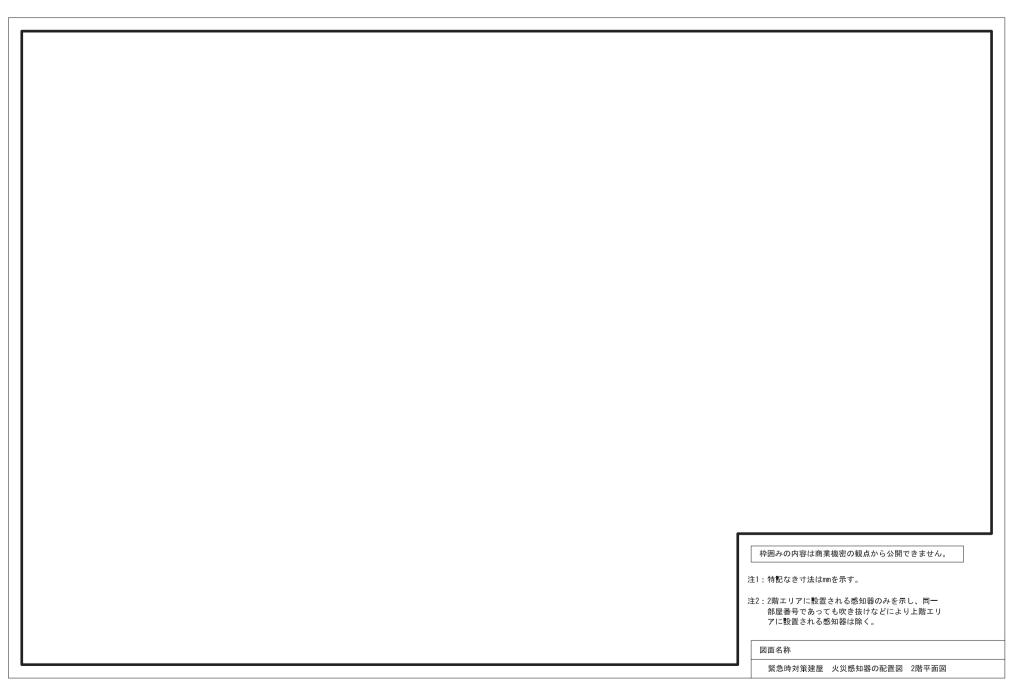


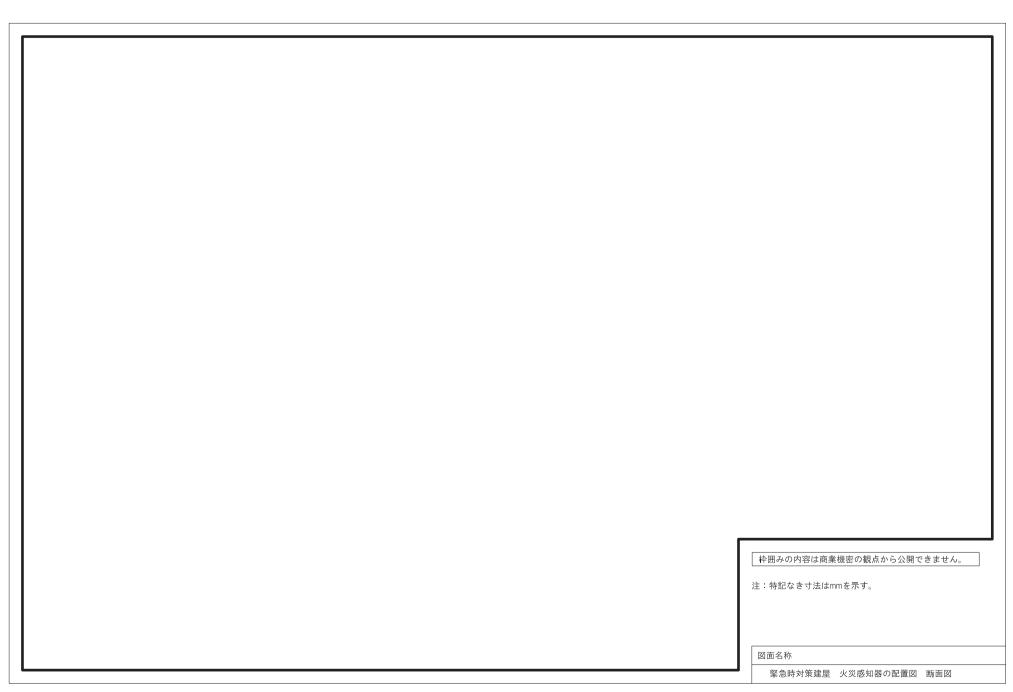


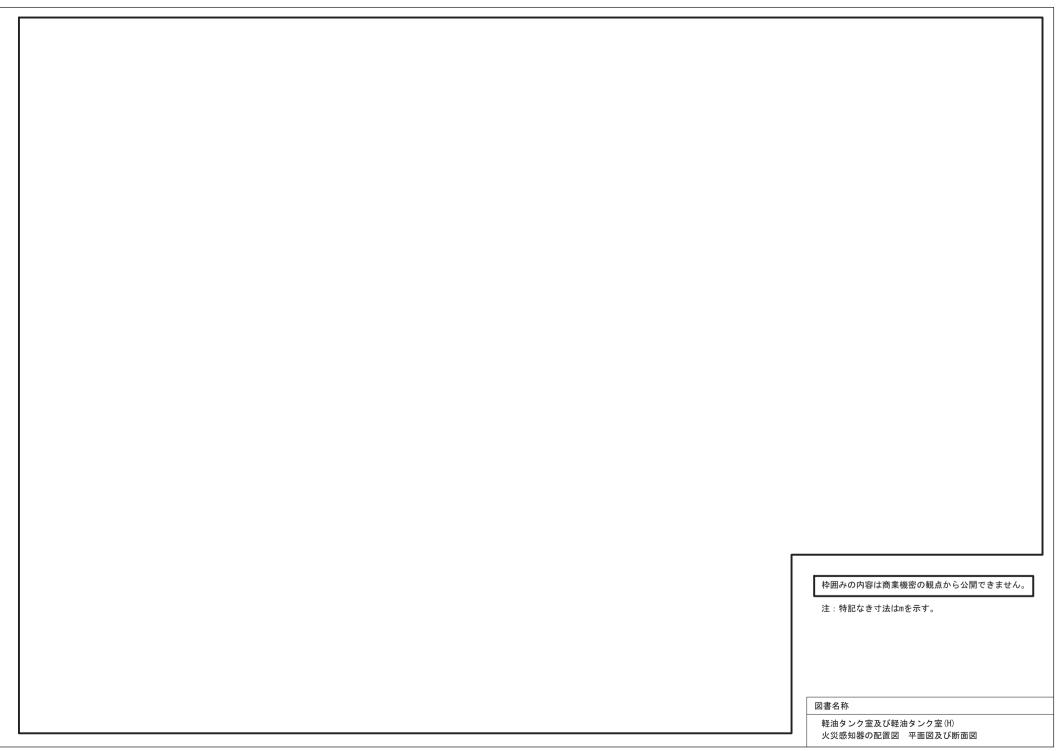


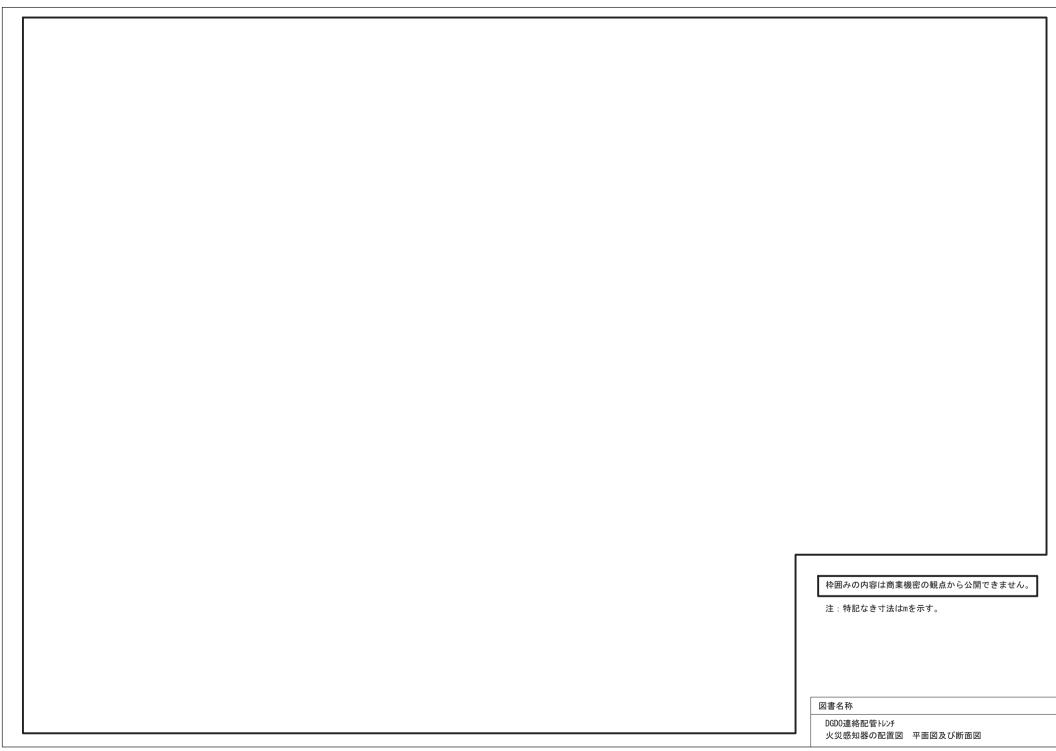


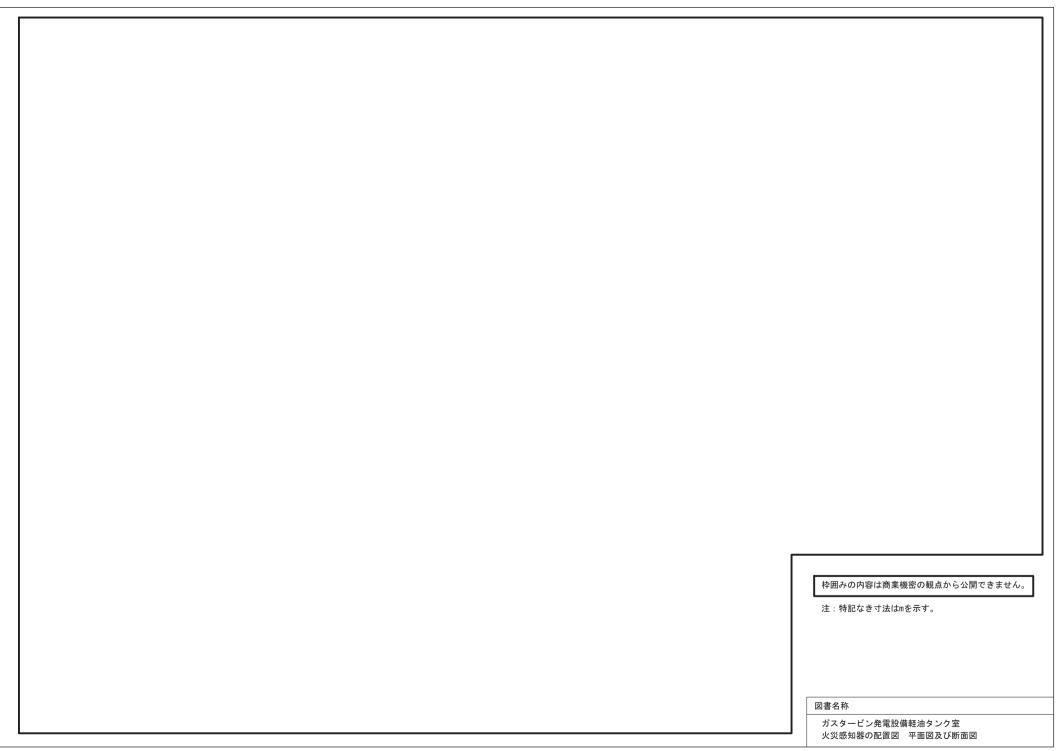












別紙 2

その他エリアの火災感知器の設置状況について

1. 屋外エリア

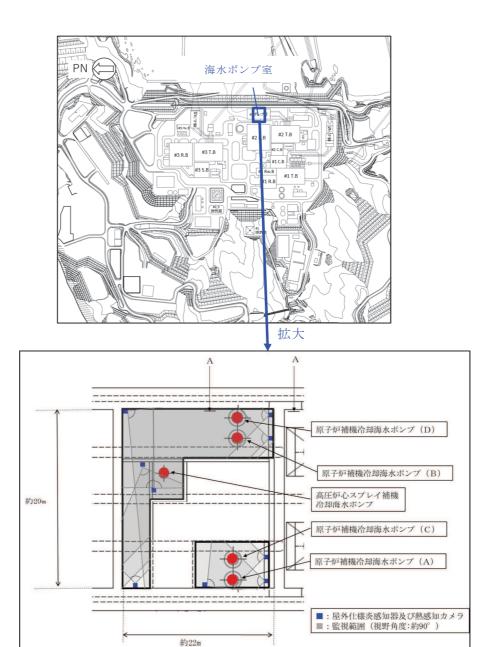
屋外に設置する屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラは、死角となる場所がないように設置する。屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラの仕様を表1に、各火災区画の設置個数を表2に示す。また、各火災区画の配置図を次頁に示す。

表1 屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラの仕様

項目	屋外仕様炎感知器	熱感知カメラ
検出方式	赤外線	赤外線
監視範囲	60m 以内	60m 以内
視野角度	約 90°	約 90°

表 2 屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラの設置個数

部屋番号	名称	屋外仕様炎感知器 設置個数(個)	熱感知カメラ設置個数 (個)	
Y-1-1	RSW ポンプ(A)(C)室	3	3	
Y-1-3	HPSW ポンプ室	4	4	
Y-1-4	RSW ポンプ(B)(D)室	3	3	
Y-8-4	ガスタービン発電設備燃 料移送ポンプエリア	1	1	



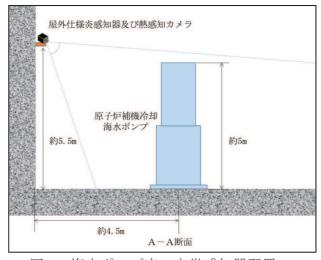


図1 海水ポンプ室の火災感知器配置

補 3-9-別紙 2-3

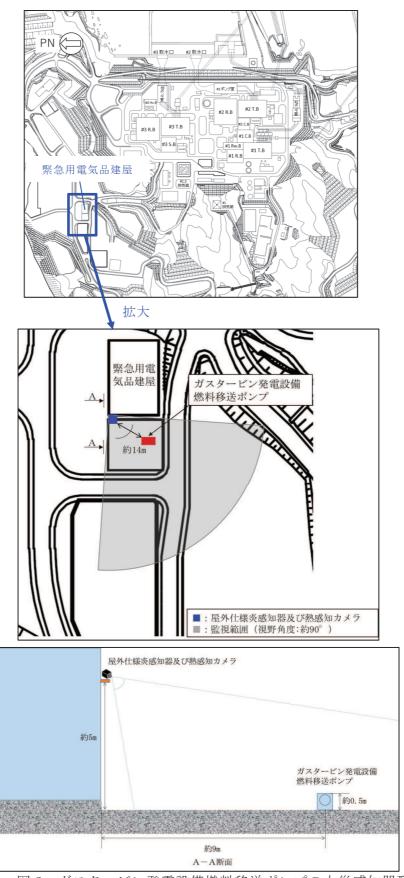


図 2 ガスタービン発電設備燃料移送ポンプの火災感知器配置

2. 復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室

復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室は消防法施行規則を参考に熱感知器及び煙感知器を設置する。復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室における感知器の設置基準を表3に,各火災区画の設置個数を表4に示す。また,熱感知器及び煙感知器の配置図を次頁に示す。

表 3 復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室の感知器設置基準

		天井高さ		
	4m 未満 4m 以上		4m 以上	
感知面積	熱	150m ² 以下	75m ² 以下	
	煙	40m ² 以下	25m ² 以下	

表 4 熱感知器及び煙感知器の設置個数

部屋番号 名称		感知	天井高さ		小区画面積	感知器 設置個数	
	区域	4m 未満	4m 以上		熱	煙	
復水貯蔵タンク/ Y-7-7 連絡トレンチ/ バルブ室	1	_	0	104.9	6	3	
	2	0	-	3.5	-*	-*	
	3	-	0	8.2	1	1	
	4	0	ı	58.6	2	1	
	5	-	\circ	10.9	1	1	
	6	0	_	13	1	1	

注記*:Y-7-7②の感知器(熱,煙)はY-7-7③と兼用とする。

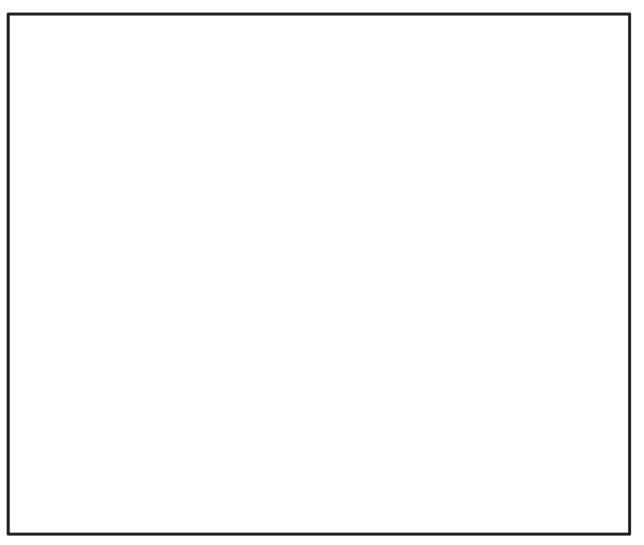


図3 復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室の火災感知器配置